

湖南市文化財保存活用地域計画 (素案)

令和 8 年 8 月

滋賀県湖南市

ごあいさつ

令和●年●月
湖南市長

例言

- 1 本書は、湖南市の文化財について保存・活用し、次世代に継承するための基本計画ならびに行動計画（文化財保存活用地域計画）です。
- 2 本書は、湖南市文化財保存活用地域計画策定協議会により検討を行い、文化庁文化資源活用課からの指導・助言、滋賀県文化スポーツ部文化財保護課からの助言をいただきながら、また湖南市文化財保護審議会から意見聴取を行いながら、湖南市環境経済部商工観光労政課が事務局を担当し、策定しました。
- 3 本書は、令和6年度（2024）～令和8年度（2026）に文化庁文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）を受けて作成しました。
- 4 本書に掲載した地図の一部は、国土交通省発行の国土数値情報および国土地理院発行の基盤地図情報・地理院タイルを加工して作成しました。

目次

序章. はじめに · · · · ·	1
1. 計画作成の背景と目的	1
2. 計画期間	2
3. 文化財の定義	3
4. 計画の位置付け	4
5. 計画作成の経過	5
第1章. 湖南市の概要 · · · · ·	7
1. 自然的、地理的環境	7
2. 社会的状況	15
3. 歴史的環境	22
第2章. 湖南市の文化財の概要 · · · · ·	26
1. 指定等文化財の概要	26
2. 未指定文化財の概要	29
3. 類型ごとの文化財の特徴	30
4. 地域ごとの文化財の特徴	34
5. 100年フード	37
第3章. 湖南市の歴史文化の特性 · · · · ·	38
第4章. 湖南市の文化財に関する既往の把握調査 · · · · ·	41
1. 国、県、市が実施した文化財に関する既往調査	41
2. 大学等研究機関が実施した文化財に関する既往調査	41
3. これまでの文化財の調査に関する現状と課題	44
第5章. 湖南市の文化財の保存・活用に関する将来像 · · · · ·	46
1. 文化財の保存・活用に関する将来像	46
2. 文化財の保存・活用を実現するための方向性	47

第6章. 湖南市の文化財の保存・活用に関する課題・方針	48
基本方針1 文化財をみんなで知る	48
基本方針2 文化財をみんなで守る	50
基本方針3 文化財をみんなに伝える	52
基本方針4 文化財をみんなで活かす	53
基本方針5 文化財をみんなでつなぐ	55
第7章. 湖南市の文化財の保存・活用に関する措置	57
基本方針1 文化財をみんなで知る	58
基本方針2 文化財をみんなで守る	59
基本方針3 文化財をみんなに伝える	60
基本方針4 文化財をみんなで活かす	61
基本方針5 文化財をみんなでつなぐ	62
第8章. 湖南市の文化財の保存・活用に関する推進体制	63
1. 計画の推進体制	63
2. 防災・防犯の体制	66
3. 計画の進捗管理	66
資料編	67

1 序章. はじめに

2 1. 計画作成の背景と目的

3 滋賀県南部に位置する湖南市（以下、「本市」といいます。）は、南にある阿星山系、北にある岩根山系¹という2つの山系に囲まれています。また、中央部には野洲川が流れしており、琵琶湖まで続いています。

4 この地理的特徴により、古代の都であった紫香楽宮や万葉集に登場する歌人の額田王など²が活躍した舞台である蒲生野、そのほか西国、北陸・東海地方とつながりを持つことができ、9 このつながりによる人や文化の交流によって本市の歴史文化が形成されてきました。

10 本市には湖南三山¹と呼ばれる国宝の建造物や信仰に関わる美術工芸品、東海道沿いの観光名所の一つであった天然記念物など、多種多様な文化財が残っています。現在、国や県、市の指定などを受けている文化財は計118件あり、文化財保護法（昭和25年法律第214号）や県、市の条例などに従って保護の措置を図っています。また、これらの文化財を未来に継承するため、各まちづくり協議会の協力を得ながら、保存活動や学校教育、社会教育での郷土史の学習機会の提供を行っています。特に、国指定天然記念物である平松のウツクシマツ自生地²では、令和3年度（2021）に保存活用計画を策定し、市が中心となって保全活動を行っているほか、地元の小学校の子どもたちに定期的に見学や保全活動体験に来てもらう取組を行っています。そのほか、各まちづくり協議会や観光協会の協力を得ながら、文化財を取り巻く環境整備や看板の設置、パンフレットなどの作成を行い、情報発信に努めています。

20 このように地域の人々と協力して、本市に残る貴重な文化財を保存・活用する取組を行ってきました。

22 しかし、本市では少子高齢化による地域コミュニティの弱体化や地域のまつり・行事の担い手不足などが進んでおり、地域で大切に守られてきた文化財を将来に保存・継承することが難しい状況となっています。

25 一方、近年住宅地や商工業地の開発が進み、他の地域から引っ越してくる人が増加していることから、多様な価値観やライフスタイルなどを認めつつ、本市に残る文化財をともに保存・活用していくための取組を行うことが求められています。

28 平成30年（2018）の文化財保護法の改正により、県が策定した『滋賀県文化財保存活用大綱』³を勘案しつつ、各市町村の文化財の保存・活用に関する総合的な計画である文化財保存活用地域計画を作成することなどが制度化されました。そこで、本市に残る貴重な文化財を次世代に確実に継承していくため、文化財保護法第183条の3に基づき、文化財の保存・活用に係る基本計画であり行動計画でもある『湖南市文化財保存活用地域計画』（以下、「本計画」といいます。）を作成します。

1 湖南三山：常楽寺、長壽寺、善水寺のこと。平成16年（2004）の湖南市発足に伴い、国宝の建造物を有するこの3か寺を線でつなぎ、発信力を強めることにしました。平成17年（2005）に初の湖南三山めぐりを実施しました。

2 平松のウツクシマツ自生地：ウツクシマツはアカマツの天然変種で、根元近くから幹が傘状に広がって伸びるのが特徴です。ウツクシマツが自生・天然更新している国内唯一の場所として、「平松のウツクシマツ自生地」は大正10年（1921）に国の天然記念物に指定されました。

3 滋賀県文化財保存活用大綱：令和2年（2020）3月策定。県内の文化財を確実に次世代に継承するため、保存活用に関する取り組みを適切に進める上で共通基盤となる方針を示すものです。

2. 計画期間

本計画の計画期間は、令和9年度（2027）から令和18年度（2036）までの10年間とします。

計画期間中においては、（仮称）湖南市文化財保存活用地域計画協議会を設置し、後述の事業（第7章参照）の点検を行います。また、『第三次湖南市総合計画』（令和8年度（2026）～令和17年度（2035））および『第3期湖南市教育振興プラン』（令和7年度（2025）～令和11年度（2029））との整合性が保てるよう中間評価を行い、必要に応じて見直しを行います。見直しにあたっては、アンケートなどで市民の意見を聴くものとします。

なお、計画期間の変更や市内にある文化財の保存に影響を及ぼすおそれのある変更、地域計画の実施に支障が生じるおそれのある変更が起きた場合は、事前に文化庁と協議のうえ、文化庁長官の変更の認定を受けます。それ以外の軽微な変更が生じた場合には、その内容について、滋賀県を経由して文化庁へ報告します。



図1 本計画の計画期間

3. 文化財の定義

文化財保護法では、有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物、文化的景観、伝統的建造物群の6類型および埋蔵文化財、文化財の保存技術をあわせたものを保護の対象としています。これらのうち、重要なものは国や県、市の指定などにより保護の措置が図られてきました（以下、「指定等文化財」といいます。）。

一方、上記文化財類型に該当するものの指定などの措置が講じられていないものもあります（以下、「未指定文化財」といいます。）。

また、これまで文化財類型に該当しなかった伝承や方言、地名、本市に貢献した人物の功績に関するものなども、地域の人々によって今日まで大切に守り伝えられ、本市の歴史文化を体現する重要な要素となっています（以下、「その他の文化財」といいます。）。

そこで、本計画では、古代から様々な地域とつながりを持つことで育まれた「湖南市らしさ」を形成し、今日まで大切に守り伝えられてきた「市民のたから」と言える指定・未指定・その他の文化財すべてを本市の「文化財」として位置づけ、計画の対象とします。これらの文化財が相互に結び付き、自然や社会といった周辺環境と密接に関わりあうことで、本市の歴史文化を形成すると考えます。



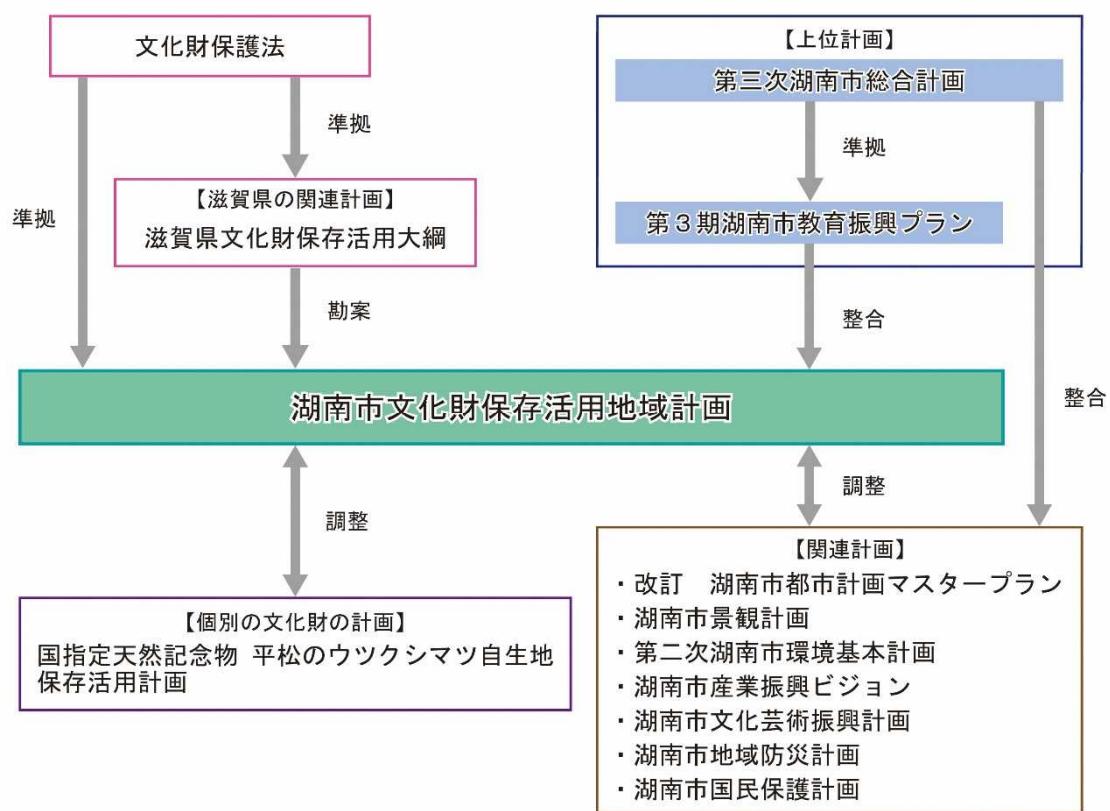
図2 本計画で対象とする文化財

1 4. 計画の位置付け

2 本計画は、『滋賀県文化財保存活用大綱』を勘案し、本市の最上位計画である『湖南省総
3 合計画』、教育分野の上位計画である『第3期湖南市教育振興プラン』と整合性を図りつつ、
4 本市の文化財を適切に次代へ保存・継承していくよう、実効性を有する計画として作成す
5 るものです。

6 また、関係部局が策定した諸計画と連携、整合したものとします。

7 なお、各計画の概要と本計画との関わりは資料編に掲載します。



26 図3 本計画の位置付け

1 5. 計画作成の経過

2 本計画の作成にあたって、「湖南市文化財保存活用地域計画策定協議会」を設置し、計画
3 内容の検討などを行いました。

4 また、文化庁文化資源活用課の指導・助言、滋賀県文化スポーツ部文化財保護課の助言を
5 得ました。併せて湖南市文化財保護審議会にて進捗報告と意見聴取を行いました。

6 さらに、令和8年〇月にパブリックコメントを行い、市民の意見を聴取しました。

7
8 表1 湖南市文化財保存活用地域計画策定協議会委員名簿 (敬称略・順不同)

氏名	分野など	所属など	備考
佐藤 亜聖	考古学	滋賀県立大学教授	会長
青柳 憲昌	建造物	立命館大学教授	副会長
田中 健一	美術史学(彫刻)	京都大学大学院准教授	
中島 誠一	民俗文化財	文化財保護審議会副会長 成安造形大学非常勤講師	
八杉 淳	歴史・古文書	文化財保護審議会委員 草津市歴史文化活用調整員	
藤支 良道	文化財所有者	長壽寺住職 国宝建造物代表役員	石部南地域
園部 俊治	観光	湖南市観光協会副会長 吉永の里山と文化財を守る会	三雲地域
佐々木 榮一	地域	大地の会	石部地域
田中 秀明	地域	菩提寺まちづくり協議会・歴史文化資料室運営協議会代表	菩提寺地域
大濱 早苗	学校教育	菩提寺北小学校校長 社会教育委員	小学校代表 (令和7年度~)
谷口 浩美	学校教育	甲西北中学校校長 社会教育委員	中学校代表 (令和7年度~)

9

10 オブザーバー

11 滋賀県文化スポーツ部文化財保護課

12

1 表2 湖南市文化財保護審議会委員名簿 (敬称略・順不同)

氏名	分野など	所属など
土井 通弘	美術・工芸	就実大学名誉教授
中島 誠一	民俗文化財	成安造形大学非常勤講師
八杉 淳	歴史・古文書	草津市歴史文化活用調整員
坂尾 昭彦	郷土史	滋賀大学教育学部非常勤講師
中井 均	考古学	滋賀県立大学名誉教授
富島 義幸	建造物	京都大学大学院教授
井上 勝	郷土史	滋賀文教短期大学准教授

2

3 表3 湖南市文化財保存活用地域計画策定協議会などの経過

開催日など	回	主要検討項目
令和7年(2025) 1月30日	第1回	1 湖南市文化財保存活用地域計画について 2 市内文化財のとりまとめ状況について
令和7年(2025) 3月25日	第2回	1 “文化財”的定義について 2 市民意見の集約について
令和7年(2025) 7月4日	第3回	1 アンケートについて 2 ワークショップについて 3 文化財保存活用地域計画素案 序章～第3章 (湖南市の概要、湖南市の歴史文化の特性 他)
令和7年(2025) 10月20日	第4回	1 アンケート、ワークショップの結果について 2 文化財保存活用地域計画素案 序章～第3章 修正 3 文化財保存活用地域計画素案 第4章～第6章 (既往の把握調査、将来像、課題)
令和8年(2026) 1月21日	第5回	
令和8年(2026) 2月9日	第6回	

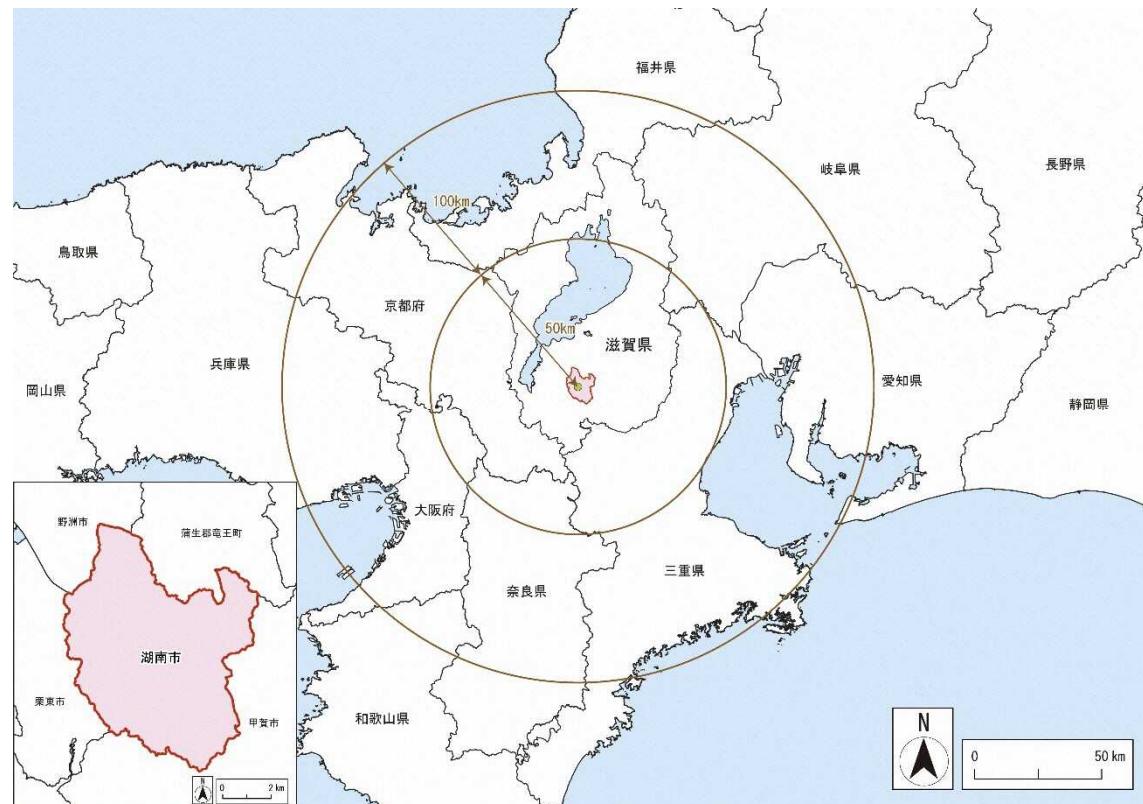
4

1 第1章. 湖南市の概要

2 1. 自然的・地理的環境

3 (1) 位置と概要

4 本市は滋賀県南部に位置し、大阪・名古屋から 100km 圏内の近畿圏と中部圏をつなぐ広域
5 交流拠点にあります。市域の西側を栗東市、北西側を野洲市、北側を蒲生郡竜王町、東側
6 と南側を甲賀市とそれぞれ接しています。市の総面積は 70.4 km²で、地形は平地・丘陵・山
7 林に分かれ、山林が土地全体の 51.9%を占めています。



27 図4 本市の位置図
28

1 (2) 地形・地質

2 ①地形

3 本市は、野洲川に沿って展開する平野部、野洲川の南北に展開する丘陵に分けることがあります。このうち、南部の丘陵は標高 693.1m の阿星山を中心として美松山、人星山、
4 大納言山、鳥ヶ嶺、横田山、伝芳山からなる阿星山系、北部の丘陵は標高 405.5m の岩根山
5 (通称十二坊) を中心に龍王山からなる岩根山系より形成されています。

6 本市の中央部には、豊かな平野を形成する野洲川と、野洲川や日野川に流れ込む中小河川
7 が流れています。

8 野洲川は、鈴鹿山脈南部から流れ出す川です。山の南西側の斜面に水を集めて流れ、甲賀
9 の山地と丘陵を削りながら進み、市の中心を通っていきます。その後、栗東市で広範囲の扇
10 状地を形成し、さらに平らな土地（沖積平野）を形成しながら、琵琶湖へ流れ込む全長 61
11 km の県内最大級の河川です。

12 中小河川には、野洲川に流れ込む落合川、宮川、大沙川、由良谷川、家棟川などの河川や
13 祖父川に合流した後、蒲生郡竜王町を通って日野川に流れ込む茶釜川があります。

14 本市の河川の特徴として、山地を形成する花崗岩地帯から流れる河川では、風化した花
15 岩の岩石が多量に流出することから、河床が周囲の地形よりも高まることで「天井川¹」
16 となっています。

17 特に由良谷川、家棟川および大沙川は河川の傾斜が急であり、著しい天井川として発達し
18 ています。旧東海道を横切って流れるこれら 3 川には、街道を行き交う人馬の交通の利便向
19 上を目的として大沙川に明治 17 年 (1884)、由良谷川・家棟川に明治 19 年 (1886)、それぞ
20 れ石造トンネル（隧道）が設置されました。

21 このうち家棟川は、昭和 54 年 (1979) に平地河川化工事²が行われ、その際に隧道も解体・
22 撤去されています。現在は、隧道に掲げられていた扁額が川の脇に保存されています。

23



24 大沙川隧道



由良谷川隧道

¹ 天井川：川床が周囲の平地よりも高い位置にある河川のこと。

² 平地河川化工事：天井川となっていた土手を解体し、平地化する工事のこと。

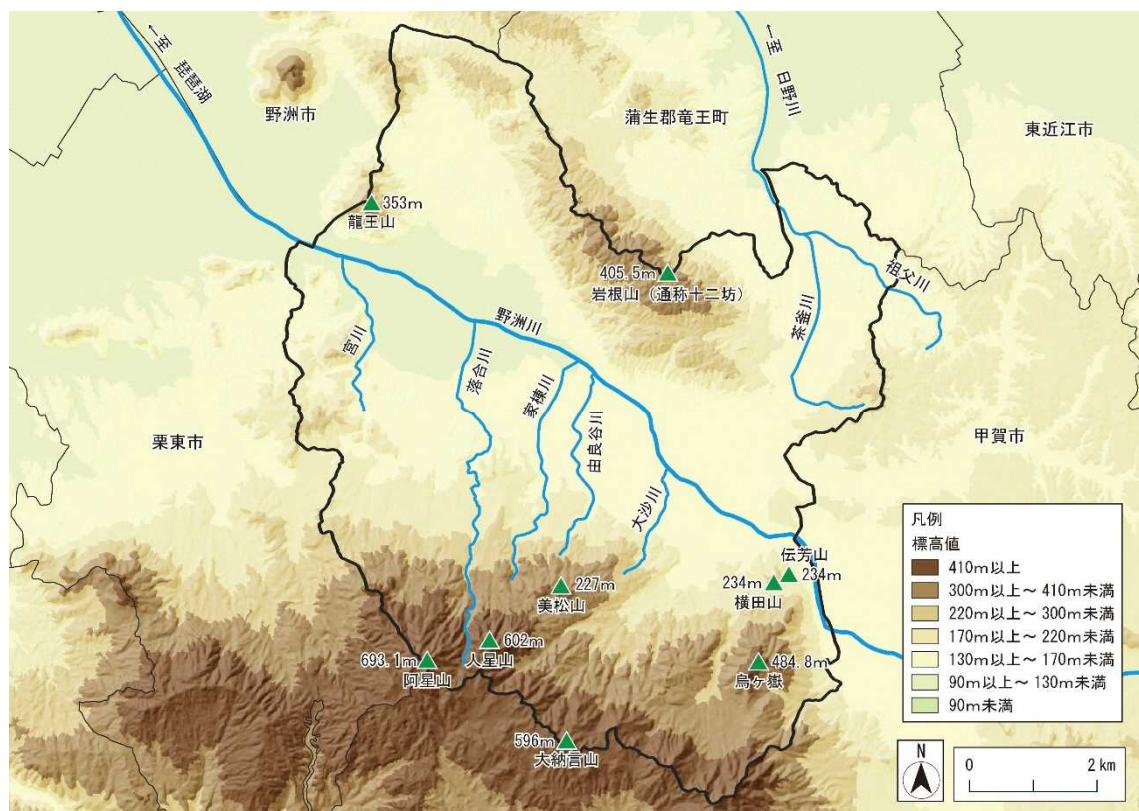


図5 本市の地形図

1 ②地質

2 本市には中生代から新生代の地層が広く分布します。

3 市の南北には、中生代の花崗岩類が広く分布し、山地を形成しています。輝水鉛鉱や水晶
4 などの鉱石を産出し、かつて採石の事業も行われていました。また、本市で唯一の温泉はこ
5 の中生代の花崗岩類から産出しています。

6 野洲川が流れる中央部には、約 260 万年前の古琵琶湖層¹が分布しています。昭和 63 年
7 (1988) にその地層からゾウやシカなどの動物の足跡化石²が発見され、日本の足跡化石研
8 究発祥の地とされています。

9 市の西側の石部地区には、中生代のチャートや石灰岩（大理石）が分布し、鉄や銅および
10 マンガンなどの鉱石を産出しています。石灰岩は江戸時代から肥料や塗料に利用され、昭和
11 30 年代まで採掘されていました。

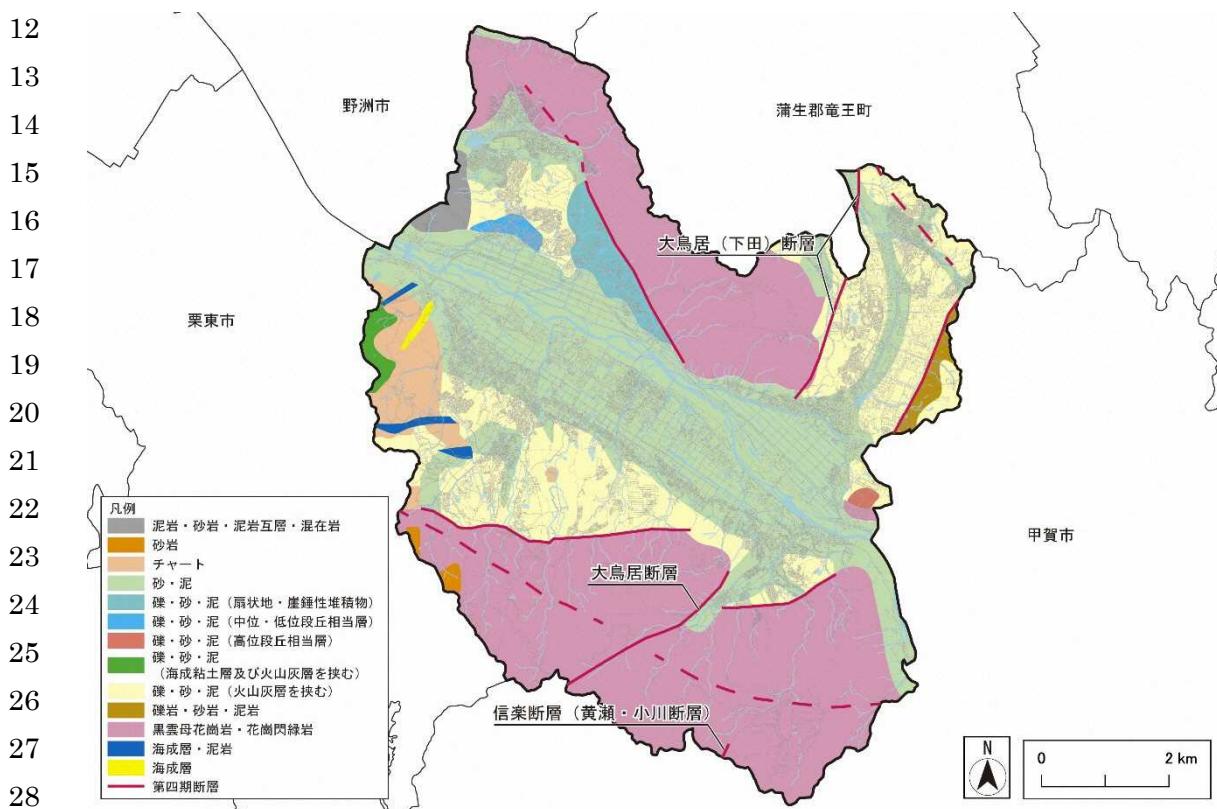


図 6 本市の地質図

出典：近畿地方土木地質図 1 (近畿地方土木地質図編纂委員会 平成 15 年 3 月) をトレースして作成

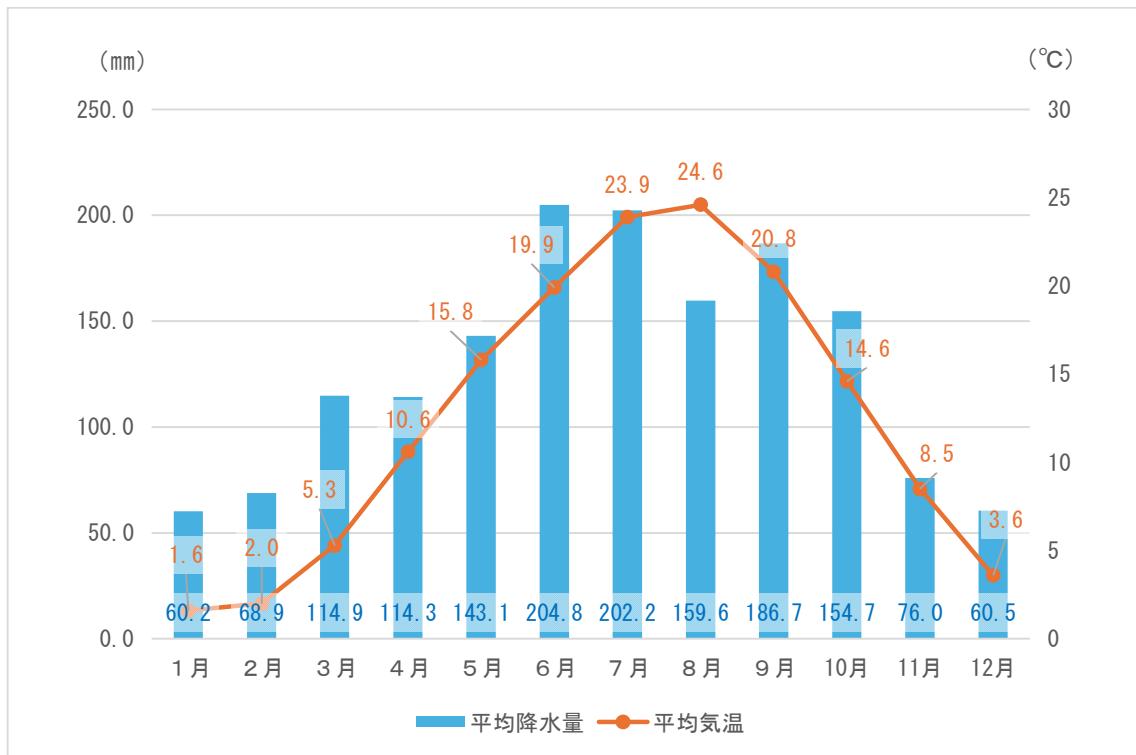
¹ 古琵琶湖層：約 400 万年前から 43 万年前までの間、現在の琵琶湖の元となった湖や湿地（古琵琶湖）へ流れ込んだ土砂が堆積した地層のこと。琵琶湖周辺から三重県伊賀市付近まで広がっています。

² ゾウやシカなどの動物の足跡化石：平成 4 年（1992）に野洲川で発見された足跡化石。「野洲川河原の足跡化石出土品」として市指定文化財（天然記念物）に指定されています。

1 (3) 気候

2 本市は太平洋型気候に属し、周囲の山々によって季節風が遮られることから年間平均気
3 温は 12.6°C、年間降水量は 1,534.6 mm を測る比較的温暖で降水量の多い地域です。

4 近年、全国各地で豪雨災害が多発しています。本市では、人命被害はなかったものの、令
5 和 3 年 (2021) 8 月に発生した豪雨災害において床上浸水や河川氾濫などが発生しています。



23 図 7 本市の年間平均降水量と年間平均気温

24 出典：気象庁過去データ（1991～2020）（観測点：信楽）

1 (4) 自然災害

2 ①風水害

3 本市では、山系を流れる河川が花崗岩を削り、下流にて天井川を形成しています。天井川
4 は普段は水が流れない水無川が多い一方、川の断面積が小さいため少雨であってもあふれ、
5 下流域に甚大な被害をもたらします。

6 近年、異常気象による風水害被害が全国で報告されており、本市では令和3年（2021）8
7 月の大雨による出水被害がありました。過去には宝暦9年（1759）10月に当時の三雲村
8 妙感寺で発生した大規模な土石流災害が「妙感寺流れ」として伝わっており、妙感寺には当
9 時の供養塔が今も伝わっています。本市では、妙感寺流れが発生した10月9日を湖南市防
10 災の日として条例で定めており、市民に対し災害の歴史を継承し、防災意識を高めることと
11 しています。

12

13 ②地震

14 滋賀県内には琵琶湖西岸断層帯や鈴鹿西縁断層帯など多くの活断層が確認されています。
15 本市周辺では信楽断層や大鳥居断層などが活断層であると推定されているほか、大小様々な
16 数多くの断層が確認されています。

17 本市において発生することが想定される大規模な地震災害のうち、被害が最も大きく、発
18 生確率が高いものは南海トラフ巨大地震で、本市域での想定震度も6強となっています。

19

20 表4 過去の災害一覧

発生年	内容	備考
寛文6年（1666）	火災、石部宿中残らず焼失	石部
元禄5年（1692）	火災、116軒焼失	石部
宝暦5年（1755）	火災、31軒焼失	石部
宝暦6年（1756）	山崩れ	東寺
宝暦9年（1759）	山崩れ、「妙感寺流れ」	三雲
明和2年（1765）	洪水	東寺
明和4年（1767）	大雨、田畠被害	
享和2年（1802）	洪水、落合川急出水、石部宿内流家あり	石部
文政2年（1819）	地震、小島本陣被災	
嘉永元年（1848）	水害、宮川・落合川破堤	
嘉永7年（1854）	安政伊賀地震	
昭和28年（1953）	山津波、岩根小学校被災	岩根
平成25年（2013）	台風18号による野洲川流域での大規模な浸水被害、国宝常楽寺本堂避雷針破損、龍王山・霧降滝流出 ほか	市内全域
平成30年（2018）	台風12号による国宝常楽寺三重塔破損	西寺
令和3年（2021）	記録的大雨による出水被害	市内全域

21

出典：『新修石部町史 通史編』、『湖南市地域防災計画』ほか

1 (5) 動植物

2 山地に囲まれた本市は、市面積 70.4 km²のうち森林面積は 36.45 km²あり、市面積の 52%が
3 森林区域となっています。

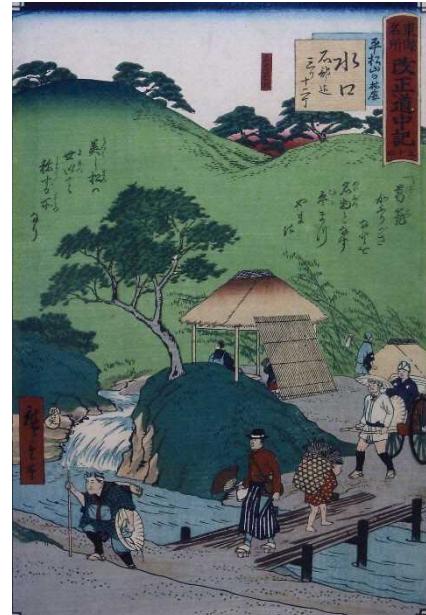
4 森林面積のすべてが民有林で、人工林率は 45%です。
5 人工林のほとんどはスギ・ヒノキで、天然林はアカマツ
6 が比較的多く、また森林面積の 78%が保安林に指定され
7 ています。

8 山の麓にある里山では、木が病気や虫により枯れてしま
9 う「マツ枯れ」や「ナラ枯れ」が起きています。その
10 ため、地面をしっかりと支える力が弱くなっています。また、
11 イノシシやシカなどの動物による被害も出ています。
12

13 本市の植生の内、本市らしさを構成する文化財に国指
14 定天然記念物の平松のウツクシマツ自生地があります。
15 この自生地は江戸時代の浮世絵などにも描かれ古くか
16 ら全国的にも知られた場所です。本市では令和 3 年
17 (2021) 10 月に『国指定天然記念物平松のウツクシマツ
18 自生地保存活用計画』を策定し、ウツクシマツ自生地の
19 保全管理を進めています。

20 本市では、阿星山^{あぼしやま}や岩根山^{いわねやま}などの山系から市街地周辺の水田・里山、野洲川^{やすがわ}までに多様な
21 自然環境が見られ、山間地にはハチクマやオオタカ、里山にはスズメやノウサギ、河川には
22 コイやフナ、アユなどが生息しています。

23 しかし、平松のウツクシマツ自生地ではシカやノウサギによるとみられるウツクシマツの
24 食害が発生しており、ウツクシマツが自然に育つことが難しい状況となっています。



東海名所改正道中記 平松山の麓
水口 石部迄三り十二丁
(湖南市所蔵)

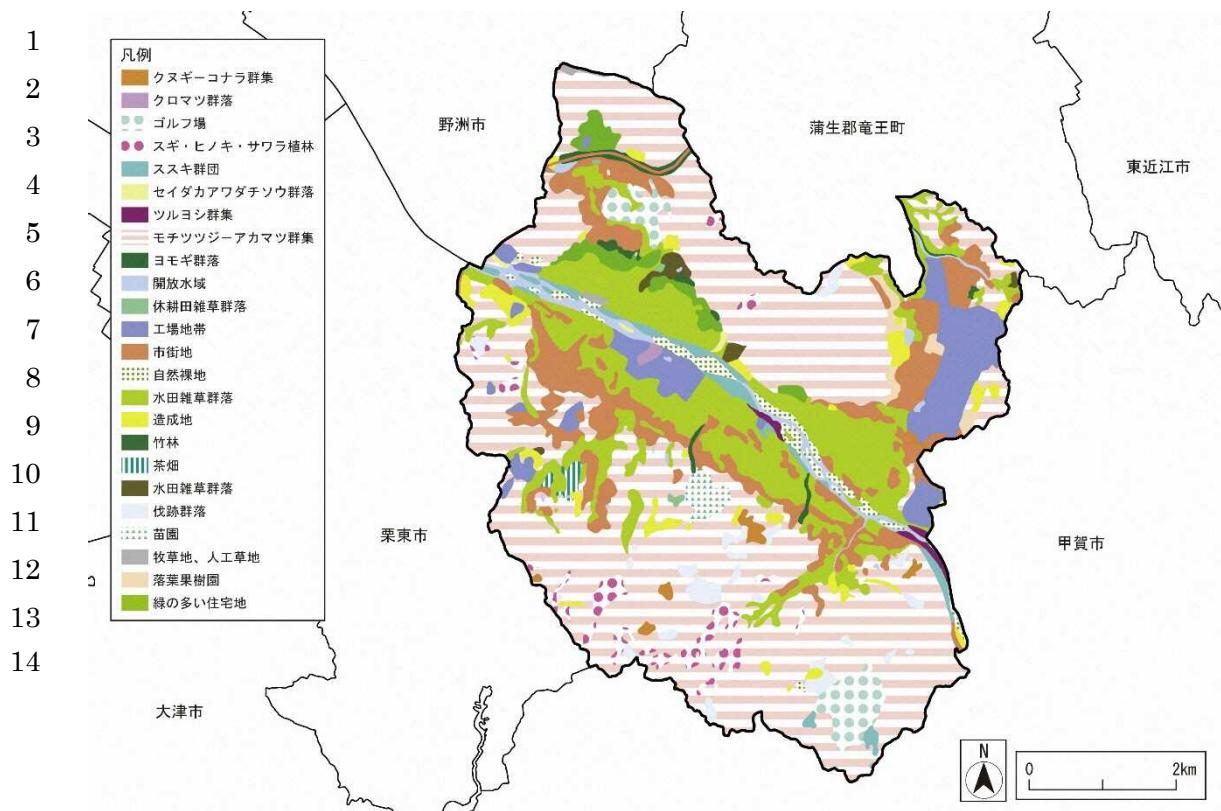


図8 本市の植生図
出典：環境省第2回～第5回自然環境保全基礎調査植生調査 現存植生図
(昭和54年度～平成10年度)、国土数値情報のデータを加工して作成

2. 社会的状況

(1) 市の沿革

明治5年（1872）の大区小区制施行や同11年（1878）の郡区町村編制法制定、同21年（1888）の市制・町村制公布により、明治22年（1889）に石部村・三雲村・岩根村が成立し、甲賀郡第二区より下田村が独立しています。さらに明治36年（1903）には石部村が石部町になりました。

昭和30年（1955）には、三雲村と岩根村が合併して甲西町となり、さらに昭和33年（1958）に下田村が甲西町と合併しました。そして平成16年（2004）10月1日、石部町と甲西町が合併し現在の湖南市が発足しました。

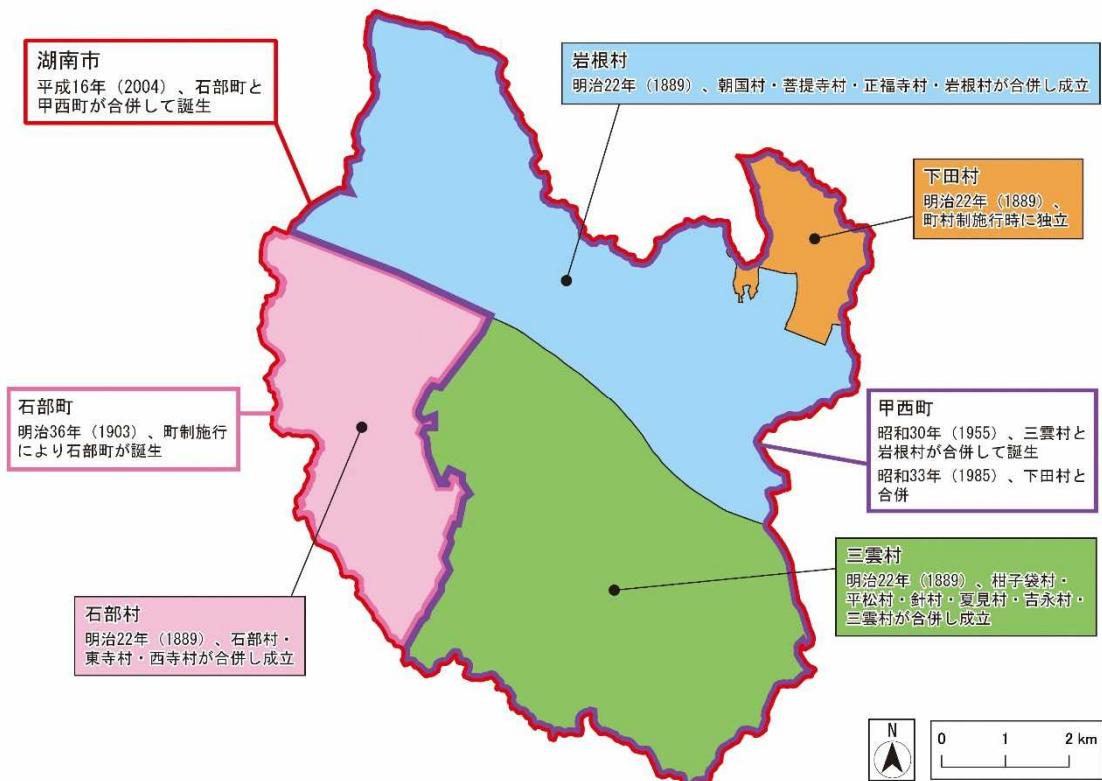


図9 本市の変遷

1 (2) 地域区分

2 本市は、旧町村の範囲を中心とした石部
 3 地域、石部南地域、三雲地域、菩提寺地域、
 4 岩根地域、水戸地域、下田地域の7つの地域
 5 に区分され、それぞれの地域に地域まちづ
 6 くり協議会を設置しています。このまちづ
 7 くり協議会は地域課題の解決やまちづくり
 8 に向けた取組を進める組織であり、本計画
 9 で示す文化財の保存・活用に向けた取組の
 10 重要な活動・支援組織といえます。

11 『湖南市都市計画マスターplan』にて
 12 地域別まちづくり構想を掲げており、地域
 13 が一体となって身近なまちづくり活動に取
 14 組むための基礎的な指針として、また、
 15 まちづくり協議会などの事業計画のたたき
 16 台として活用されることを想定していま
 17 す。



図10 本市の地域区分図

18 表5 本市の地域とまちづくりのテーマ一覧

No.	地域	区名	まちづくりのテーマ
1	石部地域	石部東、石部中央、石部西、岡出（4区）	歴史・自然・文化が織りなす あつたかふるさと 石部
2	石部南地域	宮の森、宝来坂、石部南、東寺、西寺・丸山（5区）	豊かな自然と伝統のこころが息づくふるさとづくり
3	三雲地域	三雲、妙感寺、吉永、夏見、針、ルモン甲西、中央、平松、柑子袋（9区）	自然と歴史・文化をつなぐ やすらぎのあるまち 三雲
4	菩提寺地域	北山台、菩提寺、みどりの村、三上台、イワタニランド、近江台、ハイウェイサイドタウン（7区）	子どもたちが愛し誇れる文化の香りあふれるまち 菩提寺
5	岩根地域	朝国、岩根東口、岩根東、岩根西、岩根花園、正福寺（6区）	子どもも高齢者も仲良く笑顔で暮らせる人情あふれる やすらぎのまちづくり
6	水戸地域	湖南工業団地北、湖南工業団地中、湖南工業団地南（3区）	コミュニケーションで安心・安全、住みよいふるさと 水戸づくり
7	下田地域	下田東、下田西、下田南、下田北、中山、緑ヶ丘、大谷、桐松、堂の城（9区）	みんなで活かそう美しいまち、好きです 下田！

（3）人口動態

本市の令和8年（2026）8月現在の人口は〇人です。年齢別の人口をみると、14歳以下および15～64歳の人口の割合が年々減少傾向にあり、一方で65歳以上の人口の割合は増加傾向にあります。

国立社会保障・人口問題研究所による推計結果では今後も人口減少が続き、令和32年（2050）には43,633人程度になると予測されています。

一方、外国人市民の人口は令和4年（2022）12月現在で3,508人を数え、増加傾向にあります。特に水戸地域が最も多く、人口の2割程度を占めています。

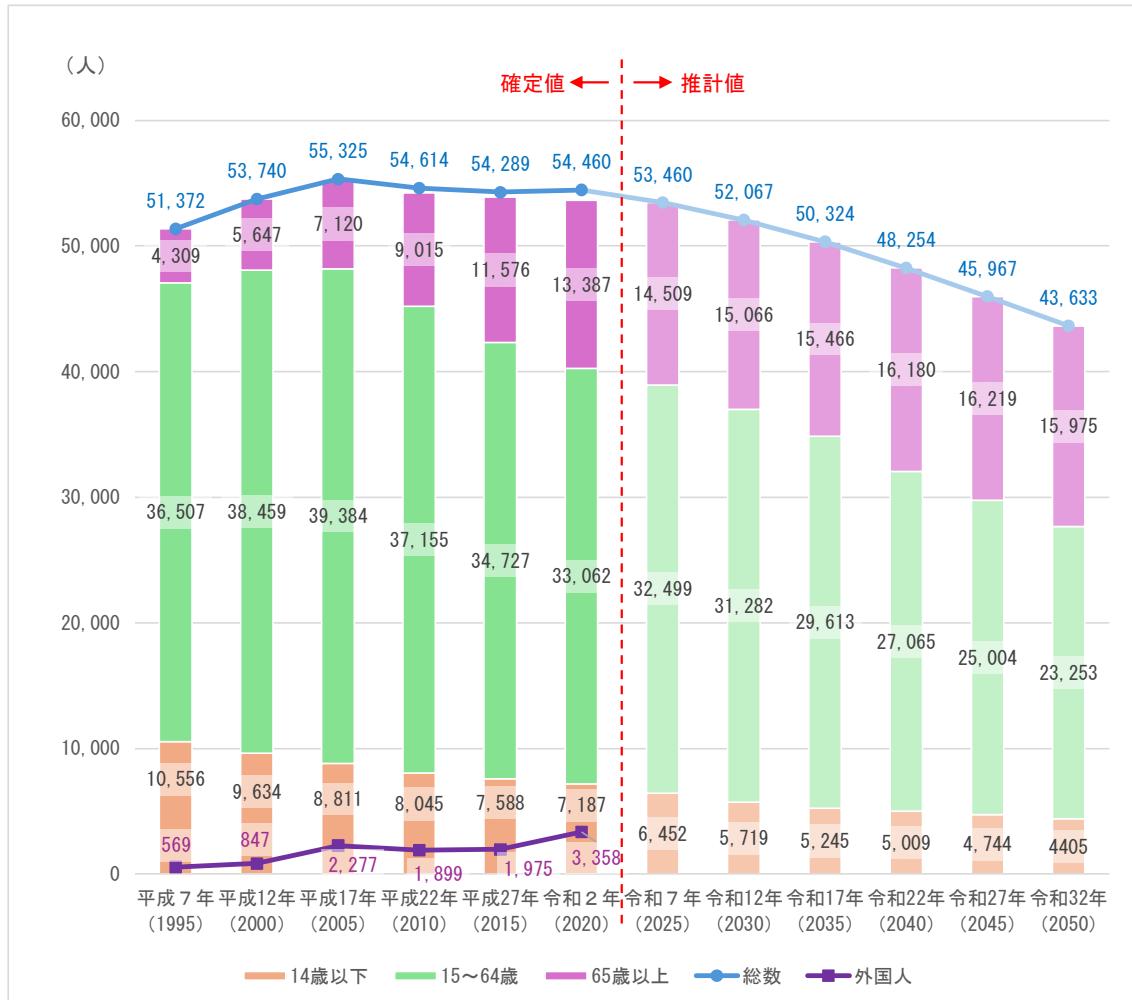


図11 本市の人口推移

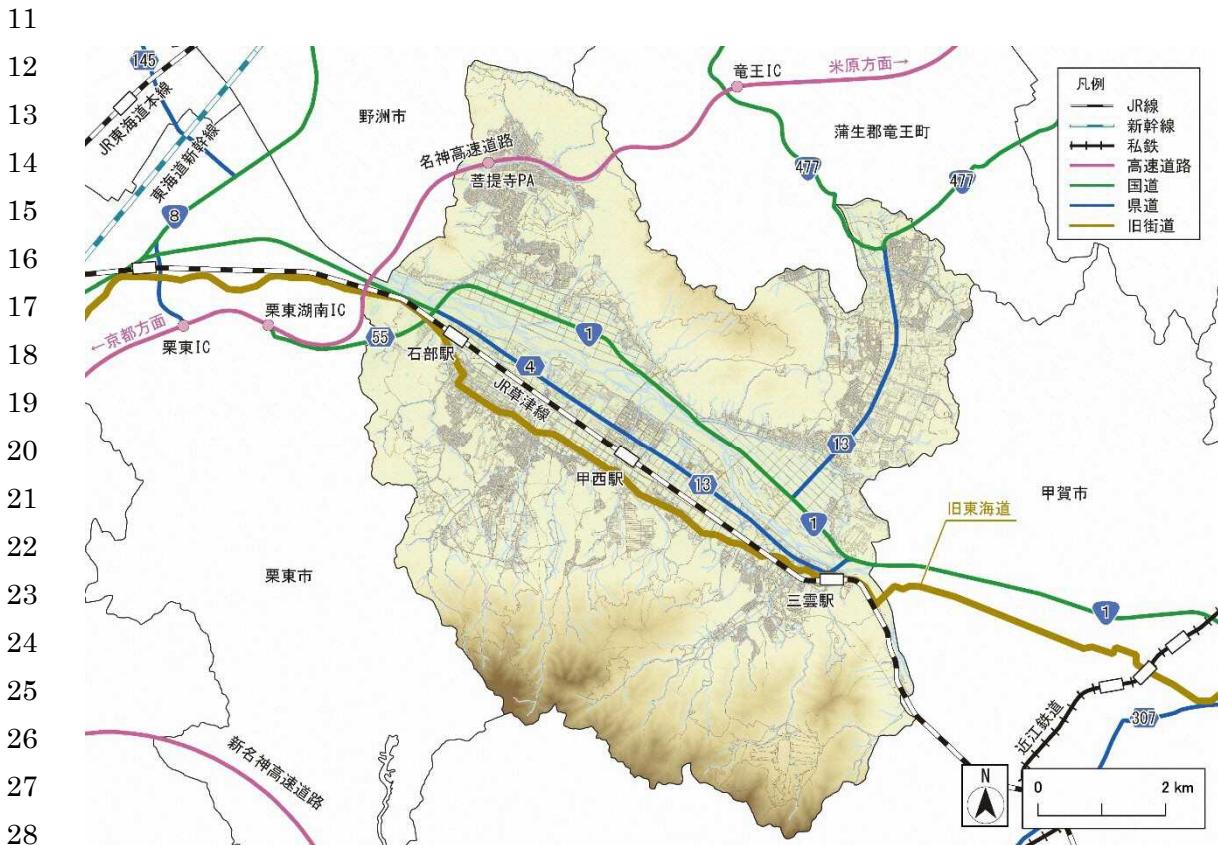
出典：国勢調査（1995～2020）、日本の地域別将来推計人口（令和2（2020）年推計）

※外国人市民の推計値はないため、国勢調査（1995～2020）より確定値のみ記載

1 (4) 交通

2 本市は古代より西国、京・伊勢・東海・東国を結ぶ交通の要衝地でした。天智天皇 6 年 (667)
3 には古代東海道が通り、一時その役目を終えることになりますが、延暦 3 年 (784) 以降再
4 び東海道が通過するようになりました。江戸時代には石部宿¹や三雲・夏見の一里塚²が整備
5 され、石部宿は東海道五十三次の 51 番目の宿駅地としてにぎわいました。

6 現在は、名神高速道路や国道 1 号、JR 草津線が整備されています。市内には JR 草津線の
7 駅が石部駅と甲西駅、三雲駅と 3 駅あり、各駅から市営のコミュニティバス「めぐるくん」
8 で各地域への移動が可能です。名神高速道路の菩提寺パーキングエリアには高速バスの停
9 留所が設置されており、京都一名古屋間を運行する高速バスの一部が停車することから、京
10 都方面や名古屋方面の移動の利便性が高まっています。



29 図 12 本市の主要交通網図

¹ 石部宿：東海道五十三次の 51 番目の宿場町。「京立ち石部泊まり」という言葉が残されるように、京都を出発した旅人が最初に宿泊する土地でもありました。

² 一里塚：徳川幕府が旅人への便宜のために整備したもの。一里（約 4 km）ごとに築かれ、塚上に榎や松などが植えられていました。

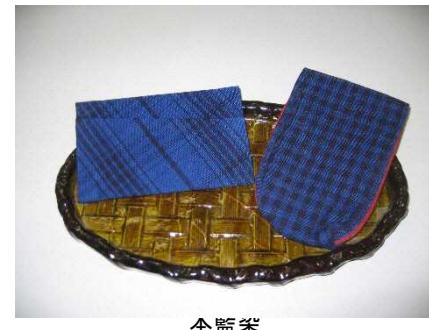
1 (5) 産業

2 本市の産業別就業人口の割合は、令和2年（2020）時点で第1次産業が1.4%と非常に低
3 く、第2次産業が43.3%、第3次産業が55.4%となっています。

4 本市は水と緑に囲まれた自然環境豊かな地域で、古くから街道を中心とした産業や文化
5 が栄えてきました。昭和40年（1965）の名神高速道路の開通に伴い、有利な立地条件を利
6 用して県内最大の湖南工業団地が造成され、ものづくり産業が集積されていきました。その
7 ため、第2次産業の中でも特に製造業の従事者が多く、出荷額では輸送用機械器具製造業が
8 最も多くなっています。

9 製造業以外に農業や商業も本市の経済を支えています。
10 農業では下田なす¹、弥平とうがらし²、朝国しょう
11 が³、サトイモ、東寺献上ごぼう⁴が伝統野菜として作ら
12 れてきました。現在、これらの野菜を後世に継承するた
13 め、各地域でプロジェクトが行われています。

14 一方、本市の過去の産業には江戸時代から始まった産
15 業として下田焼⁵と本藍染⁶があります。下田焼は幕末か
16 ら明治前期にかけて登り窯3基、窯元十数戸が操業して
17 いましたが、信楽焼に押され衰退し、現在は窯元1軒が操業されています。本藍染は江戸時
18 代中期に京都より伝わり、近年まで一軒の工房で伝統技術が守られ続けていましたが、令和
19 7年（2025）3月に廃業されました。



本藍染

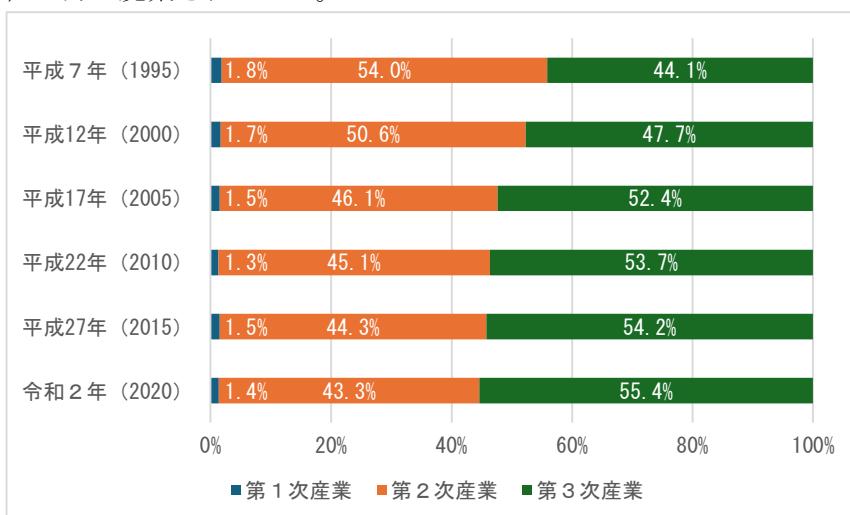


図13 本市の産業別就業人口の割合

出典：『湖南市統計資料』（2023年）

¹ 下田なす：下田地域で明治以前から栽培される伝統野菜。長さ6～10cmと小ぶりで水分が多いのが特徴。

² 弥平とうがらし：下田地域で約100年前から栽培される伝統野菜。鷹の爪の2倍の辛さがあります。

³ 朝国しょうが：江戸時代から昭和中期まで朝国地域で栽培されていた伝統野菜。小しょうがといわれる品種で辛みが強い。

⁴ 東寺献上ごぼう：東寺地域の砂質土壤で採れたまっすぐに太く伸びたゴボウのこと。昭和天皇即位の御大典（昭和3年）に献上されたことからその名が付きました。

⁵ 下田焼：下田地区で寛延3年（1750）頃に生まれたとされる陶芸技術とその陶磁器。素朴な柄と吳須の深い藍色が特徴。

⁶ 本藍染：藍を用いた伝統的な染色技術のひとつ。

1 (6) 観光

2 本市には国宝の建造物や重要文化財の仏像などを保存・継承している常楽寺や長壽寺、
3 善水寺などの古刹をはじめとして、浮世絵などに描かれ旅人も関心を持った国指定天然記
4 念物の平松のウツクシマツ自生地や江戸時代の町並み景観がたどれる石部宿など、多くの
5 歴史や自然に関する文化財があります。また、「花の寺と磨崖仏めぐり」や「湖南三山紅葉
6 めぐり」といったイベントなどもあり、多彩な観光資源に恵まれています。

7 令和2年（2020）は新型コロナウイルスの影響を受け観光入込客数が減少しましたが、
8 徐々に回復し、令和元年（2019）の水準に戻りつつあります。しかし、本市の観光入込客数
9 は600,000人程度で滋賀県内の市町の中でも観光客が少ない傾向にあります。観光入込客
10 数を増加させるため、本市にある多彩な観光資源を活かした取組を推進することが求めら
11 れています。

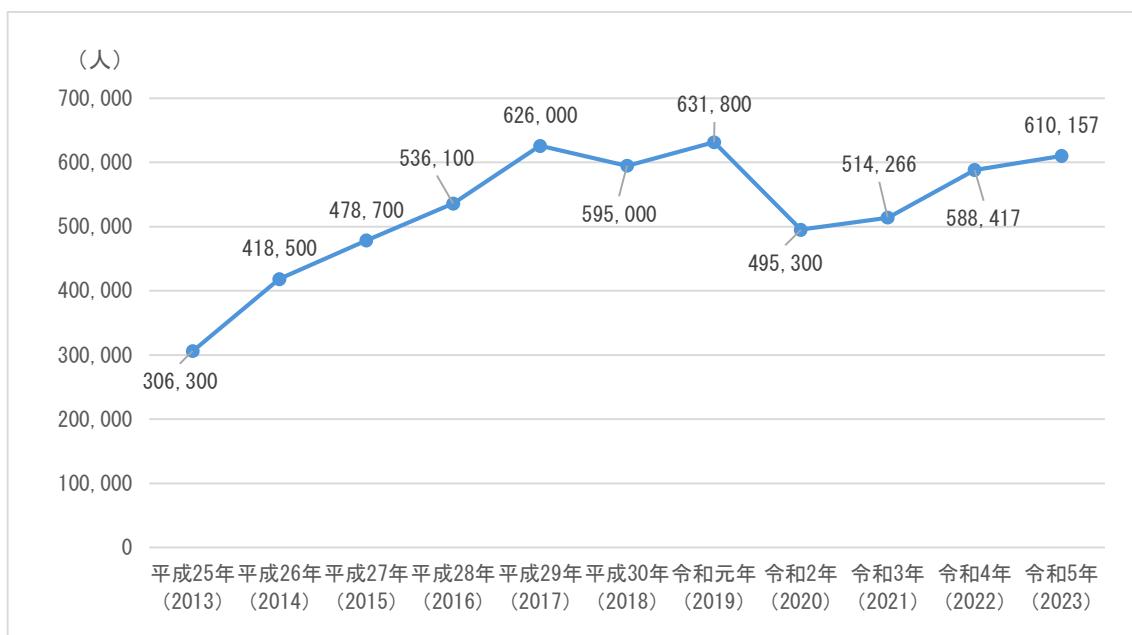


図14 本市の観光入込客数

出典：滋賀県観光入込客統計調査（平成25年～令和5年）

1 (7) 文化財関連施設

2 本市の文化財関連施設には、と「湖南市立東海道石部宿歴史民俗資料館」(以下、「歴史
3 民俗資料館」という。)、「菩提寺歴史文化資料室」があります。

4 歴史民俗資料館では東海道五十三次図をはじめ、大名
5 の網代駕籠¹や関札²、宿帳³など宿場町の歴史資料を展
6 示しています。また、絵図などを手がかりに 20 分の 1
7 で復元した小島本陣⁴の模型も展示しています。



石部宿場の里

8 歴史民俗資料館の敷地内には「石部宿場の里」があり、
9 ここでは再現建築物や資料を用いて石部宿を紹介して
10 います。また、明治時代に性学⁵という思想が石部村に入
11 ってきますが、その修業の場として石部村の人々によつ
12 て設立された八石教会所の再現建築物もあります。

13 「菩提寺歴史文化資料室」は、平成 27 年 (2015) 4 月に菩提寺まちづくりセンターの開
14 館と同時にセンターの中に置かれた資料室です。古墳時代から近世までのそれぞれの時代
15 における歴史や当時の人々の暮らしぶりなどが伝わる
16 ような展示を心がけています。菩提寺地域の小学校は授
17 業の一環でこの資料室へ地域の歴史を勉強するために
18 見学に訪れています。



石部宿田楽茶屋

19 そのほか、石部地域には往時の田楽茶屋を再現した
20 「石部宿田楽茶屋」があり、郷土食のいもつぶし⁶を提
21 供しています。ほかにも「こころの街角サロンいしふく宿
22 駅」があり、休憩や会合の場を提供しています。

23

¹ 網代駕籠：大名などが乗る移動用の駕籠。

² 関札：宿泊者の氏名を記して宿の玄関などに掲げられる木札。

³ 宿帳：宿泊者の氏名などを記した記録帳。歴史民俗資料館で保管している小島本陣の宿帳には江戸幕府將軍（14代目家茂、15代目慶喜）などの氏名が残されています。

⁴ 本陣：参勤交代の大名をはじめ、宮門跡・公卿・幕府役人などが休泊した施設。

⁵ 性学：幕末期の農民指導者・大原幽学が説いた思想。神・儒・仏の融合を基本とし、幽学自身の思想を交えて体系化され、礼のわきまえや家族主義道徳の尊重を特徴とします。

⁶ いもつぶし：米と里芋を混ぜて作った石部地域の郷土料理。（P37 に解説あり）

3. 歴史的環境

(1) 有史以前

本市の有史以前の人々の活動は現時点では不明です。なお、野洲川河床の古琵琶湖層より、昭和63年(1988)に長鼻類(ゾウ)と偶蹄類(シカ)の足跡化石と埋没樹痕が大量に発見され発掘調査が行われました。その結果、足跡が残されたこの場所は古琵琶湖周辺の湿地に近い地形であったことが分かっています。



野洲川河床で発見された
ゾウの足跡化石

(2) 原始

本市の人々の活動の歴史は、縄文時代から始まっていると考えられます。しかし、縄文時代の遺跡には井戸遺跡(三雲地域)が、また弥生時代の遺跡には尊光寺遺跡(三雲地域)がありますが、当時の人々の具体的な生活像は必ずしも明確になっていません。

一方、本市での人の営みが明確になってくるのは古墳時代からです。古墳時代の本市は、野洲川の中流に広がる沖積平野で農耕生活が定着し、土地占有を巡る争いが行われる中で有力な指導者が誕生したと考えられます。古墳時代中期の5世紀前半には宮の森古墳(石部地域)が築造され、同墳を中心に政治的なまとまりが形成されたと考えられています。

古墳時代後半に入ると、市内に群集墳と呼ばれる古墳が多く築かれるようになります。群集墳には六反古墳群(石部南地域)・柿ヶ沢古墳(石部地域)・狐栗古墳群(三雲地域)などがあり、これらの古墳群からは鉄斧や槍状鉄器、鉄鏃、鉄釘、銀製空玉¹や青銅芯金環²などの遺物が出土したことから、この地域には大きな力を持つ集団がいたことが推察されます。



六反古墳群出土遺物

(3) 古代

本市は『大宝律令』(大宝元年(701)制定)により設置された甲賀郡に属し、老上・夏見・山直・蔵部の4郷のうち、老上郷および夏見郷に属していたと考えられています。

天平5年(733)、金勝山(栗東市)に聖武天皇勅願寺の金勝寺が創建され、以後金勝寺が琵琶湖南部の仏教中心地となると、金勝山の背後に位置する本市でも和銅寺(岩根地域)や常楽寺(石部南地域)、長壽寺(石部南地域)が創建されました。このうち和銅寺は延暦9年(790)に伝教大師が善水寺(岩根地域)として中興したと伝わります。これら3寺は現在湖南三山として本市



長壽寺本堂

¹ 銀製空玉：筒状にくり抜いた球状の装飾品。

² 青銅芯金環：環状の金属製の装飾品。

1 の重要な観光資源となっているほか、今まで 1,200 年以上法灯が守られ続けている県内
2 有数の古刹として重要です。

3 『正倉院文書』によると、天平宝字 5～6 年（761～762）に保良宮¹の近くに石山院（現
4 在の石山寺、大津市）が造営された際、その造営に必要な木材を三雲川津²に集積し、野洲
5 川から運んだとあります。このことから、野洲川は古代から重要な内陸水運路であったこと
6 が分かります。

7 天智天皇 6 年（667）には古代東海道が通り、延暦 3 年（784）以降は東海・東山・北陸の
8 3 官道が本市を通りました。石部駅家³は、京から伊勢への宿場として利用され、長治 2 年
9 （1105）には 源 雅実⁴が宿泊したという記録があります。

10 (4) 中世

11 平安時代、本市域は檜物荘⁵と呼ばれる藤原氏の寄進系荘園となり、さらに平安時代中期
12 には高陽院に属し、保元元年（1156）に起きた保元の乱以後は近衛家領となりました。近衛
13 家はその一部を少菩提寺⁶や常楽寺、長壽寺、善水寺などの寺院に寄進し、鎌倉・室町時代
14 を通じて同荘を治めました。

15 鎌倉時代に武家政権が成立すると、佐々木氏が守護となり近江国を統治しました。その後
16 佐々木氏は京極・六角・大原・高島の 4 家に分かれ、そのうち本市域は六角氏が治めまし
17 た。

18 室町時代に 6 代将軍の足利義尚が六角征伐を行いましたが、甲賀武士の活躍により失敗
19 に終わりました。なお、六角征伐で活躍した甲賀武士たちは、相互の結束と安全のため地
20 侍たちの連合である甲賀郡中惣を形成し、市内では
21 夏見や柑子袋、岩根で地侍を中心とした惣が組織され
22 ました。これらの惣は、野洲川・榎川の水利や山林問題、
23 安全・経済的利害にともなう案件を調停する自治組織と
24 して機能しました。市内には、惣を組織・運営した地侍
25 の活動拠点となった三雲城跡（三雲地域）、丸岡城 遺跡
26 （三雲地域）、針氏城 遺跡（三雲地域）、夏見城 遺跡（三
27 雲地域）などの遺跡があります。



三雲城跡

29 (5) 近世

30 本市域を含む琵琶湖東部を治めた六角氏は、足利義昭を擁して上洛する織田信長と争い
31 ましたが、天正 2 年（1574）に六角氏が信濃に逃避し、六角氏による近江国⁸の支配は終わり

¹ 保良宮：奈良時代に淳仁天皇が營んだ都。未完のまま廃止されました。

² 三雲川津：三雲地域にあったとされる野洲川の港。

³ 石部駅家：駅家は古代日本の五畿七道の駅路沿いに整備された施設。石部駅家について詳細は不明ですが、伊勢勅使が宿泊する借屋の施設があったと考えられます。

⁴ 源雅実：源氏で初めて太政大臣となった人物。伊勢勅使として京都から訪れたとされます。

⁵ 少菩提寺：天平 3 年（731）に開基されたと伝わる寺院。古くは 30 以上もの建物のある大伽藍でしたが、元龜年間に戦火に巻き込まれ、廃寺となりました。現地には多宝塔や石仏が残されています。

1 ました。

2 信長の死後、本市域は豊臣秀吉により旧石部町域を徳
3 川家康、旧甲西町域を浅野長政が治めました。関ヶ原の
4 戦い後、本市域の大部分は天領もしくは徳川譜代大名
5 領地となりました。

6 旧石部町域は、石部村が幕府領、東寺村および西寺村
7 が膳所藩領となり、後に東寺村と西寺村は幕府直轄領と
8 なっています。また柑子袋の上葦穂神社境内には、柑子
9 袋が東淀領であったことを示す領示石が残っており、
10 当時の土地支配の様相が分かります。



上葦穂神社境内の領示石

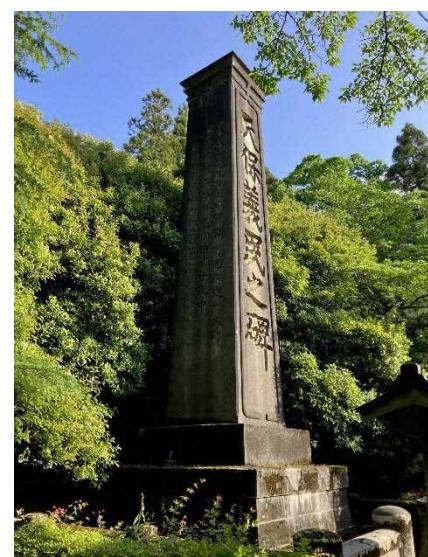
11 慶長 6 年 (1601)、徳川家康の五街道整備¹によって、古代から交通の要衝地であった本市
12 域には石部宿²が整備され、宿内に小島本陣や三大寺本陣、人馬継立所³などが置かれました。

13 天保 14 年 (1843) の『宿村大概帳』によれば、石部宿内には本陣 2 軒、旅籠⁴ 32 軒を
14 含む 458 軒が建ち並び、宿の中央には問屋場⁵と高札場⁶がありました。

15 石部宿⁷は京都からの一泊目の宿場町であり、多くの
16 文人墨客⁸が立ち寄りました。松尾芭蕉の『野ざらし紀行』
17 や『桂川連理 柵』、『丹波与作待夜の小室節』などの文
18 芸作品に登場し、広く世に知られることになりました。芭
19 蕉を敬慕する「石部躰躅社中⁹」の活動も市内に確認でき、
20 俳諧¹⁰が盛行していたことが分かります。

21 江戸時代後期、石部宿¹¹の経済力を背景に新田開発が行
22 われ、石灰製造や石部焼¹²の陶器の製造も始まりました。

23 天保 13 年 (1842) には三上騒動 (天保一揆)¹³ と呼ばれる一揆が起こり、本市域の住民が一揆を援助しています。
24 市内には一揆で人々の代わりに犠牲となった者たちを
25 謀彰する碑が残っています。



天保義民之碑

28 (6) 近・現代

29 明治維新によって西洋文明の取り込み気運が全国的に高まると、県内でも様々な取組が行
30 われました。本市に關係するものとして、石部村出身の藤谷九郎次が興した『琵琶湖新聞』

¹ 五街道：東海道、中山道、甲州街道、日光街道、奥州街道の 5 つの陸上交通路。慶長 6 年 (1601) に徳川家康によって整備が進められました。

² 人馬継立所：通行に伴う人馬を交代する場所。

³ 旅籠：旅人が宿泊する施設。

⁴ 問屋場：宿場町の役人が常駐し事務を行う場所。

⁵ 高札場：高札とは領主の触書などを板書したもので、高札場はこれを掲示した場所。

⁶ 石部躰躅社中：石部在住の俳人・文人の同好会で、真明寺の芭蕉句碑 (P31 参照) を建立しました。

⁷ 石部焼：十禅寺 (現在の石部中央二丁目付近) で生まれたとされる陶芸技術およびその陶磁器。

⁸ 三上騒動 (天保一揆)：幕府の役人による苛烈な検地に対し農民らが起こした一揆。役人の厳しい取り調べで多数の犠牲を出しても正しさを訴え闘い続け、検地十万日延期の証文を勝ち取りました。

1 があります。彼は大津船頭町（現大津市）に琵琶湖新聞
2 会社を設立し、明治 6 年（1873）に『琵琶湖新聞』を県
3 下 2 番目の新聞として創刊しました。

4 また、京都・滋賀・三重の各府県の有志により関西鉄
5 道会社が創設され、明治 22 年（1889）に草津—三雲間
6 の運行が開始されました。その際、その中間駅として
7 石部駅が、終着駅として三雲駅が設けられました。その
8 後、関西鉄道は米・石灰・肥料・食塩などの物資の輸送
9 手段として利用され、地元産業の発展に大きく貢献しました。なお、明治 39 年（1906）に
10 国有鉄道法が公布されると関西鉄道会社は買収され国鉄草津線となりました。

11 太平洋戦争終了後、本市では農業復興とともに国鉄草津線の電化や国道 1 号の開通など
12 地域経済基盤整備に取り組みました。さらに教育環境の整備や石部町立歴史民俗資料館（現
13 歴史民俗資料館）の建設など、地域の歴史や文化の保存・普及に努めました。

14 平成 16 年（2004）に行政サービスの効率化と地域の一体化を目指し、旧石部町と旧甲西町
15 が合併し湖南市となりました。



国分橋梁に残る関西鉄道社章

第2章. 湖南市の文化財の概要

1. 指定等文化財の概要

(1) 指定等文化財

本市には文化財保護法などに基づく指定等文化財が令和8年(2026)8月1日現在で合計118件あります。その内訳は国指定等41件、県指定11件、市指定66件です。

類型・種別では、有形文化財が建造物22件、美術工芸品89件(絵画15件、彫刻51件、工芸品15件、書跡・典籍6件、古文書1件、歴史資料1件)であり、無形文化財が1件、記念物が遺跡(史跡)2件、動物、植物、地質鉱物(天然記念物)4件です。民俗文化財、文化的景観、伝統的建造物群、文化財の保存技術の指定等はありません。

本市の指定等文化財は、社寺建造物、仏像彫刻が全体の半数を占めています。本市には湖南三山と呼ばれる常楽寺、長壽寺、善水寺をはじめとした多くの社寺が所在しており、市内の信仰に関する文化の豊かさを示しています。

なお、地域別では、岩根地域が35件と最も多く、次いで三雲地域が32件、石部南地域が29件です。湖南三山と呼ばれる寺院や東海道などの街道が所在する地域に指定等文化財が多く所在しているといえます。

表6 指定等文化財の件数内訳(令和8年(2026)8月1日現在)

類型・種別		国指定・選定	国選択	県指定	市指定	国登録	合計
有形文化財	建造物	8	-	0	13	1	22
	絵画	2	-	4	9	0	15
	彫刻	24	-	3	24	0	51
	工芸品	3	-	2	10	0	15
	書跡・典籍	1	-	0	5	0	6
	古文書	0	-	0	1	0	1
	考古資料	0	-	0	0	0	0
	歴史資料	0	-	1	0	0	1
	無形文化財	0	0	0	1	0	1
民俗文化財	有形の民俗文化財	0	-	0	0	0	0
	無形の民俗文化財	0	0	0	0	0	0
記念物	遺跡	1	-	1	0	0	2
	名勝地	0	-	0	0	0	0
	動物、植物、地質鉱物	1	-	0	3	0	4
文化的景観		0	-	-	-	-	0
伝統的建造物群		0	-	-	-	-	0
合計		40	0	11	66	1	118

※「-」は法および条例上、指定等の制度がないものです。

表7 地域ごとの指定等文化財の件数内訳（令和8年（2026）8月1日現在）

類型・種別		地域							市外	合計
		石部	石部南	三雲	菩提寺	岩根	水戸	下田		
有形文化財	建造物	1	6	6	2	7	0	0	0	22
	絵画	2	7	2	1	3	0	0	0	15
	彫刻	1	8	15	3	23	0	0	1	51
	工芸品	5	5	2	0	1	0	2	0	15
	書跡・典籍	1	1	1	1	1	0	1	0	6
	古文書	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	考古資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	歴史資料	0	1	0	0	0	0	0	0	1
無形文化財		0	0	0	0	0	0	1	0	1
民俗文化財	有形の民俗文化財	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無形の民俗文化財	0	0	0	0	0	0	0	0	0
記念物	遺跡	0	0	1	1	0	0	0	0	2
	名勝地	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	動物・植物・地質鉱物	0	0	4	0	0	0	0	0	4
文化的景観		0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝統的建造物群		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		10	28	32	8	35	0	4	1	118

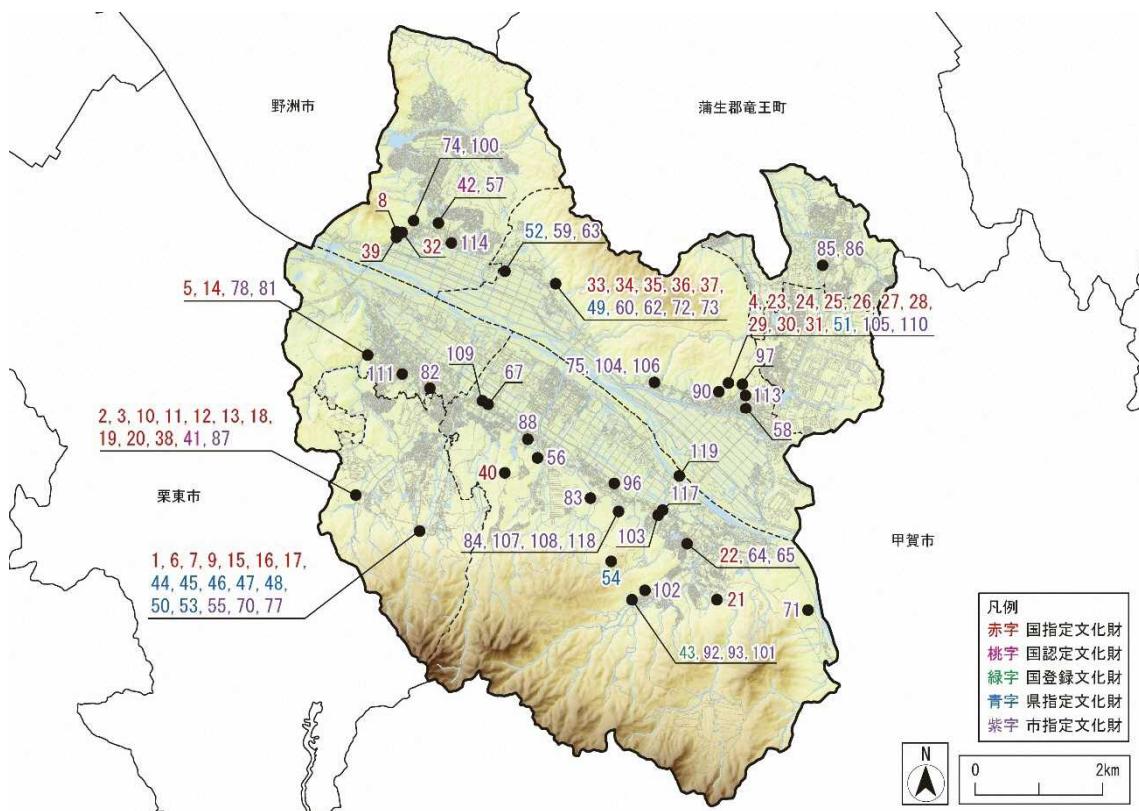


図15 指定等文化財分布図

※番号に対応した指定等文化財の一覧は資料編に掲載します。

（2）周知の埋蔵文化財包蔵地

令和8年（2026）8月1日現在、本市には71件の周知の埋蔵文化財包蔵地¹があります。その内訳は、社寺跡と城館跡が22件、次いで古墳、古墳群が20件となっています。地域別では、三雲地域が32件と最も多く、次いで岩根地域が18件です。

表8 周知の埋蔵文化財包蔵地の件数内訳（令和8年（2026）8月1日現在）

種別	地域							合計
	石部	石部南	三雲	菩提寺	岩根	下田	水戸	
集落跡	0	0	1	0	0	0	0	1
生産遺跡	1	0	0	0	0	0	0	1
社寺跡	1	6	9	1	5	0	0	22
城館跡	2	0	11	3	5	1	0	22
古墳、古墳群	2	1	9	2	6	0	0	20
その他	1	0	0	0	1	0	0	2
上記の複合遺跡	0	0	2	0	1	0	0	3
合計	7	7	32	6	18	1	0	71

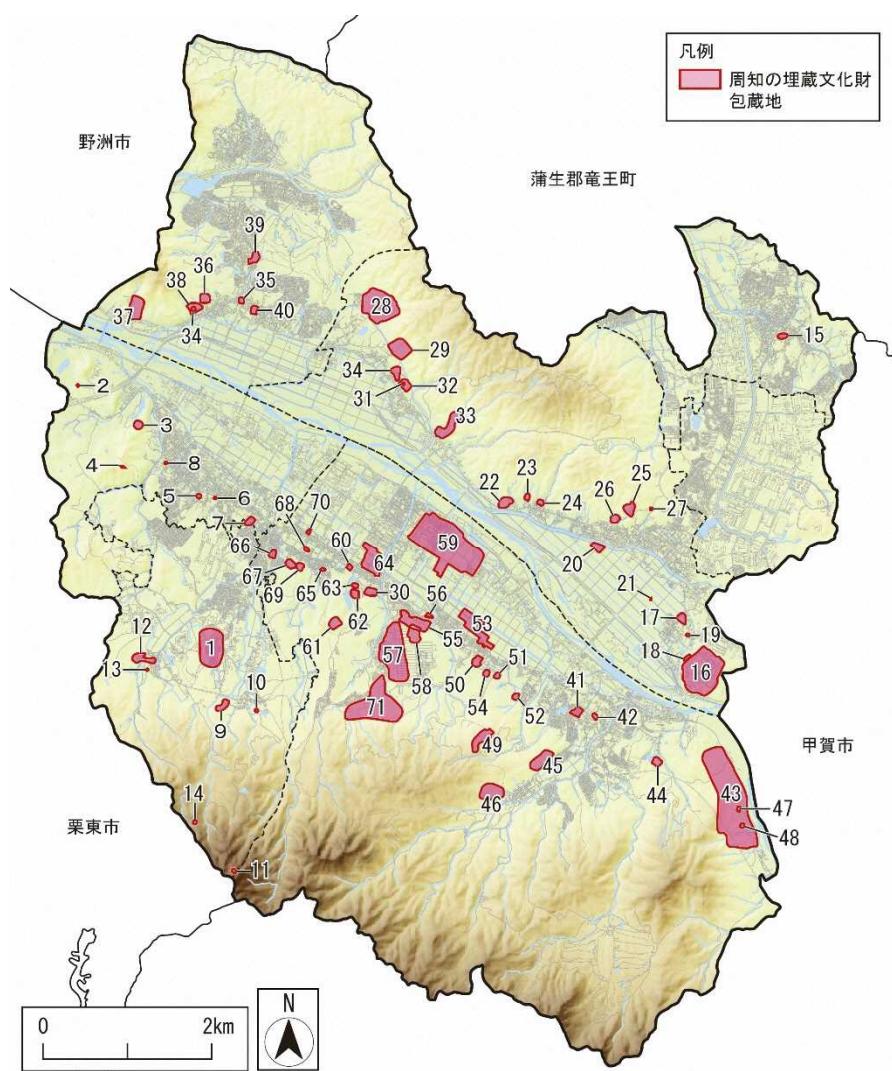


図16 周知の埋蔵文化財包蔵地分布図

※番号に対応した周知の埋蔵文化財包蔵地の一覧は資料編に掲載します。

¹ 周知の埋蔵文化財包蔵地

地中に埋蔵文化財が存在することが想定される範囲。分布調査や発掘調査などで定められます。

出典：令和3年『滋賀県遺跡地図』をもとに作成

2. 未指定文化財の概要

本計画の作成にあたり、既往の調査や文献などから、令和8年（2026）8月1日現在で907件の未指定文化財を確認しました。

類型・種別にみると、有形文化財が592件と最も多く、次いで民俗文化財が202件、記念物が93件です。有形文化財の中では歴史資料が226件と最も多く、次いで建造物が144件、彫刻が88件です。

地域別にみると、^{みくも}三雲地域が299件と最も多く、次いで^{いわね}岩根地域224件、^{いしべ}石部南地域114件、^{ほだいじ}菩提寺地域104件、^{しもだ}下田地域65件、^{みと}石部地域55件、^{みと}水戸地域12件です。

表9 地区ごとの未指定文化財の件数内訳（令和8年（2026）8月1日現在）

類型・種別	地域							複数地域	市所有	所在特定不可	合計
	石部	石部南	三雲	菩提寺	岩根	水戸	下田				
有形文化財	建造物	11	10	58	17	36	1	9	2	0	0
	絵画	0	6	5	1	2	0	0	0	4	1
	彫刻	2	9	35	7	31	0	2	1	0	1
	工芸品	2	4	24	11	15	0	1	0	0	57
	書跡・典籍	1	1	9	3	3	0	3	0	0	1
	古文書	2	3	10	2	7	0	1	0	0	25
	考古資料	4	5	2	0	1	0	0	0	0	12
	歴史資料	16	12	86	30	51	5	19	2	4	1
	無形文化財	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	有形の民俗文化財	2	9	21	8	27	3	2	0	1	1
民俗文化財	無形の民俗文化財	6	43	14	4	23	2	27	9	0	0
	遺跡	6	3	17	9	14	1	0	1	0	2
	名勝地	0	1	4	0	1	0	0	0	0	6
	動物・植物・地質鉱物	2	7	6	9	9	0	0	0	0	34
文化的景観		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝統的建造物群		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
文化財の保存技術		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の文化財	伝承	0	1	6	0	1	0	0	2	0	0
	方言	0	0	1	0	1	0	1	0	0	3
	人物の功績に関するもの	1	0	1	3	2	0	0	0	0	7
合計		55	114	299	104	224	12	65	17	9	8
907											

3. 類型ごとの文化財の特徴

本市に所在する文化財について、類型ごとに特徴を整理します。

①有形文化財

■建造物

指定等文化財は、国指定8件、市指定13件、国登録1件、合計22件です。国指定8件のうち4件は国宝で、中世に建てられた常楽寺本堂・三重塔、長壽寺本堂、善水寺本堂です。そのほかの文化財もすべて社寺や信仰に関係する建築物や石造物で、中世～近世に建てられたものがほとんどです。



常楽寺三重塔

未指定文化財は、144件を把握しており、ほとんどが社寺建築であることが特徴です。これらの建築物を有する社寺の中には古代から信仰が守られ続けているところもあり、古くから本市域に住む人々が信仰を大切にしてきたことがうかがえます。社寺建築以外では、近世～近代に建てられた石造の橋梁や産業に関係する建築物がほとんどで、東海道をはじめとする街道が通っていた本市の歴史文化を特徴づける文化財です。

■絵画

指定等文化財は、国指定2件、県指定4件、市指定9件、合計15件です。ほとんどは仏画や信仰に関係する絵画ですが、江戸時代に平松で俳人として活躍した奥村志宇¹の襖絵もあります。

未指定文化財は、19件を把握しており、指定等文化財と同じくほとんどが仏画や信仰に関係する絵画です。そのほか、東海道に関係する絵画もあります。

■彫刻

指定等文化財は、国指定24件、県指定3件、市指定24件、合計51件です。ほとんどは古代～中世に制作された仏像や神像で、各社寺で大切に守られています。そのほかに中世に制作された木造狛犬や江戸時代に制作された磨崖不動明王尊があります。



磨崖不動明王尊

未指定文化財は、88件を把握しており、指定等文化財と同じくほとんどが仏像や神像ですが、地域で大切に守られている石仏が多いことが特徴です。

¹ 奥村志宇：平松地域の代官・奥村亜溪の妻（夫婦そろって俳諧や詩歌を好む風雅人）。30年にわたってウツクシマツに関する詩歌を集め『千歳集』としてまとめました。

■工芸品

指定等文化財は、国指定3件、県指定2件、市指定10件、合計15件です。古代～近代に制作された仏具や法具、石造の燈籠がほとんどですが、江戸時代に石部宿で製造されるようになった石部焼の陶器が2件指定されており、本市の産業の歴史を知るうえで重要な文化財です。

未指定文化財は、57件を把握しており、仏具や法具、燈籠など社寺に関係する文化財がほとんどです。そのほか、江戸時代に下田村で始まったとされる近江下田焼の陶器もあります。

■書跡・典籍

指定等文化財は、国指定1件、市指定5件、合計6件です。社寺に関係する墨書がほとんどですが、江戸時代中期～末期の文人たちが平松にあるウツクシマツについて読んだ句をまとめた吟詠集『千歳集¹』もあり、江戸時代に多くの文人が街道を通って本市域を訪れたことが分かります。



千歳集

未指定文化財は、21件を把握しており、山号や名号が書かれた扁額が大半を占めています。そのほか、社寺の棟札もいくつかあり、本市に所在する社寺の歴史を知るうえで重要な文化財です。

■古文書

指定等文化財は、市指定1件で、江戸時代に石部宿にあった小島本陣の文書です。また、未指定文化財は、25件を把握しており、ほとんどが社寺や地域に残された文書です。これらの文書は、すべて本市の歴史を記す貴重な資料です。



真明寺に所在する芭蕉句碑

■考古資料

指定等文化財はありませんが、未指定文化財は12件を把握しており、古墳から出土した遺物や社寺で使用されていた瓦、建物跡の礎石などがあります。

■歴史資料

指定等文化財は、県指定1件で、長壽寺所蔵の寺内へ軍勢などの乱入狼藉を禁止した足利尊氏の制札²です。

未指定文化財は、226件を把握しており、記念碑や顕彰・頌徳碑³、名号碑⁴、句碑・歌碑・詩碑などの石

¹ 千歳集：奥村志宇が30年にわたってウツクシマツに関する詩歌を集め、まとめた作品。

² 制札：禁令、法令などを書いて社寺の門前や路傍に掲げた木札。

³ 顕彰・頌徳碑：個人の功績や善行などを広く知らせるための石碑。

⁴ 名号碑：仏や菩薩の名前（名号）、特に南無阿弥陀仏の六字を刻んだ石碑。

碑がほとんどです。また、社寺の由緒書¹や過去帖²もいくつかあります。そのほか、石部・石部南地域には、石部宿の旅籠に関する資料群や宿帳など、石部宿に関する資料が多く残っており、往時の歴史を知るうえで重要な文化財です。

②無形文化財

工芸技術の保持者として、本市の伝統産業である正藍染の技術者が1名認定されています。なお、未指定文化財は把握していません。

③民俗文化財

■有形の民俗文化財

指定等文化財はありませんが、未指定文化財は74件を把握しており、各地に設置された道標³や地域で信仰されてきた地蔵がほとんどです。特に道標が多いことは、本市に街道がいくつかあり、多くの人が訪れた歴史を示しています。そのほか、社寺や地域の行事に関する民俗資料もあり、日本全国でかつて行われていた勧請⁴は今も各地域で行われています。



三雲地域に所在する道標

■無形の民俗文化財

指定等文化財はありませんが、未指定文化財は128件を把握しており、各地で行われている祭礼行事や伝統行事、講⁵などの風俗習慣や、仕事唄や遊び唄などの民謡を中心とした民俗芸能が大半を占めています。特に祭礼行事や伝統行事は、古くから地域で行われているものが多く、地域コミュニティの形成に密接に関わっています。また、風俗習慣である郷土食には、伝統野菜である下田なすや弥平とうがらしなどを使った漬物のほか、文化庁の「100年フード」に認定された「いもつぶし」があります。



鬼走り（東寺）

④記念物

■遺跡（史跡）

指定等文化財は、国指定1件、県指定1件、合計2件です。国指定は菩提寺地域にかつてあった廃少菩提寺石多宝塔および石仏、県指定は中世に地侍の三雲典膳が築いたと伝わる三雲城跡です。

¹ 由緒書：社寺の縁起や由来、祭神や御利益などを記した資料

² 過去帖：先祖（故人）の情報を記した帳面

³ 道標：道路の辻や街道の分岐点などに建てられる方向や距離を示す構造物

⁴ 勧請縄吊り：村の出入り口などに呪具を付した縄を掲げ、不淨なものの侵入を禁じる厄除けのまじない

⁵ 講：信仰・経済・職業など目的をもって開かれる行事・会合

1 未指定文化財は、53 件を把握しており、地域で活躍した人物の墓および墓碑、古墳、寺
2 跡、城跡など、多様なあります。

■名勝地（名勝）

5 指定等文化財はありませんが、未指定文化財は6 件を
6 把握しており、^{でんぎょうだいし}伝教大師が薬師仏をみつけられたなどの
7 の伝承が残る善水寺の百伝池や不動の滝、紫雲の滝な
8 どがあります。



不動の滝

■動物・植物・地質鉱物（天然記念物）

14 指定等文化財は、国指定1 件、市指定3 件、合計4 件です。特に国指定の「平松のウツク
15 シマツ自生地」は、日本で唯一ウツクシマツが自生し、天然更新している場所で、江戸時代
16 には『東海道名所図会』や『伊勢参宮名所図会』に東海道沿いの名所として紹介されるなど、
17 有名な景勝地であったことが分かります。また、市指定の野洲川河原の足跡化石出土品は、
18 本市の有史以前の歴史を伝えるほか古琵琶湖層群に関
19 係する貴重な文化財です。



八丈岩

20 未指定文化財は、34 件を把握しており、地質鉱物が大
21 半を占めています。特に灰山の鐘乳洞や灰山のスカル
22 ル鉱物、野洲花崗岩の輝水鉛鉱などは、本市域でかつて
23 採石事業が盛んに行われていた歴史を伝える文化財で
24 す。そのほか、狐岩や八丈岩などの奇岩・巨岩などが
25 あります。

⑤その他の文化財

■伝承

29 かみなり岩（雷鳴岩）や龍王の巨岩など地質鉱物に関する伝承や、夜泣き地蔵の話や身
30 代わり観音の話といった信仰に関する伝承など、10 件を把握しています。

■方言

33 岩根地域の東側を中心に使用されている方言、下田地域で使用されている下田弁、三雲
34 地域の針で使用されている方言の3 件を把握しています。

■人物の功績に関するもの

37 地域で活躍した人物の功績をたたえる碑やそれに関する樹木など、7 件を把握してい
38 ます。

4. 地域ごとの文化財の特徴

本市に所在する文化財について、地域ごとに特徴を整理します。

①石部地域

指定等文化財では、古代に存在した式内社¹の石部鹿塩上神社の後身とされている吉姫神社や吉御子神社に関する文化財が多くあります。また、江戸時代後期に始まった石部焼も2件市指定になっています。

未指定文化財では、建造物や歴史資料が多く、このうち地域内に所在する社寺に関する文化財が多くあります。また、小島本陣跡をはじめとするかつての石部宿に関する歴史資料や遺跡も多くあり、石部地域がかつて宿場町として栄えた歴史を知るうえで重要な文化財といえます。さらに、石部地域には豊富な地質鉱物が採れる産地がいくつかあり、江戸時代以降の採掘跡が今も各地に残っています。これらは、近世から近代にかけての本市の産業の歴史を知るうえで貴重な文化財になります。



灰山

②石部南地域

指定等文化財では、湖南三山を構成する常楽寺や長壽寺に所在する文化財がほとんどです。国の指定等を受けている文化財も多く、常楽寺本堂、常楽寺三重塔、長壽寺本堂は国宝になっています。

未指定文化財では、建造物や歴史資料、無形の民俗文化財が多く、指定等文化財と同様に常楽寺、長壽寺に関する建造物や彫刻が多くあります。さらに石部南地域には勧請縄吊りや鬼走り²などの無形の民俗文化財が多く、社寺の祭礼や地域の行事が大切に守られてきたことが分かります。



勧請縄吊り（西寺）

③三雲地域

指定等文化財では、社寺に所在する文化財が多くあります。また、県指定の三雲城跡をはじめ、中世の甲賀郡の自治組織である甲賀郡中惣に関する文化財も多くあります。そのほか、国指定の平松のウツクシマツ自生地や市指定の野洲川河原の足跡化石出土品、かつての野洲川の渡し場を示す三雲常夜燈など自然や野洲川に関する文化財があります。



家棟川隧道扁額

¹ 式内社：日本古代の法制書『延喜式』の神名帳に記載されている神社のこと

² 鬼走り：長壽寺で行われる儀式。悪鬼退散と家内安全の祈願、村の子どもの成人の儀を兼ねます。

1 未指定文化財では、建造物や彫刻、歴史資料が多く、このうち建造物で注目されるものと
2 して大沙川隧道と由良谷川隧道があります。また、隧道は撤去されてしまいましたがその存
3 在を示す家棟川隧道扁額が残っています。これらは近代の本市の歴史を伝える重要な文化
4 財です。

5 そのほか、かつての地域の人々の信仰が伺える様々な彫刻や歴史資料、住民の生活に脅威
6 を与えた災害に対する思いを示す砂防恩碑や造林恩碑、妙感寺流供養碑、さらに江戸時代
7 に盛行した俳諧の跡を示す亀淵先生¹落髪ノ墳など特徴的な文化財が多くあります。

9 ④菩提寺地域

10 指定等文化財では、社寺に所在する文化財がほとんどです。国指定史跡である廃少菩提寺
11 せきたほうとう および石仏をはじめ、市指定の紙本著色少菩提寺絵図など廃寺となった少菩提寺
12 に関係する文化財もあります。

13 未指定文化財では、建造物や歴史資料が多く花崗岩を使用した磨崖仏や小仏などの信仰
14 に関する文化財、斎神社や西應寺など少菩提寺に関係
15 する文化財が多くあります。また、竜王山（菩提寺山）
16 の竜王山古墳群からは馬具や鉄器といった副葬品が出
17 土しており、渡来系文化の影響が伺えます。さらに、本
18 市の治山や治水・利水対策などに貢献した龍池藤兵衛²
19 氏や井上嘉吉³氏の顕彰碑なども確認でき、地域のため
20 に活躍した人物の功績に関する文化財から、本市の発展
21 の歴史を知ることができます。



斎神社

23 ⑤岩根地域

24 指定等文化財では、湖南三山を構成する善水寺やそれ
25 以外の社寺に所在する文化財がほとんどです。

26 未指定文化財では、建造物や彫刻、歴史資料が多く、こ
27 のうち指定等文化財と同様に善水寺に関する建造物や彫
28 刻が多くあります。特に岩根山中に残る磨崖仏や小仏
29 は、山中の豊富な花崗岩を用いて作られたものであり、古
30 代から中世にかけての本市東部の仏教文化の展開を示す
31 ものといえます。また、防災に対する洪水量点標⁴は、



善水寺

32 三雲地域と同様に、かつての住民の防災への思いを示すものといえます。さらに歴史資料で

¹ 亀淵先生：江戸時代末期の俳人・服部亀淵のこと。亀淵の俳号は野洲川の石部の下流に古くからあった難所の「亀淵」という地名からとったとされます。

² 龍池藤兵衛：戦火などで荒廃した山（禿山）を、緑化することに成功した人物。そのほか、道路改修、堤防保護、水害対策、学校新築など数多くの功績を残しています。

³ 井上嘉吉：明治時代初期、野洲川の堤防決壊や旱魃問題を解消した人物。中郡橋開通以前、野洲川の菩提寺方面から石部方面を渡す唯一の船便を運営するなど数多くの功績を残しています。

⁴ 洪水量点標：過去の洪水でここまで水位が上がったことを後世に伝える標。

1 ある道標^{どうひょう}も多く、これらは他の地域への誘導、善水寺^{さんけいしや}参詣者への案内など、本市の交通の
2 歴史を知るうえで重要です。

3

4 ⑥水戸地域

5 水戸^{みと}地域は高度経済成長期に湖南工業団地が造成さ
6 れたことで誕生した地域です。そのため指定等文化財は
7 なく、未指定文化財もほとんど把握できませんでした。
8 しかし、古くからため池としての役割を果たしてきたに
9 ごり池やかつて茶釜川^{ちゃがまがわ}に架かっていた橋の親柱^{おやばしら}など、
10 団地として造成される前の地域の歴史を伝える重要な
11 文化財が残っています。また、団地祭りや地蔵盆など、
12 他地域の協力のもと、団地造成後に新しく創出された文
13 化財があることも、この地域の大きな特徴です。

14

15 ⑦下田地域

16 指定等文化財では、日枝神社^{ひえ}に関係する文化財が多く
17 あります。また、無形文化財として本藍染^{ほんあいぞめ}の技術保持者
18 が市の認定を受けています。

19 未指定文化財では、歴史資料や無形の民俗文化財が多く
20 、このうち指定等文化財と同様に日枝神社^{ひえ}に関係する
21 文化財が多くあります。また、下田焼^{しもだやき}が誕生した地域で
22 あり、現在は行われていないものの、本藍染^{ほんあいぞめ}などの伝統
23 工芸技術に関する文化財が残っています。さらに、下田
24 なすや弥平とうがらしといった伝統野菜は現在も下田
25 地域の特産品として大切にされており、この地域の特徴を表す重要な食文化となっています。
26 そのほか、明治時代以降に交通の便を良くするために造られた橋も多く残っています。

27

28



にごり池



お田植え踊り

1 5. 100 年フード

2 「100 年フード」とは、文化庁が令和 3 年度（2021）に創設した食文化の認定制度です。
3 本市では、「伝統の 100 年フード部門～江戸時代から続く郷土の料理～」部門で石部のい
4 もつぶしが令和 5 年度（2023）に認定を受けています。

5

6 ■石部のいもつぶしの概要 出典：文化庁「100 年フードデータベース」より引用

7 500 年以上前の江戸時代に東海道の 51 番目の宿場としておかれた石部宿（現：滋賀県湖
8 南市）で、古くから庶民に親しまれてきたといわれる「いもつぶし」は、米が貴重とされて
9 いた頃、里芋を混ぜて食べられていた郷土料理です。皮をむき、ざっくりと切った里芋を米
10 と一緒に炊き、つぶして俵型に丸め、みたらしのような濃厚なタレを塗り、香ばしく焼いた
11 甘辛醤油味は誰もが好む逸品です。ほろ苦い味噌があと引く田楽味噌味は、好みで山椒
12 をかけると風味が変わり味噌ともよく合います。近年は
13 旧東海道にある石部宿田楽茶屋で味わうことができた
14 り、地元保存会がイベント時に販売されたりしていま
15 す。石部の伝統食として愛されてきた食べ物なので、こ
16 れからも伝統を絶やさずに伝え、たくさんの人々に味わっ
17 ていただきたいと思います。



石部のいもつぶし

1 第3章. 湖南市の歴史文化の特性

2
3 第1章で述べた自然的・地理的環境、社会的状況、歴史的環境および第2章で述べた文化
4 財の概要から、本市らしさである歴史文化の特性を次のように整理します。

- 5 ①水と緑 一野洲川の恵みと災害
- 6 ②街道と交流 一石部宿と街道が織りなす歴史と文化
- 7 ③神と仏 一湖南の山々に育まれた信仰と文化
- 8 ④暮らしとまつりーまつりを通じた地域の絆と文化の継承

10 ①水と緑ー野洲川の恵みと災害

11 本市は水と緑が豊かな地であり、野洲川や市を囲む山々から得られる恵みを利用して
12 人々は生活や産業を行ってきました。一方、時に自然是人々に脅威を与え、その記憶と
13 教訓は各地に残る文化財を通して今に伝わっています。

14
15 本市は周囲を緑豊かな山系に囲まれ、また山間を縫う
16 ように野洲川をはじめとするいくつかの河川が中央部
17 を流れる、水と緑が豊かな地となっています。野洲川の
18 河床からはゾウやシカなどの足跡化石が複数見つかっ
19 ていることから、本市域には古くから動植物が生息して
20 いたことが分かります。この豊かな自然の中で見られる
21 景色は本市を訪れる人々の心を魅了し、伝承や詩句が
22 生まれました。また、自然から得られる恵みを求めて、
23 原始より人々は生活を行ってきました。



平松のウツクシマツ自生地

24 本市の豊かな自然を支える大地は様々な地質構造で構成され、これらから得られる地質
25 鉱物は本市の産業を支えてきました。

26 一方、豊かな自然は時に人々に脅威を与えてきました。宝暦年間には土石流が何度も発生し、特に大規模な
27 土石流であった妙感寺流れば三雲地域に甚大な被害を
28 もたらしました。また、天井川を含む河川は降雨により
29 洪水を起こすことがあり、各地域に何度も被害をもたら
30 しました。妙感寺流れが発生した日は「湖南市防災の日」
31 となっており、防災意識を高める機会となっています。
32 また、これらの災害に関する石碑などの文化財は、災害
33 の教訓を後世に伝えるとともに、災害対策により地域が
34 発展していった歴史を伝えています。



妙感寺流供養碑

②街道と交流－石部宿と街道が織りなす歴史と文化

本市は古代から東海道をはじめとする街道が通過する交通の要衝であり、江戸時代に石部宿が整備されると、多くの文人墨客が訪れました。また、野洲川も琵琶湖に通じる重要な水陸路として物流に利用されてきました。

周囲を緑豊かな山系に囲まれた本市は古代から東海道をはじめとする街道が通過する交通の要衝でした。

天智天皇6年(667)に古代の東海道が通ると、京から伊勢に向かう道中で石部駿家が利用されました。江戸時代に五街道が整備されると、東海道五十三次の51番目の宿駿地として石部宿が整えられ、夏見には立場¹が、各地には道標が設けられました。多くの文人墨客が石部宿を訪れたとされ、文楽の舞台や俳人たちの活動の拠点になるなど、にぎわいました。今も残る文化財からは、当時の石部宿のにぎわいや人々の活躍を知ることができます。



夏見の立場跡

また、本市の中央部を流れる野洲川も琵琶湖に通じる重要な水運路でした。古代には石山寺造営のために三雲川津に集積した木材を運んだ記録があります。江戸時代には旅人の安全のため常夜燈が建てられるなど、重要な内陸水運路として利用されてきました。



三雲常夜燈

明治時代になると、交通の妨げになっていた天井川に隧道が設けられ、街道の利便性が高まりました。大沙川隧道と由良谷川隧道は今も残され、人々の生活道として利用されています。

③神と仏－湖南の山々に育まれた信仰と文化

山々に囲まれた本市に住む人々は、自然に神の存在を感じ、仏教が伝えられると、神と仏とともに信仰してきました。社寺やその跡だけではなく、地域にも磨崖仏や小仏などの石仏が多く残っており、神と仏が本市に住む人々の心を支えてきたことが分かります。

豊かな水と緑に囲まれた本市には、自然に神の存在を感じ、仏教が伝えられると、神と仏をともに信仰する文化が生まれました。

湖南三山と呼ばれる常楽寺や長壽寺、善水寺は、古代



常楽寺本堂

¹ 立場：宿場間に設けられた休憩所。

1 から現在まで法灯が守られ続いている県内有数の古刹
2 です。三雲地域にある上葦穂神社や石部地域にある吉
3 御子神社の歴史は古代に遡ることができます。菩提寺地
4 域にある石多宝塔や閻魔像、地蔵菩薩は、かつてこの地
5 にあったとされる少菩提寺の遺品です。



廃少菩提寺石多宝塔および石仏
(本写真は石仏のみ)

6 そのほかにも本市には多くの社寺があり、各社寺で仏
7 像や神像といった文化財が大切に守られてきました。また、各地には磨崖仏や小仏などの石仏も多く残っています。これらの社寺や石仏などの信仰やまつりは、長老衆
8 などの地域の集まりによって現在も支え続けられており、神と仏が本市に住む人々の心を
9 支えてきたことがうかがえます。

12 ④暮らしとまつりーまつりを通じた地域の絆と文化の継承

14 本市には、暮らしのなかにとけこんで大切に継承されている地域のまつりや民話、民
15 誠、食文化があり、各地域の特色を生み出してきました。また、これらによって育まれ
16 た地域の絆は争いの歴史からも知ることができます。

18 本市には、さまざまなまつりが残っています。

19 村内¹では五穀豊穣・村内安全などを祈るオコナイ²や
20 勧請縄吊り、雨乞い行事、町場³では火難厄除けの愛宕
21 まつりや平松のぼんのこ・へんのこ祭⁴などが暮らしの
22 なかにとけこんで大切に継承されています。



平松のぼんのこ・へんのこ祭

23 また、地域に残る民話や民謡、食文化は、その地域に
24 暮らす人々に大切に守られてきたものであり、各地域
25 の特色を生み出してきました。

26 一方、地域の人々の暮らしは争いの歴史などからも知
27 ることができます。中世の甲賀郡⁵で行われていた
28 甲賀郡中惣による自治や、江戸時代に起きた三上騒動に
29 関する文化財からは、往時の人々の暮らしの様相をうか
30 がえます。



下田ナス

¹ 村内：ここで言う村内は、村全体を指します。

² オコナイ：主に西日本の各地で五穀豊穣を願って行われる伝統行事

³ 町場：ここで言う町場は、旧東海道沿道の町場を指します。

⁴ 平松のぼんのこ・へんのこ祭：松尾神社の祭礼として毎年7月31日に行われる火難厄除けの行事。

平松区の小学生男児が祭具を担いで「ボンノコ・ヘンノコ サクエモンノ ナスピヤーイ」と囃しながら集落内を練り歩きます。

1 第4章. 湖南市の文化財に関する既往の把握調査

2 1. 国、県、市が実施した文化財に関する既往調査

3 本市に所在する文化財に関する把握調査は、主に国、県、市によって行われています。

6 (1) 国が実施した既往調査

7 昭和51年（1976）に文化庁が文化財集中地区特別総合調査の中で、本市を含む湖南地方
8 の有形文化財（美術工芸品）の把握調査を行っています。

10 (2) 滋賀県が実施した既往調査

11 滋賀県では、県内市町村に所在する有形文化財（建造物、工芸品、書跡・典籍、古文書）
12 や無形の民俗文化財、記念物、文化的景観など様々な分野の文化財の把握調査を行っています。

14 建造物では国宝の常楽寺本堂・三重塔、善水寺本堂、重要文化財の長壽寺弁天堂、白山神
15 社拝殿で解体修理に伴う詳細調査が行われています。

16 また、埋蔵文化財については、ほ場整備事業¹（県営経営体育成基盤整備事業）や県
17 営かんがい排水事業²（県営農業用水再編対策事業）、大砂川補助通常砂防工事³などに伴
18 う発掘調査が行われています。

20 (3) 湖南市が実施した既往調査

21 本市では、合併前の旧甲西町で宮島英夫家の文書⁴や野洲川河床の足跡化石の調査を行つ
22 ており、合併後に三雲区が所有する文書の調査を行っています。

23 また、埋蔵文化財については、合併前の旧甲西町で発掘調査を行っています。

24 そのほか、合併前に、旧石部町で『石部町史』や『新修石部町史』、旧甲西町で『甲西町
25 誌』を編さんしており、これらの作成に伴って各町に残る文化財の総合的な調査を行ってい
26 ます。

28 2. 大学等研究機関が実施した文化財に関する既往調査

29 本市では、公立大学法人滋賀県立大学や滋賀県立琵琶湖博物館などの大学等研究機関に
30 よって本市内の地質鉱物や石部地域の墓地の調査が行われ、その成果は報告書などで公表
31 されています。

1 ほ場整備事業：農地の区画を整理するとともに、用水路、排水路、農道等の整備を行い、生産性の高い農地をつくる事業のこと。

2 かんがい排水事業：「かんがい」とは、農業を行うために農地に水を引き、土地を潤すこと。「排水」とは、農業生産に必要のない余分な水を農地の外に排除すること。

3 砂防工事：山から発生する土石流から人家、公共施設等を守るために実施する工事のこと。

4 宮島英夫家文書：江戸時代から明治時代までの古文書群で、戦国期に甲賀武士団の一家として活躍した宮島家が江戸時代にどのように活動したかを示す文書。

表 10 文化財に関する既往調査一覧（令和8年（2026）8月1日現在）

種類・分類	小分類	調査名等	調査主体等	発行年・調査年度等	
総合把握		「新修石部町史」編さんに伴う把握調査	石部町	平成元年（1989）	
		「甲西町誌」編さんに伴う把握調査	甲西町	昭和49年（1974）	
有形文化財	建造物	滋賀県緊急民家調査	滋賀県	昭和41年（1966）	
		滋賀県近世民家調査	滋賀県	平成9年（1997）	
		滋賀県近世社寺建築緊急調査	滋賀県	昭和60年（1985）	
		滋賀県近代建築調査	滋賀県	平成元年（1989）	
		滋賀県近代化遺産（建築物等）総合調査	滋賀県	平成10年（1998）	
	石造物	滋賀県石造建築物調査	滋賀県	平成4年（1992）	
	美術工芸品	絵画、彫刻、工芸品、書跡等	文化庁	昭和51年（1976）	
		滋賀県所在梵音具資料調査	滋賀県	平成24年（2012）	
		滋賀県古文書等所在確認調査	滋賀県	昭和57年（1982）	
		宮島英夫家文書調査	甲西町	平成12年（2000）	
	古文書	三雲区有文書調査	湖南市	平成23年（2011）	
民俗文化財	有形の民俗文化財	民具	農具・生活用具等の収集（市民からの寄贈）	石部町、甲西町	
		滋賀県諸職関係民俗文化財調査（滋賀県の諸職）	滋賀県	平成元年（1989）	
	無形の民俗文化財	滋賀県祭礼行事実態調査（滋賀県の祭礼行事）	滋賀県	平成5年（1993）	
		滋賀県伝統食文化調査（滋賀県の伝統食文化）	滋賀県	平成9年（1997）	
		滋賀県選択無形民俗文化財記録作成（滋賀の食文化財）	滋賀県	平成12年（2000）	
		滋賀県自然神信仰調査（滋賀県の自然神信仰）	滋賀県	平成19年（2007）	
		滋賀県民俗行事まるごと調査	滋賀県	平成24年（2012）	
		民謡緊急調査（滋賀県の民謡）	滋賀県	昭和60年（1985）	
		滋賀県民俗芸能緊急調査（滋賀県の民俗芸能）	滋賀県	平成10年（1998）	
	遺跡	滋賀県中世城郭分布調査2・3・4	滋賀県	昭和59～61年（1984～1986）	
		石部・善隆寺墓地の調査	滋賀県立大学	平成22年（2010）	
記念物	天然記念物	足跡化石現地保存ボーリング調査	甲西町	平成3年（1991）	
		琵琶湖博物館開設準備室研究調査（古琵琶湖層群の足跡化石）	（仮称）琵琶湖博物館開設準備室	平成7年（1995）	
		甲西町朝國の野洲川河床足跡化石調査	甲西町	平成10年（1998）	
		古琵琶湖層群委託調査	滋賀県	平成19年（2007）	
		琵琶湖博物館研究調査（記録しておきたい滋賀県の地形・地質）	滋賀県立琵琶湖博物館	平成23年（2011）	
文化的景観		琵琶湖と水が織りなす文化的景観所在確認調査	滋賀県	平成23年（2011）	
埋蔵文化財		町内遺跡詳細分布調査	甲西町	平成元年（1990）	
		町内遺跡発掘調査	甲西町	表12参照	
		県内遺跡発掘調査	滋賀県	表12参照	
その他の文化財		甲西の民話（ふるさと近江伝承文化叢書）	甲西町	昭和55年（1980）	
		石部の伝承（ふるさと近江伝承文化叢書）	石部町	昭和55年（1980）	

表 11 建造物の修理報告書一覧（令和8年（2026）8月1日現在）

書籍名等	調査主体等	発行年
國寶常樂寺本堂及塔婆維持修理工事報告書	滋賀県	昭和16年（1941）
重要文化財長寿寺弁天堂修理工事報告書	滋賀県	昭和32年（1957）
重要文化財白山神社拝殿修理工事報告書	滋賀県	昭和37年（1962）
国宝善水寺本堂修理工事報告書	滋賀県	昭和51年（1976）

1 表 12 埋蔵文化財に関する調査報告書一覧（令和8年（2026）8月1日現在）

書籍名等	調査主体等	発行年	備考
滋賀県史蹟名勝天然紀念物概要	滋賀県史蹟名勝天然紀念物調査會	大正11年(1922) 昭和11年(1936)改	
甲賀郡志 上巻・下巻	甲賀郡教育會	昭和元年(1926)	
滋賀県文化財調査概要第6集 甲賀郡甲西町狐栗古墳群調査概要	滋賀県	昭和43年(1968)	
県立甲西高校建設に伴う井戸遺跡発掘調査報告書	滋賀県、(財)滋賀県文化財保護協会	昭和58年(1983)	井戸遺跡(第1次)
滋賀県百科事典	大和書房	昭和59年(1984)	
滋賀県中世城郭分布調査2 甲賀の城	滋賀県、(財)滋賀総合研究所	昭和59年(1984)	
滋賀県中世城郭分布調査3 旧野洲・栗田郡の城	滋賀県、(財)滋賀総合研究所	昭和60年(1985)	
滋賀県中世城郭分布調査4 旧蒲生・神崎郡の城	滋賀県、(財)滋賀総合研究所	昭和61年(1986)	
井戸遺跡(第2次)発掘調査報告書	甲西町、(財)滋賀県文化財保護協会	昭和61年(1986)	
井戸遺跡(第4次)発掘調査報告書	甲西町	昭和62年(1987)	
甲西の遺跡	甲西町	昭和63年(1988)	
町内遺跡 I	甲西町	昭和63年(1988)	井戸遺跡(第3、5次)
丸保古墳群発掘調査報告書	甲西町	平成元年(1989)	
甲西町内遺跡詳細分布調査報告書	甲西町	平成2年(1990)	
緊急地域雇用特別交付金事業に伴う出土文化財管理業務報告書	滋賀県、(財)滋賀県文化財保護協会	平成14年(2002)	
県営かんがい排水事業(県営農業用水再編対策事業)関連遺跡発掘調査報告書19 了安寺遺跡 湖南市夏見	滋賀県、(財)滋賀県文化財保護協会	平成19年(2007)	
ほ場整備関係(経営体育成基盤整備)遺跡発掘調査報告書34-1 了安寺遺跡・尊光寺遺跡 湖南市夏見・平松	滋賀県、(財)滋賀県文化財保護協会	平成19年(2007)	
ほ場整備関係(経営体育成基盤整備)遺跡発掘調査報告書37-3 井戸遺跡	滋賀県、(財)滋賀県文化財保護協会	平成22年(2010)	
ほ場整備関係(経営体育成基盤整備)遺跡発掘調査報告書38-2 針氏城遺跡・井戸遺跡その1・その2	滋賀県、(財)滋賀県文化財保護協会	平成23年(2011)	
ほ場整備関係(経営体育成基盤整備)遺跡発掘調査報告書38-3 夏見城遺跡 湖南市夏見	滋賀県、(財)滋賀県文化財保護協会	平成23年(2011)	
大砂川補助通常砂防工事に伴う発掘調査報告書 岩瀬谷古墳群	滋賀県、(財)滋賀県文化財保護協会	平成24年(2012)	
ほ場整備関係(経営体育成基盤整備)遺跡発掘調査報告書39-1 針氏城遺跡2	滋賀県、(財)滋賀県文化財保護協会	平成24年(2012)	
滋賀県内遺跡発掘調査報告書	滋賀県	平成29年(2017)	
「野洲川中流域の群集墳一横穴式石室の分布と測量調査報告書一」 『紀要』32号	(財)滋賀県文化財保護協会	令和元年(2019)	

2

3

3. これまでの文化財の調査に関する現状と課題

(1) 文化財の調査状況

本市における文化財の調査状況は、表13のとおりです。

表13 まちづくり協議会ごとの調査の実施状況

類型・種別		地域						
		旧石部町域		旧甲西町域				
		石部	石部南	三雲	菩提寺	岩根	水戸	下田
有形文化財	建造物	△	△	△	△	△	△	△
	絵画	△	△	△	△	△	△	△
	彫刻	△	△	△	△	△	△	△
	美術工芸品	△	△	△	△	△	△	△
	書跡・典籍	△	△	△	△	△	△	△
	古文書	△	△	△	△	△	△	△
	考古資料	△	△	△	△	△	△	△
	歴史資料	△	△	△	△	△	△	△
	無形文化財	—	—	—	—	—	—	—
民俗文化財	有形の民俗文化財	△	△	△	△	△	△	△
	無形の民俗文化財	○	○	○	○	○	○	○
記念物	遺跡	△	△	△	△	△	—	△
	名勝地	△	△	△	△	△	△	△
	動物、植物、地質鉱物	△	△	△	△	△	△	△
文化的景観		△	△	△	△	△	△	△
伝統的建造物群		—	—	—	—	—	—	—
埋蔵文化財		○	○	○	○	○	○	○
文化財の保存技術		—	—	—	—	—	—	—
その他の文化財	伝承	○	○	○	○	○	○	○
	方言	—	—	△	△	△	△	△
	人物の功績に関するもの	—	—	△	△	△	△	△

※○：おおむね調査済 △：調査不足 —：未調査

(2) 文化財の調査に関する現状と課題

■有形文化財

国、県、市の調査により建造物および美術工芸品の把握はできています。しかし、調査が部分的であり、一部の把握しかできていないため、追加の把握調査が必要です。

■無形文化財

無形文化財は、調査を実施しておらず、把握できていません。

1 ■民俗文化財

2 有形の民俗文化財は、町史（誌）の編さん時に調査を実施し、また、歴史民俗資料館建設
3 時に農具や生活用具の収集を実施しましたが、把握調査は実施していません。

4 無形の民俗文化財は、県の調査により風俗習慣や民俗芸能は把握できています。しかし、
5 把握調査から時間が経ち、少子高齢化や生活様式の変容による滅失^{めっしつ}などの可能性があるた
6 め、追跡調査が必要です。

7 ■記念物

8 遺跡は、県や滋賀県立大学で調査を行っているほか、町史（誌）編さん時に調査を行って
9 います。しかし、調査が部分的であり、一部の地域しか把握できていません。

10 名勝地は、町史（誌）編さん時に調査を行っていますが、把握調査は実施していません。

11 地質鉱物は、県や市、博物館の調査により把握できています。また、動物や植物は町史（誌）
12 編さんや『平松のウツクシマツ自生地保存活用計画』作成時に調査を行っています。しかし、
13 調査が部分的であり、一部の地域しか把握できていません。

14 ■文化的景観

15 県が調査を行っていますが、調査が部分的であり、一部の地域しか把握できていません。

16 ■伝統的建造物群

17 伝統的建造物群は、調査を実施しておらず、把握できていません。

18 ■埋蔵文化財

19 県や市の調査で周知の遺跡としておおむね把握できています。これに基づき継続的に発
20 掘調査を行い、成果は報告書にまとめていますが、地域により偏りがあり、把握状況に差
21 があります。

22 ■文化財の保存技術

23 文化財の保存技術は、調査を実施しておらず、把握できていません。

24 ■その他の文化財

25 伝承は、昭和 53 年（1978）、54 年（1979）に県の補助を受けた「ふるさと文化継承事
26 業」において『石部の伝承』『甲西の民話』を発行し、本事業に伴う調査でおおむね把握
27 できています。

28 方言、人物の功績に関するものは、県の調査や町史（誌）の編さん時の調査で把握でき
29 ているものもありますが、調査が部分的であり、一部の地域しか把握できていません。

1 第5章. 湖南市の文化財の保存・活用に関する将来像

2

3 **1. 文化財の保存・活用に関する将来像**

4 本市には、湖南三山をはじめとした多彩な有形・無形の文化財が多数存在します。これら
5 は第3章で示した「湖南市らしさ」を形づくる重要な要素であり、長きにわたり地域住民に
6 よって大切に守り継がれてきた「市民のたから」です。

7 本計画の作成にあたり実施したアンケート調査では、多くの市民が本市の歴史文化に高
8 い関心を寄せ、文化財を未来に伝えるべき貴重な資産と認識していることが明らかになりました。

9 一方で、地域で文化財を守る人々の高齢化や、開発に伴う移住者の増加といった社会構造
10 の変化により、文化財の適切な保存・継承が困難になりつつあります。また、文化財の価値
11 や魅力を十分に対外的に誇りに思えず、本市らしさとして捉えきれていない市民が存在す
12 る状況も見受けられます。

13 こうした背景を踏まえ、文化財の保存管理の強化とその魅力の発信を通じて、先人が築き
14 育んだ「湖南市らしさ」を市民と行政が一体となって守り伝え、地域ぐるみで将来へ継承す
15 るまちづくりが求められています。

16 本計画は、最上位計画である『第三次湖南市総合計画』の掲げる「ずっとここに暮らしたい！みんなで創ろう笑顔つなぐ・つながる湖南」というビジョンのもと、「地域に根付く歴史や文化が次の世代に継承されるまちづくり」というまちづくりの方向性を重視し、以下の
17 将来像を設定します。

18

19

20

21

22 **地域のつながりに支えられた『湖南市らしさ』を**

23 **みんなで守り育て、未来へつなぐまち**

24

25

1 2. 文化財の保存・活用を実現するための方向性

2 前項で掲げた将来像を実現するため、5つの基本方針を設定します。

3

基本方針1 文化財をみんなで知る

- ①文化財の把握調査
- ②湖南市らしさの発見
- ③文化財の調査・研究

4

基本方針2 文化財をみんなで守る

- ①文化財の適切な保存・管理
- ②文化財指定の推進
- ③文化財を収蔵・保管する施設の整備
- ④文化財の防災・防犯対策

5

基本方針3 文化財をみんなに伝える

- ①文化財の価値や魅力の発信
- ②文化財の調査・研究成果の公開

6

基本方針4 文化財をみんなで活かす

- ①文化財の活用・周辺施設整備
- ②文化財を活用した地域活動の持続に向けた取組

7

基本方針5 文化財をみんなでつなぐ

- ①文化財を活用した学校教育・生涯学習
- ②文化財の保存・活用に取り組む体制の整備

8

1 第6章. 湖南市の文化財の保存・活用に関する課題・方針

2 将来像の達成のため、第5章で掲げた5つの基本方針に沿って課題と方針を整理します。

5 基本方針1 文化財をみんなで知る

6 ①文化財の把握調査

7 第4章のとおり、本市では今まで行政や大学等研究機関により分野別の総合調査や分
8 布調査が行われ、さらに町史（誌）の編さんに係る調査により市内の文化財の把握に努めて
9 います。しかし、第4章でも述べたとおり、地域によって実施に偏りが見られます。

10 課題

- 11 • 有形文化財や民俗文化財などの調査した分野について調査から時間が経過しており、
12 情報が古くなっています。また、地域によって把握調査の充実度に差があります。
- 13 • 伝統的建造物群など把握が進んでいない分野があります。
- 14 • 埋蔵文化財や記念物（遺跡）は分布調査や範囲調査が不足しています。

16 → 未指定文化財の把握調査を継続的に行います。

- 17 • 有形文化財や民俗文化財などの追加の調査や、把握が進んでいない分野の調査を
18 継続的に行います。

20 ②湖南市らしさの発見

21 本計画の作成にあたって地域にある文化財について市民から意見収集するためのワーク
22 ショップを行い、市民とともに本市らしさを感じる文化財を掘り起こしました。また、同
23 年度に実施した本市の歴史文化に関するアンケート調査でも、市民が次世代に伝えたい文
24 化財の掘り起こしを行いました。

25 課題

- 市民とともに本市らしさを感じる文化財を掘り起こす活動が一時的であり、継続して
行われていません。

16 → 市民とともに文化財を掘り起こす活動を推進します。

- 文化財講座や見学会など、市民とともに本市らしさを感じる文化財を掘り起こす
活動を所有者や管理者、各地域などと連携し、継続的に行います。

1 ③文化財の調査・研究

2 指定等文化財については、文化財指定や修繕などに係り詳細調査を実施し、価値の明確化
3 や保存・管理を行っています。しかし、指定や修繕以降、保存・管理状況を含めた現状の確
4 認調査や新たな価値を見出すための調査・研究は進んでおらず、それらの情報を一元化した
5 台帳作成も進んでいません。

6 未指定の無形の民俗文化財は、把握調査から時間が経過し、さらに地域の少子高齢化や生
7 活様式の変容により、継承が難しくなっています。しかし、現状を把握するための調査や、
8 映像や音声などの記録作成は進んでいません。また、把握した未指定文化財を適切に保存
9 するため、今後価値を明らかにするための調査を行うことが求められます。

10 埋蔵文化財については、開発などの届出に伴う発掘調査を滋賀県や本市で行っています。

11 本市には文化財を収蔵・保管し、公開する施設として歴史民俗資料館がありますが、調査
12 や研究の拠点としての機能が整備されていません。また、市内の文化財や本市の歴史文化に
13 関する資料は歴史民俗資料館や庁舎など様々な場所で保管していることから、調査・研究を
14 一貫して行うことができる環境が整っていません。

15 **課題**

- 16 ・文化財を定期的に現状確認し、得られた情報を台帳にて一元的に管理するといった一
17 連の流れが確立できていません。
- 18 ・一部の指定等文化財について、指定や修理以降、追加の調査が実施できていません。
- 19 ・未指定の民俗文化財の現状を把握するための調査や、映像や音声などの記録作成が
20 できていません。
- 21 ・把握した未指定文化財の詳細調査がほとんど実施できていません。
- 22 ・文化財を調査・研究するための拠点となる施設が整備されておらず、文化財や本市の
23 歴史文化に関する資料も市内の各施設で分散して保管していることから、一貫した調
24 査・研究を行うことが困難な状況です。

26 → **文化財の現状把握調査や詳細調査を推進します。**

- 27 ・指定等文化財の保存管理状況の把握や台帳による管理を推進します。
- ・指定等文化財の修理に向けた現状把握調査や詳細調査を推進します。
- ・未指定の民俗文化財の現状を把握するための調査や、映像や音声などの記録
作成を推進します。
- ・把握調査の成果を踏まえて、未指定文化財の価値を明らかにするための調査を行います。
- ・文化財を収蔵・保管している歴史民俗資料館を、調査・研究が行える調査拠点と
なるよう環境を整えます。

1 基本方針 2 文化財をみんなで守る

2 ①文化財の適切な保存・管理

3 本市には令和8年(2026)8月1日現在で118件の指定等文化財があります。そのうち市
4 が管理する一部の文化財については保存活用計画を策定し、計画に基づき保存・管理を行っ
5 ていますが、社寺や地域、団体、個人が所有・管理する文化財については管理状況の把握や
6 保存修理が進んでいません。

7 **課題**

- 8 ・指定等文化財の管理状況が把握できていない事例があり、保存・管理が十分ではなく、
9 また、適切な時期の修理が実施できていません。

11 → **指定等文化財の管理状況を把握し、保存修理を計画的に進めます。**

- 12 ・所有者や管理者に指定等文化財の管理状況を確認し、整理します。
- 13 ・指定等文化財の管理状況を把握し、計画的に保存修理を進めます。

15 ②文化財指定の推進

16 ①で述べたとおり、本市は118件の指定等文化財がありますが、指定等の分類に偏りがあり、また、平成16年に湖南市が誕生して以降、市の文化財指定は1件のみです。

18 **課題**

- 19 ・指定等の取組みが継続的に行われておらず、調査で把握した文化財の価値付けが不十分です。

22 → **未指定文化財の指定を推進します。**

- 23 ・調査・研究によって評価の定まった未指定文化財の指定を推進します。

25 ③文化財を収蔵・保管する施設の整備

26 市内の文化財を収蔵・保管し、公開する施設である歴史民俗資料館の日常の管理・運営は
27 指定管理者に委託していますが、収蔵品の展示や管理は文化財担当部局の商工観光労政課
28 が行っています。しかし、施設の老朽化や収蔵スペースの不足などの問題を抱えており、収
29 蔵できない文化財は他の場所で保管している状況です。

30 **課題**

- 31 ・文化財を一元的に保存・管理できており、一部文化財については適切に保存・管理
32 できていない事例があります。

80 → **湖南市立東海道石部宿歴史民俗資料館の整備を推進します。**

- 81 ・文化財を適切に保存・管理することを目的とした歴史民俗資料館の整備を行います。

1 ④文化財の防災・防犯対策

2 近年、全国的に自然災害や盗難などの被害が相次いでいますが、文化財の日常点検や防
3 災・防犯対策の周知ができていません。

4 本市では、重要文化財をはじめとした指定等文化財の防災対策として、地域や消防署など
5 と連携し、防災施設の整備や点検を行っています。また、毎年1月26日の文化財防火デー
6 に合わせて、文化財防火査察や消防訓練を行っています。

7 災害発生時に文化財を一時的に避難できる施設に歴史民俗資料館がありますが、施設の
8 老朽化や収蔵スペースの不足、防災・防犯対策の不足により、現状受け入れは難しい状況で
9 す。

10 令和2年（2020）10月に、国の文化財防災体制をさらに構築すべく、文化財防災センター
11 が開設されました。また、滋賀県博物館協議会では、災害時における博物館資料の相互救
12 援体制の構築を目指すべく取組を行っています。さらに、「近畿圏危機発生時の相互応援に
13 関する基本協定に基づく文化財建造物の被災調査に関する要領」に基づき、関西広域連合で
14 有形文化財（建造物）の目録および調査票の相互交換を行っています。今後、異常気象による
15 自然災害が頻発化・甚大化することが予想されており、災害発生時にこうした国や県の関係
16 機関との連携体制を整えることが求められます。

17 **課題**

- 18 ・文化庁の『国宝・重要文化財（建造物）等の防火対策ガイドライン』や『国宝・重要
19 文化財（美術工芸品）を保管する博物館等のガイドライン』がありますが、これらの
20 情報を所有者や管理者に十分に周知できておらず、また、防災・防犯設備が整ってい
21 ない事例があります。
- 22 ・消防署や地域と連携した防災施設の整備や点検、文化財防火査察、消防訓練を継続し
23 て行うことが求められます。
- 24 ・災害発生時の文化財の一時避難先となる施設やスペースが不足しています。
- 25 ・災害発生時に被害を最小限にとどめるため、国や県などの関係機関との連携体制の整
26 備が求められます。

27 28 → **文化財の防災・防犯対策を充実させます。**

- ・文化財の所有者・管理者に、文化庁が作成したガイドラインを参考に、防災・防
犯に関する情報を提供し、防災・防犯施設に関する補助金を交付するなどの支援
に取り組みます。
- ・地域や消防署などと連携した防災施設の整備や点検、文化財防火デーに合わせ
た文化財防火査察、消防訓練を今後も継続して行います。
- ・自然災害など有事の際に防災拠点となる施設の整備を進めます。
- ・災害発生時に国や県の機関と連携して迅速に対応できる体制を整えます。

1 基本方針3 文化財をみんなに伝える

2 ①文化財の価値や魅力の発信

3 本市では、広報誌や観光パンフレットを通じて文化財の価値や魅力の情報発信をしてき
4 ましたが、ホームページやSNSなどの活用が不十分で、十分な情報発信ができていません。

5 また、本市の外国人市民の人口は令和4年（2022）12月現在で3,508人を数え、その人
6 口は増加傾向にあり、多様な文化が共存しています。本市は国宝の建造物や古くから続くま
7 つり、行事など豊かな歴史・文化財を有していますが、外国人市民への情報発信は不足して
8 います。また、外国人観光客も訪れる一方で、英語など多言語による解説や案内が乏しく、
9 市の魅力を十分に伝えられていません。

10 **課題**

- 11 • ホームページやSNSなどをあまり活用できておらず、文化財の価値や魅力が市内外に
12 発信できていません。
- 13 • 外国人市民に対しての情報発信が不足しています。
- 14 • 文化財を活用する観光地はありますが、多言語対応の解説や案内が不足し、文化財の
15 価値や魅力の発信が不十分です。

17  **文化財に関する情報発信を積極的に行います。**

- 18 • 市のホームページやSNSなどを活用して積極的に文化財に関する情報を発信す
19 るとともに、湖南市観光協会や各地域などと連携して情報を発信する取組を行
います。
- 多文化共生の視点で文化財や伝統行事を発信し、外国人市民との理解と交流を
推進します。
- 英語などの多言語解説を充実させ、外国人観光客に市の魅力を効果的に伝え、観
光誘客と地域の認知度向上に努めます。

1 ②文化財の調査・研究成果の公開

2 過去に行った文化財に関する各種調査・研究の成果は、報告書として刊行し、市および県
3 立図書館などにて閲覧できるようにしています。また、市や県で実施した埋蔵文化財の分布
4 調査の成果は、『滋賀県遺跡地図』や本市ホームページで公開・周知しています。さらに、
5 旧石部町で編さんした『新修石部町史』をデジタル化し、湖南市デジタルアーカイブにて公
6 開しています。

7 **課題**

8 • 文化財の調査・研究成果を発信する方法が限定的で、市民や地域に広く発信できてい
9 ません。

11 → **文化財の調査・研究成果を公開します。**

12 • 文化財に関する調査・研究成果を紙媒体だけではなく、電子媒体での公開も行い
13 ます。また、歴史民俗資料館や図書館などで調査・研究成果を報告します。

16 **基本方針 4 文化財をみんなで活かす**

17 ①文化財の活用・周辺施設整備

18 本市では、所有者や管理者、地域、民間団体と連携してイベントなどを行っています。今
19 後もこうしたイベントを積極的に行うことが求められています。

20 市内の指定等文化財には旧石部町・旧甲西町時に作成した解説板があります。しかし、設
21 置から時間が経過しているため、版面の劣化などが進んでいます。

22 歴史民俗資料館では石部宿に関する資料を常設展示しています。しかし、歴史民俗資料館
23 の整備などを行っていないことから、展示替えなど文化財の公開が進んでいません。

24 **課題**

25 • イベントの内容が固定化し、文化財の価値や魅力を広く発信できていません。
26 • 市内の指定等文化財の解説板や案内板の現状が把握できていません。
27 • 歴史民俗資料館を活かした企画や講座ができていません。

29 → **文化財の活用に向けた整備および取組を推進します。**

30 • 文化財の調査・研究をもとにイベント内容の見直しや新たに企画するなどして、
31 文化財の価値や魅力を市内外に発信します。
32 • 市内に設置した指定等文化財の解説板の位置ならびに設置者、管理者、状態など
33 を把握し、状態が悪いものや内容が古いものは撤去や更新を行います。
34 • 歴史民俗資料館で収蔵・保管している文化財の公開や、歴史民俗資料館を活かし
35 た企画などを行います。

1 ②文化財を活用した地域活動の持続に向けた取組

2 各地域では、地域にある文化財を活用するための様々な活動を行っています。しかし、人
3 口減少や少子高齢化、地域住民の繋がりの希薄化などから、文化財の管理者や伝統行事の担
4 い手が減少し、これまでのよう文化財を活用することが困難な状況になっています。

5 本市内のすべての小・中学校はコミュニティ・スクール¹を導入しており、「地域と共にあ
6 ゆむ学校づくり」を進めています。また、各小・中学校に地域コーディネーター²を配置し、
7 地域の特色を生かした地域学校協働活動を行っています。これらの活動の中で、防災に関する
8 活動や農業体験、地域の祭りへの主体的な参加などのほか、例えば地域の歴史文化を学ぶ
9 「『菩提寺学』地域探索」や伝統行事を体験する「いもち送り³体験」など、各地域にある文
10 化財を生かした様々な学習機会の創出も行っており、子どもたちのふるさとへの誇りや郷
11 土愛を高めることを目指しています。また、小・中学校の中には地域の伝統行事などに子どもたちが積極的に参加するよう、呼びかけを行っている学校もあります。

13 **課題**

14 • 社会情勢が変化する中で、文化財の管理者や伝統行事の担い手が減少し、文化財を保
15 存・管理し、活用し続けることが難しくなっています。

17  **文化財の保存管理や文化財を活用する地域活動の持続に向けた取組を行います。**

18 • 所有者や管理者、地域、学校などと連携し、地域の文化財を活用したイベントを
19 展開します。これらの取り組みを通じて、市民に本市および本市の歴史・文化財
20 への愛着を深めてもらうとともに、新たな担い手や後継者の確保・育成を推進し
21 ます。

¹ コミュニティ・スクール：学校運営協議会を設置している学校のこと

² 地域コーディネーター：地域と学校の橋渡し役として活動する人のこと

³ いもち送り：稲に虫がつかないようにお囃子にあわせて松明を持ち、田を歩き、虫を追い払う行事

1 基本方針5 文化財をみんなでつなぐ

2 ①文化財を活用した学校教育・生涯学習

3 前述したとおり、本市ではコミュニティ・スクールの活動や地域学校協働活動の中で、郷
4 土愛を高めることを目的として各小・中学校で地域にある文化財を活用した地域学習を行
5 っています。また、個別の文化財では、国指定天然記念物である平松のウツクシマツ自生地
6 の見学や長壽寺で行っている祭礼行事の一つである鬼走りの体験などを行っています。一
7 方、教職員が本市の歴史文化を学ぶ機会はほとんどなく、必要に応じて個別で学んでいるこ
8 とが現状です。

9 文化財講座や見学会などの事業を定期的に開催していますが、参加者が固定化するとと
10 もに、若者世代の参加率が低くなっています。

11 課題

12 • 次代の文化財の保存・活用の担い手となる人材を育成するため、引き続き学校教育と
13 の連携が求められます。

• 教職員に対して本市の歴史や文化財の情報が共有できていません。

• 文化財講座や見学会の参加者が固定化するとともに、若者世代の参加率が低くなっています。



文化財を活用した学校教育・生涯学習を推進します。

- 次代の文化財の保存・活用の担い手となる人材を育成するため、文化財を活かした地域学習を充実させる取組みを行います。
- 教育委員会と連携し、文化財の調査・研究成果や本市の歴史文化を教職員に共有します。
- 文化財講座や文化財を巡る見学会などの普及・啓発事業を継続的に実施し、多様な主体が文化財に触れる機会を創出します。

1 ②文化財の保存・活用に取り組む体制の整備

2 本市の文化財担当部局は商工観光労政課（令和8年（2026）8月1日現在）ですが、専門
3 職員は少なく、今後も増員は困難な状況です。

4 文化財の保存・活用に関わる主体は、文化財担当部局だけではなく、庁内関係部局や所有
5 者、地域、団体、民間、専門家など多岐にわたります。そのため、これらの主体が継続的に
6 連携できる体制を整えることが求められます。

7 文化財の維持管理や保存修理、防災・防犯対策にあたっては多額の資金が必要となること
8 が見込まれますが、文化財の保存管理の担い手の不足、檀家や氏子の減少などで、所有者や
9 管理者の自己負担金の確保が困難になることが考えられます。

10

課題

- ・文化財保護に関する経験や知識、技術の継承を滞りなく行うことができる仕組みや体制が整っていません。
- ・様々な主体が文化財の保存や活用に関わっていますが、相互の連携が不十分であるため、文化財のき損などの問題が発生しています。
- ・文化財の所有者・管理者の経済的負担を減らすため、文化財の維持管理や保存修理などの財源の確保が求められます。



文化財の保存・活用に取り組む体制を整備します。

- ・文化財保護に関する経験や知識、技術の継承を滞りなく行うことができる仕組みや体制を整えます。
- ・各種研修に参加するなど職員の能力向上に努めます。
- ・庁内関係部局や所有者、地域、団体、民間、専門家などと連携し、文化財を適切に保存・管理できる体制を整えます。
- ・大学や研究機関など市内外の専門機関と連携し、調査研究を推進する体制を整えます。
- ・文化財の所有者・管理者の経済的負担を減らすための財源確保に向けた取組を行います。

1 第7章. 湖南市の文化財の保存・活用に関する措置

2

3 第5章で掲げた将来像を達成するために定めた5つの基本方針をもとに、第6章で文化
4 財の保存・活用に関する課題・方針を整理しました。第7章では、これらを踏まえて本計画
5 の計画期間内に実施する具体的な措置を示します。なお、事業の進捗状況を確認しながら、
6 内容の見直しを適宜実施することとします。

7

措置表の見方

【措置番号】

各措置の通し番号

【事業概要】

措置の事業名と概要

【新規・継続】

新規：新規の取組

継続：既存の取組を継続

【取組主体】

行政：市

専門：審議会、協議会、大学等研究機関 など

地域：所有者・管理者、地域住民、民間団体、企業 など

◎：取組の主体

○：事業の協力・連携

※取組主体 行政については、文化財担当が中心となって取り組むこととし、

連携などが必要となる関係部局については「（関係部局）」として記載

【財源】

市 費：市の単費

国・県費：国の各種補助金（文化財補助金、新しい地方経済・生活環境創生交付金など）

県の各種補助金

地 域：所有者や管理者、民間団体・企業の事業費 など

【実施期間】

前期：令和9年（2027）～令和13年（2031）

後期：令和14年（2032）～令和18年（2036）

8

1 基本方針 1 文化財をみんなで知る

2 ①文化財の把握調査

措置番号	事業概要	新規 継続	取組主体			財源	実施期間	
			行政	専門	地域		前期 R9~13	後期 R14~18
1	文化財把握調査事業 把握が進んでいない分野の把握調査や本計画でリスト化した未指定文化財の現況調査を実施します。	新規	◎	○	○	市費	→	
2	遺跡等調査事業 遺跡の分布調査や範囲の調査を実施します。	新規	◎	○	○	市費	→	

3 ②湖南市らしさの発見

措置番号	事業概要	新規 継続	取組主体			財源	実施期間	
			行政	専門	地域		前期 R9~13	後期 R14~18
3	湖南市文化財講座事業 外部の専門員または課職員を講師として市内の文化財を解説する講座や見学会などを定期的に開催します。また、滋賀県主催の文化財講座のサテライト会場を開設し、市民が気軽に参加できる環境を整えます。	継続	◎	○	○	市費	→	

4 ③文化財の調査・研究

措置番号	事業概要	新規 継続	取組主体			財源	実施期間	
			行政	専門	地域		前期 R9~13	後期 R14~18
4	指定等文化財台帳整備 指定等文化財の分類、場所、所有者などを記載したデータベースを作成し、文化財の適切な管理や魅力発信に活用します。	継続	◎	○	○	市費	→	
5	少菩提寺遺跡調査 遺跡内には市内で唯一の国指定史跡が残されています。本市の歴史を知るうえで重要な文化財であるため、現状把握や新たな価値を見出すため調査を実施します。	新規	◎	○	○	市費	→	
6	民俗文化財調査事業 市内で行われている祭礼、年中行事の状況や、祭礼で使用される民具の調査を実施します。	継続	◎	○	○	市費	→	
7	美術工芸品等調査事業 市内の社寺や個人宅等で所有、保管、管理されている絵画、彫刻、工芸品、古文書などの調査を実施します。	継続	◎	○	○	市費	→	
8	建造物等調査事業 市内の社寺や町家、近代遺産、石造物などを対象とした調査を実施します。	継続	◎	○	○	市費	→	
9	埋蔵文化財調査事業 埋蔵文化財包蔵地について、開発などに伴う発掘調査を適切に実施します。	継続	◎	○	○	市費 国・県費	→	
10	東海道石部宿歴史民俗資料館整備事業 調査・研究拠点としての機能を整えます。また、収蔵施設の整備を行い、有事の際の防災拠点としての機能を整備します。	継続	◎			市費	→	

1 基本方針2 文化財をみんなで守る

2 ①文化財の適切な保存・管理

措置番号	事業概要	新規 継続	取組主体			財源	実施期間	
			行政	専門	地域		前期 R9~13	後期 R14~18
11	指定等文化財現況調査 指定等文化財にの管理状況を調査します。	継続	◎	○	○	市費	→	
12	指定等文化財保存管理事業 指定等文化財の現況を把握し、所有者や管理者と協議して計画的に保存修理を実施します。	継続	◎	○	○	市費 国・県費 地域	→	

3 4 ②文化財指定の推進

措置番号	事業概要	新規 継続	取組主体			財源	実施期間	
			行政	専門	地域		前期 R9~13	後期 R14~18
13	文化財の指定推進 調査し、評価の定まった未指定文化財を指定し、文化財の適切な保存・活用を推進します。	継続	◎	○	○	市費	→	

5 6 ③文化財を収蔵・保管する施設の整備

措置番号	事業概要	新規 継続	取組主体			財源	実施期間	
			行政	専門	地域		前期 R9~13	後期 R14~18
10	東海道石部宿歴史民俗資料館整備事業（再掲） 調査・研究拠点としての機能を整えます。また、収蔵施設の整備を行い、有事の際の防災拠点としての機能を整備します。	継続	◎			市費	→	

7 8 ④文化財の防災・防犯対策

措置番号	事業概要	新規 継続	取組主体			財源	実施期間	
			行政	専門	地域		前期 R9~13	後期 R14~18
14	指定等文化財管理補助事業 指定等文化財の所有者や管理者に対して、指定等文化財や設備の維持管理に関する支援や補助を行うとともに、防災・防犯対策に関する助言や指導を行います。	継続	○	○	◎	市費 国・県費 地域	→	
15	指定等文化財防災防犯施設整備補助事業 指定等文化財の所有者や管理者に対して、防災・防犯設備の設置に関する支援や補助を行います。	継続	○	○	◎	市費 国・県費 地域	→	
16	文化財防火運動 消防署の査察や消防訓練などを実施し、文化財の防災・防犯意識の向上を図ります	継続	○	○	◎	市費 地域	→	
10	東海道石部宿歴史民俗資料館整備事業（再掲） 調査・研究拠点としての機能を整えます。また、収蔵施設の整備を行い、有事の際の防災拠点としての機能を整備します。	継続	◎			市費	→	
17	防災・防犯体制の構築 災害発生時に国や文化財防災センター、滋賀県と連携して対応する体制、文化財の救援ネットワークを構築します。	継続	◎	○	○	(関係部局) 危機管理防災課	→	

1 基本方針3 文化財をみんなに伝える

2 ①文化財の価値や魅力の発信

措置番号	事業概要	新規 継続	取組主体			財源	実施期間	
			行政	専門	地域		前期 R9~13	後期 R14~18
18	湖南省文化財情報発信 SNSやホームページなどに文化財に関する情報発信コーナーを整備し、その価値と魅力を発信し、観光、まちづくりなどに活用します。	新規	◎	○	○	市費		
			(関係部局) 秘書広報課 商工観光労政課 図書館					→
19	文化財パンフレット、マップ等作成 文化財を紹介するパンフレットやマップを作成し、文化財の魅力を伝えます。	新規	◎	○	○	市費		
			(関係部局) 商工観光労政課 図書館					→
20	湖南省多文化発信事業 湖南省の文化財や伝統行事を、外国人市民へ多文化共生の視点で発信し、地域の歴史理解と交流を深めます。	新規	◎	○	○	市費		
			(関係部局) 人権擁護課 商工観光労政課					→
21	湖南省インバウンド魅力発信事業 多言語解説や案内の整備を進め、外国人観光客へ湖南省の文化財や伝統行事の魅力を効果的に発信します。	新規	◎	○	○	市費		
			(関係部局) 秘書広報課 商工観光労政課					→

3 ②調査・研究成果の公開

措置番号	事業概要	新規 継続	取組主体			財源	実施期間	
			行政	専門	地域		前期 R9~13	後期 R14~18
22	調査成果の電子版報告書作成および公開 紙媒体で刊行する調査報告書などを電子データにてホームページ上で公開します。	継続	◎	○	○	市費		
			(関係部局) 秘書広報課 図書館					→
23	湖南省文化財講座事業（再掲） 外部の専門員または課職員を講師として市内の文化財を解説する講座や見学会などを定期的に開催します。また、滋賀県主催の文化財講座のサテライト会場を開設し、市民が気軽に参加できる環境を整えます。	継続	◎	○	○	市費		
			(関係部局) 秘書広報課 図書館					→

5

1 基本方針 4 文化財をみんなで活かす

2 ①文化財の活用や周辺施設の整備

措置番号	事業概要	新規 継続	取組主体			財源	実施期間	
			行政	専門	地域		前期 R9~13	後期 R14~18
3	湖南市文化財講座事業（再掲） 外部の専門員または課職員を講師として市内の文化財を解説する講座や見学会などを定期的に開催します。また、滋賀県主催の文化財講座のサテライト会場を開設し、市民が気軽に参加できる環境を整えます。	継続	◎	○	○	市費		→
24	指定等文化財説明看板整備事業 市内各地の説明看板を確認し、内容に誤りや古い情報があるもの、劣化や破損が著しいものは撤去・更新を行います。	新規	◎	○	○	市費 国・県費		→
23	東海道歴史民俗資料館管理運営（再掲） 市の歴史文化に関する調査・研究、企画展の開催などを通じ、歴史文化の魅力を発信します。	継続	◎	○	○	市費		→

3 ②文化財を活用する地域活動の持続に向けた取組

措置番号	事業概要	新規 継続	取組主体			財源	実施期間	
			行政	専門	地域		前期 R9~13	後期 R14~18
3	湖南市文化財講座事業（再掲） 外部の専門員または課職員を講師として市内の文化財を解説する講座や見学会などを定期的に開催します。また、滋賀県主催の文化財講座のサテライト会場を開設し、市民が気軽に参加できる環境を整えます。	継続	◎	○	○	市費 (関係部局) 学校教育課		→

5
6

1 基本方針5 文化財をみんなでつなぐ

2 ①文化財を活用した学校教育・生涯学習

措置番号	事業概要	新規 継続	取組主体			財源	実施期間	
			行政	専門	地域		前期 R9~13	後期 R14~18
25	学校現場における文化財を教材とする取組の推進 学校と連携し平松のウツクシマツ自生地見学を継続するとともに、子どもたちが歴史文化について学ぶ機会を、学校・地域・行政が協力して推進し、本市や文化財への愛着を醸成するとともに、将来を担う人材を育成します。	継続	◎	○	○	市費 (関係部局) 農林振興課 学校教育課		
								→
3	湖南市文化財講座事業（再掲） 外部の専門員または課職員を講師として市内の文化財を解説する講座や見学会などを定期的に開催します。また、滋賀県主催の文化財講座のサテライト会場を開設し、市民が気軽に参加できる環境を整えます。	継続	◎	○	○	市費 (関係部局) 図書館		
								→

4 ②文化財の保存・活用に取り組む体制の整備

措置番号	事業概要	新規 継続	取組主体			財源	実施期間	
			行政	専門	地域		前期 R9~13	後期 R14~18
26	文化財保護担当職員の体制整備 文化財の保存・活用を担う専門職員の計画的な雇用を検討します。また、担当職員の能力向上に努めます。	継続	◎			市費 (関係部局) 人事課		
								→
27	(仮称) 湖南市文化財保存活用地域計画協議会の設置・運営 計画の進捗管理などを行うため、住民代表・文化財所有者・専門家・行政などで組織する(仮称) 湖南市文化財保存活用地域計画協議会を設置・運営します。	新規	◎	○		市費		
								→
28	庁内連携の強化 文化財の保存・活用の取組を全庁的に進めるため、商工観光労政課および関係部署を交えた横断的な推進体制を構築し、情報共有や課題解決に努めます。	継続	◎			市費		
								→
29	財源確保のための取組推進 各種補助金、ふるさと納税、クラウドファンディングなどを活用し、文化財の保存・活用のための財源確保に努めます。	継続	◎			市費		
								→

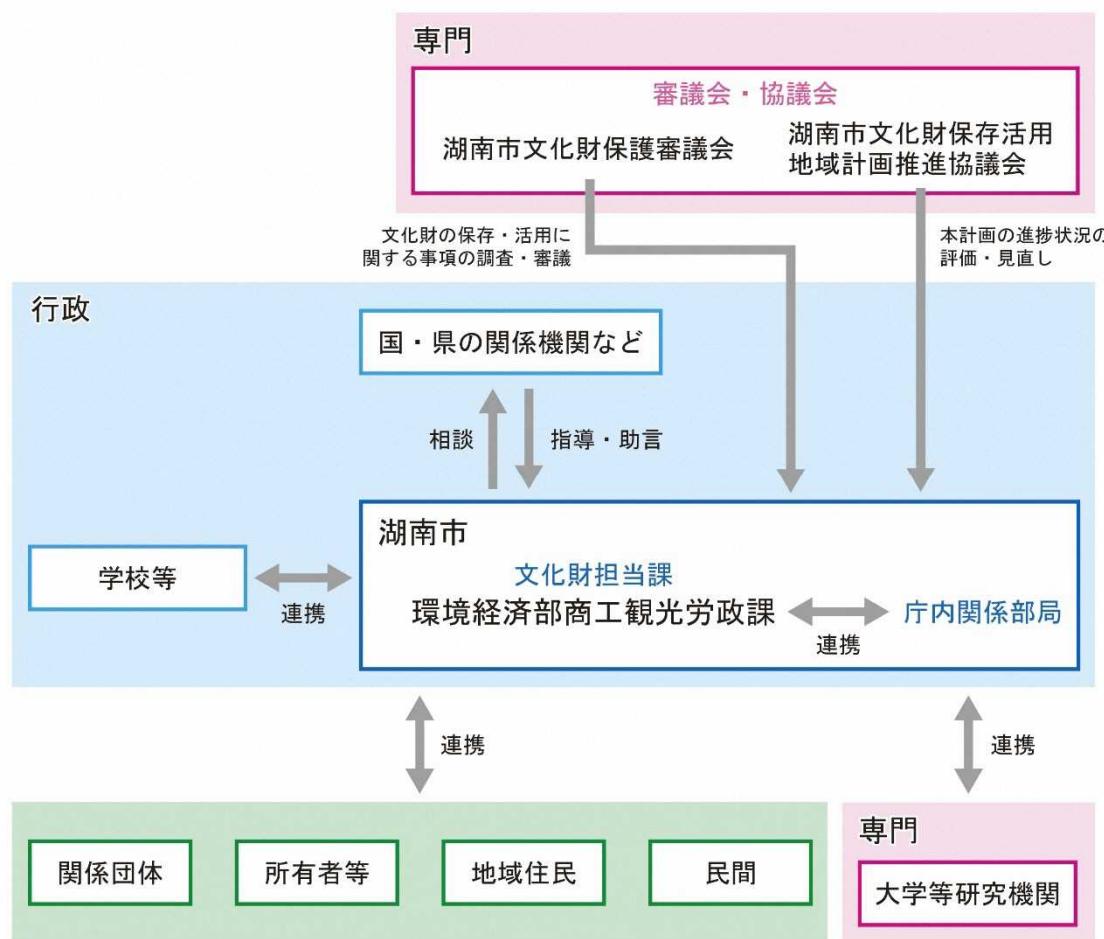
第8章. 湖南市の文化財の保存・活用に関する推進体制

1. 計画の推進体制

文化財の保存・活用は、本市の文化財担当課である商工観光労政課を中心に、庁内関係部局と連携して進めています。また、地域総がかりで文化財の保存・活用に取り組むため、行政だけではなく、市民や所有者・管理者、教育・研究機関、団体・企業などの様々な主体との連携体制を構築していきます。

行政
湖南市
文化財担当課
■環境経済部 商工観光労政課 文化財振興係 職員3名 うち専門職員1名 ・文化財に関すること ・東海道石部宿歴史民俗資料館の管理、運営に関すること など
庁内関係部局
■総合政策部 秘書広報課：広報の発行、ホームページや情報発信媒体の管理 など 人事課：職員の採用、研修に関すること 企画調整課：総合計画の策定や推進、地域活動の支援 など 危機管理・防災課：防災・防犯に関すること など 文化スポーツ課：文化芸術の振興に関すること など
■総務部 総務課：情報公開に関すること、地域情報化および行政情報化の促進 など 管財契約課：入札および請負契約に関することなど 財政課：市の予算に関すること など 人権擁護課：多文化共生社会の推進に関すること など
■都市建設部 土木建設課：国、県事業の整備推進、事業の執行および調整に関すること など 住宅課：開発許可申請、空家対策に関すること など 都市政策課：景観形成の施策立案および調整に関すること など
■環境経済部 商工観光労政課：観光広報宣伝および観光事業の推進に関すること、 観光資源の開発および企画に関すること など 農林振興課：平松のウツクシマツ自生地保全事業、農林業に関すること など 環境政策課：環境に関すること全般
■教育委員会事務局教育部 教育総務課：教育行政の相談に関すること など 学校教育課：学校の運営、教育課程、学習指導に関すること など 教育支援課：社会教育の振興・調整に関すること など 図書館：甲西図書館および石部図書館に関すること全般

学校等	
<input type="checkbox"/> 市内各小学校、中学校、高等学校	
関係機関（国・県・関係市町）	
<input type="checkbox"/> 文化庁 <input type="checkbox"/> 独立行政法人国立文化財機構文化財防災センター <input type="checkbox"/> 滋賀県文化スポーツ部文化財保護課 <input type="checkbox"/> 滋賀県立琵琶湖文化館 <input type="checkbox"/> 滋賀県立美術館 <input type="checkbox"/> 滋賀県警甲賀警察署 <input type="checkbox"/> 草津市歴史文化財課 <input type="checkbox"/> 甲賀市歴史文化財課 <input type="checkbox"/> 竜王町生涯学習課	<input type="checkbox"/> 滋賀県埋蔵文化財センター <input type="checkbox"/> 滋賀県立琵琶湖博物館 <input type="checkbox"/> 甲賀広域行政組合消防本部 <input type="checkbox"/> 大津市文化財保護課 <input type="checkbox"/> 栗東市スポーツ・文化振興課 <input type="checkbox"/> 野洲市文化財保護課
	など
専門	
審議会・協議会	
<input type="checkbox"/> 湖南市文化財保護審議会：文化財の保護に関する事項の調査・審議 など <input type="checkbox"/> （仮称）湖南市文化財保存活用地域計画協議会：本計画の進捗状況の評価・見直しなど	
大学等研究機関	
<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> その他研究機関	<input type="checkbox"/> 滋賀県博物館協議会
地域	
所有者・管理者	
<input type="checkbox"/> 文化財を所有・管理する個人、社寺、保存会・地域等の団体	
地域住民	
<input type="checkbox"/> 湖南市民 <input type="checkbox"/> 各地域	
民間団体・企業	
<input type="checkbox"/> 一般社団法人湖南市観光協会 <input type="checkbox"/> 湖南市商工会 <input type="checkbox"/> 公の施設の指定管理者 <input type="checkbox"/> 吉永の里山と文化財を守る会 <input type="checkbox"/> 弥平とうがらし保存会 <input type="checkbox"/> 大地の会	<input type="checkbox"/> 湖南市国際協会 <input type="checkbox"/> 公益財団法人滋賀県文化財保護協会 <input type="checkbox"/> その他各民間団体・企業 <input type="checkbox"/> 菩提寺まちづくり協議会・歴史文化資料室運営協議会 <input type="checkbox"/> その他各民間団体・企業



2. 防災・防犯の体制

文化財の防災・防犯のため、平時から文化財の所有者や管理者と情報を共有し、文化財の異変の有無など状況確認を行います。また、災害発生時や盗難・破損などの人的被害を受けた時の連絡体制を整えます。

有事の際は、本市の文化財担当課である商工観光労政課が窓口となり、滋賀県を通じて国（文化庁）や独立行政法人国立文化財機構文化財防災センターに被害状況を報告し、協力要請を行います。また、文化財の所有者や管理者をはじめ、地域住民や関係団体、民間と連携して対応します。

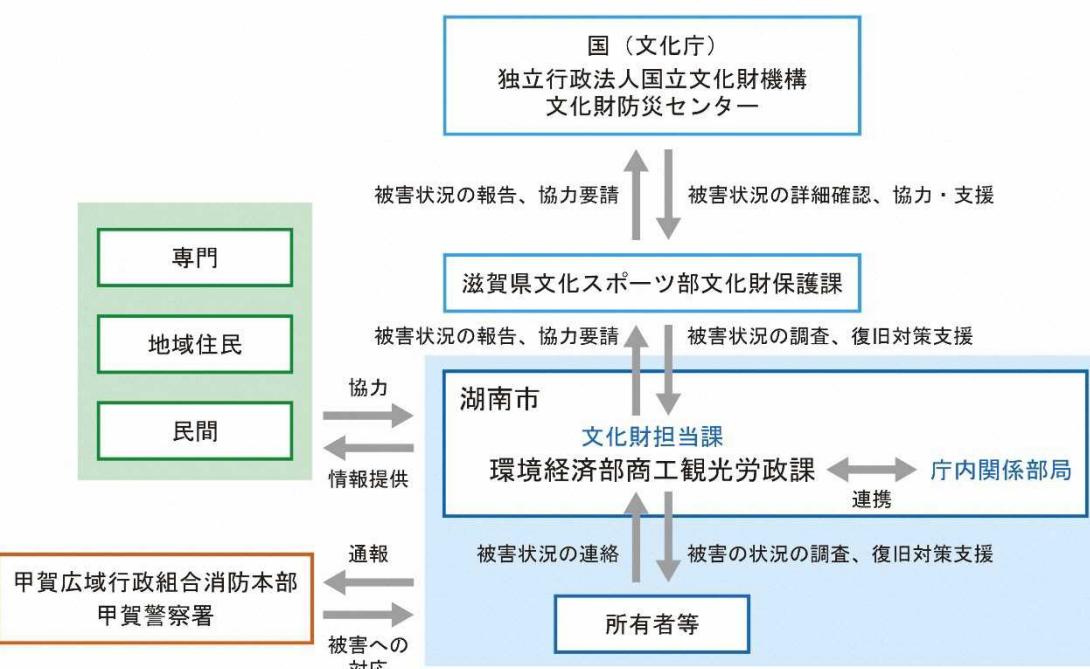


図 18 防災・防犯の連絡体制イメージ

3. 計画の進捗管理

第7章で示した事業の着実な実施のため、計画 (Plan)、実行 (Do)、評価 (Check)、改善 (Action) からなるPDCAサイクルを取り入れて進捗管理を行います。

また、計画期間を前期と後期の2つに分け、各期間で社会的な要因や財政状況などを踏まえ、事業の進捗状況の確認と自己評価を実施し、必要に応じて見直しを行います。ただし、序章でも述べたとおり、計画期間の変更、市内にある文化財の保存に影響を及ぼすおそれのある変更、地域計画の実施に支障が生じるおそれのある変更は、文化庁長官へ変更認定の手続きを行います。それ以外の軽微な変更を行った場合には、当該変更の内容について、滋賀県を経由して文化庁へ報告を行います。

さらに、計画期間終了前の令和17年度（2035）には、計画期間全体における事業の実施状況の確認と評価を行い、その結果を次期計画へ反映させます。

資料編

1. 本計画に関連する計画の概要

序章「4. 計画の位置付け」で述べた本計画に関連する計画の概要は次のとおりです。

(1) 上位計画

■第三次湖南市総合計画

作成年月	令和8年（2026）4月	計画期間	令和8年度（2026）～令和17年度（2035）
計画の目的等	第二次総合計画の終了を機に、社会経済情勢の変化や計画事業の評価を踏まえ、新たに策定した湖南市の行政運営における最上位計画です。		
基本理念・基本方針等	<p>○まちの将来像 ずっとここに暮らしたい！ みんなで創ろう 笑顔つなぐ・つながる湖南 ○まちづくりの6つの目標 (1) みんなで共に進めるしきみをつくろう ～小規模多機能自治のまちづくり～ (2) うるおいのあるまちをつくろう ～自然を生かし、自然と共生するまちづくり～ (3) 活気あるまちをつくろう ～公共交通が豊かになり、人と産業が集うまちづくり～ (4) ほっとする暮らしをつくろう ～こどもが主役の、生涯健幸で暮らせるまちづくり～ (5) いきいきとした暮らしをつくろう ～誇りとなる市民文化を、みんなで築き伝えるまちづくり～ (6) 明日を拓くしきみをつくろう ～効率的・効果的な行財政システムと人づくり～</p>		
地域計画に関連する施策等	<p>上記の6つの目標のうち、地域計画に関連するものは「(3) 活気あるまちをつくろう ～公共交通が豊かになり、人と産業が集うまちづくり～」と「(5) いきいきとした暮らしをつくろう ～誇りとなる市民文化を、みんなで築き伝えるまちづくり～」です。これらの目標を達成するために挙げられた施策方針及び施策の中で、地域計画に関連するものを以下に挙げます。</p> <p>(3) 活気あるまちをつくろう ～公共交通が豊かになり、人と産業が集うまちづくり～ 政策テーマ3-3：企業誘致 ◆企業誘致 ・本市の产品とウツクシマツ自生地や湖南三山などの文化財、伝統行事などを織り交ぜた観光ツアーの実施</p> <p>(5) いきいきとした暮らしをつくろう ～誇りとなる市民文化を、みんなで築き伝えるまちづくり～ 政策テーマ5-3：文化創造 ◆歴史文化遺産の保存・継承と活用 ・文化財などの適切な保全、調査の成果の活用 ・歴史的建造物の周辺の景観形成や芸術文化活動との連携による相互の魅力のPR ◆文化芸術活動の振興 ・歴史的な建造物等との連携による展示・発表の機会・場の充実 ・指導者の人材発掘および育成による文化芸術に触れる機会の充実、裾野の拡大による継承、振興</p>		

■第3期湖南市教育振興プラン

作成年月	令和7年（2025）4月	計画期間	令和7年度（2025）～令和11年度（2029）
計画の目的等	令和2年（2020）に策定した第2期湖南市教育振興プランの終了を機に、これまで進めてきた各種教育施策の評価を踏まえ、新たに策定した計画です。		
基本理念・基本方針等	<p>○基本理念 ～学校・家庭・地域が連携し、それぞれが責任を持つ教育の創造～ 子どもの育つ力を信じ、夢と志を育て未来を拓く『生きる力』の育成 ○湖南市教育の基本的方向 1. 学びの保障～自覚して学ぶ～ 2. 仲間づくり～多様性を認め合う～ 3. ふるさと意識の醸成～地域の人との挨拶から～</p>		

地域計画に 関連する 施策等	<p>上記の基本的方向の中で、地域計画に関連するものは「3. ふるさと意識の醸成～地域の人との挨拶から～」です。この基本的方向の中で挙げられた施策の中で、地域計画に関連するものを以下に挙げます。</p> <p>政策12 「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湖南市文化芸術振興計画や（仮）湖南市文化財保存活用地域計画に基づき、学校教育や社会教育において文化芸術団体などとの連携や文化財の活用に取り組みます。 ○地域に密着した学習機会の提供と人材の育成 ・地域の課題解決や多様化する市民ニーズに応じた学習機会の充実と情報提供に努めるとともに、生涯学習の推進を図るため、地域にある身近な場所で主体的に学習活動が行えるよう、学びの場づくりを支援します。 また、地域の文化や学びの成果をいかして、市民が体系的に学び、力を発揮できる場や仕組みの検討、市民参画の場の充実と社会教育団体の育成支援に努めます。 ○公立図書館の充実 ・公立図書館に来館することが難しい市民に対しては平成30年11月に開設した電子図書館の活用を進めるなどして資料提供を図ります。また、地域資料の保存活用に向けてデジタル・アーカイブ化を進めます。 ・市民の生涯学習推進の拠点施設として、展示や講座、講演会などの集会行事を実施し、文化情報の発信をめざします。 ・地域との協働においては、展示・講演などの活動発表の機会の提供に努めます。
----------------------	--

（2）関連計画

■改訂 湖南省都市計画マスタートップラン

作成年月	令和3年（2021）3月	計画期間	令和3年度（2021）～令和17年度（2035）
計画の 目的等	「湖南省総合計画」の実現に向けて、より具体的に土地利用計画をはじめとするまちづくりの方針や都市計画に関する事業やルールの方針を定める計画です。		
基本理念・ 基本方針等	<p>○まちづくりの理念 ずっとここに暮らしたい！みんなで創ろう きらめき湖南</p> <p>○まちづくりの基本目標</p> <p>I : 安心・安全、循環と共生を重視した持続可能なまちづくり</p> <p>II : まちの活力とにぎわいを創出する多用な拠点づくり</p> <p>III : 人と地域の交わりを支える、便利で快適なネットワークづくり</p> <p>IV : 花や緑、美しいまちなみで心をつなぐ景観づくり</p> <p>V : 協働による誇りと愛着を育むまちづくり</p> <p>○まちづくりの基本計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地利用の方針 ・交通体系の整備の方針 ・公園・緑地の整備の方針 ・景観づくりの方針 ・河川、上下水道の整備の方針 ・安心・安全まちづくりの方針 		
地域計画に 関連する 施策等	<p>上記のまちづくりの基本計画の中で、地域計画に関連するものは「土地利用の方針」です。この方針に基づいた整備・誘導方策の中で、地域計画に関連するものを以下に挙げます。</p> <p>⑧歴史や文化を大切にした土地利用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石部宿や東海道の歴史的なまちなみ、湖南三山をはじめとする寺社仏閣においては、適切に修復・整備を行うとともに観光資源としての活用を進め、文化財を未来へと継承します。また、これらの周辺においては歴史・文化と調和した土地利用を推進し、固有の資産へと育んでいきます。 ・湖南省景観計画や湖南省空家等対策計画に基づき、景観の保全・整備や空き家・空き地の対策を市民やまちづくり団体、事業者、行政などが一体となって進めることで、歴史・文化を大切にした土地利用を推進するとともに地域住民の意識の醸成を図ります。 		

■ 湖南市景観計画

作成年月	平成26年（2014）12月26日（令和2年（2020）2月10日改訂）	計画期間	—
計画の目的等	景観法第8条第1項に規定にされる法定計画で、良好な景観づくりに向けて、景観法の既定のうち必要な事項を定めた計画です。		
基本理念・基本方針等	<p>○景観づくりの基本理念 今、現にある景観資源を最大限に活かし、さらに市民と事業者、市が互いに協力し合って地域の魅力を高める景観づくりを進めることにより、だれもが心のゆとりや安らぎを覚え、地域への愛着と誇りを強く持つことができるまちの実現を図る。 そして、“湖南市のブランド力”を高めていく。</p> <p>○将来像 “ほっ”と和めるふるさと「こなん」</p> <p>○景観づくりの目標 目標① 風土を構成する自然景観の美しさを守る 目標② 受け継いだ歴史文化が薫る伝統的景観を継承する 目標③ 後世に残る美しく魅力的な景観を創造する 目標④ みんなが日々の暮らしの中で“美しさ”を意識する</p>		
地域計画に関連する施策等	<p>景観づくりの基本理念に基づいて掲げた上記の4つの目標の中で、地域計画に関連するものは「目標② 受け継いだ歴史文化が薫る伝統的景観を継承する」です。この目標を達成するために設定した景観づくりの基本的な方針を以下に挙げます。</p> <p>○受け継いだ景観の魅力を再評価します ・長い時間 を掛けて積み重ねられてきた歴史文化的景観の重要性や魅力を再評価し、継承すべき景観について広く市民や事業者等と認識の共有化を図ります。</p> <p>○歴史的な雰囲気が漂う景観を維持します ・暮らしの安全性や快適性を確保しながら、住民が地域に対する愛着と誇りを持つことができ、歴史的な雰囲気や温かみが感じられる街並みを維持します。</p>		

■ 第二次湖南市環境基本計画

作成年月	令和元年（2019）10月	計画期間	令和元年度（2019）～令和10年度（2028）
計画の目的等	社会情勢や湖南市を取り巻く環境面の課題に対応し、健全な物・エネルギーの循環や低炭素化を実現するとともに、自然と人間、地域間の共生を図り、持続可能な社会と地域循環共生圏の実現を目指すために策定した計画です。		
基本理念・基本方針等	<p>○目指すべき環境未来像 野洲川の清流 山々の景色 歴史が育む うつくし湖南</p> <p>○環境未来像実現に向けた基本目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人と自然が共生するまち（自然環境） 2 安全・安心にくらせるまち（生活環境） 3 心豊かなくらしと文化を育むまち（文化景観環境） 4 低炭素・循環型のまち（低炭素・資源循環環境） 5 こなんの未来を育む人・地域づくり（人づくり） 		

地域計画に 関連する 施策等	<p>上記目標の中で、地域計画に関連するものは「3 心豊かなくらしと文化を育むまち（文化景観環境）」と「5 こなんの未来を育む人・地域づくり（人づくり）」です。これらの目標の実現に向けて挙げられた施策の方向性及び具体的な取組の中で、地域計画に関連するものを以下に挙げます。</p> <p>基本目標3 心豊かなくらしと文化を育むまち（文化景観環境） 7 歴史・文化の保存・継承 ○歴史遺産の保存推進 ・指定文化財や伝統的建造物などについて、地域住民と協働で保存や修理、維持管理を進めます。また、新たな文化財の指定や登録を検討します。 ○伝統文化・工芸などの保存・継承推進 ・地域の伝統文化・工芸の保存と継承を進めるとともに、郷土資料集を活用した勉強会を開催するなど市民が文化芸術に親しむ機会の充実を図ります。 8 地域資源の保全・活用 ○ウツクシマツ自生地の保全・再生 ・今後策定予定の湖南市天然記念物平松のウツクシマツ自生地保全活用計画に基づき、地域と協働で幼樹の移植や病害虫防除などを進め、自生地の保・再生を図ります。 ○東海道沿いの町並み景観の保全 ・湖南市景観計画に基づき、昔ながらの東海道沿いの名所旧跡や伝統的な街並みの保全を進めます。 ○地域資源の観光振興への活用 ・ウツクシマツや里地里山、歴史資源などを活用して、自然環境や歴史文化を体験し学ぶツーリズムなどを進めます。また、これらのツーリズムをサポートする観光ボランティアガイドの育成をサポートします。</p> <p>基本目標5 こなんの未来を育む人・地域づくり（人づくり） 12 環境保全を担う人づくりの推進 ○環境教育の推進 ・子どもたちが自然環境や歴史など市の多様な地域資源について体験し学ぶ機会を積極的に設けるとともに、施設や教材を充実します。また、職員の環境保全意識の醸成を図ります。</p>
----------------------	--

■湖南市産業振興ビジョン

作成年月	令和2年（2020）7月	計画期間	令和2年度（2020）～令和11年度（2029）
計画の 目的等	市の産業振興のビジョンを示し、振興施策を計画的に推進するための計画です。		
基本理念・ 基本方針等	<p>○基本ビジョン</p> <ol style="list-style-type: none"> 企業進出や定着のための規制緩和、インフラ整備 地域内企業の連携強化と起業・第二創業支援 海外事業展開の支援や国際競争力の強化 地域資源を活用した市・農商工＋観光の推進 人材の育成と職場環境の改善による労働力の確保 		
地域計画に 関連する 施策等	<p>上記基本ビジョンの中で、地域計画に関連するものは「4. 地域資源を活用した市・農商工＋観光の推進」です。この基本ビジョンの実現に向けて挙げられた具体的な施策の中で、地域計画に関連するものを以下に挙げます。</p> <p>基本ビジョン4. 地域資源を活用した市・農商工＋観光の推進 (3) 新規就農、農福連携の推進 ・伝統野菜（下田なす、弥平とうがらし）の市場創出・普及活動の推進などとともに園芸・果樹の生産拡大により、米づくり中心の農業から多様な付加価値作物への転換を通じて新規就農を推進し、「湖南ブランド」を構築するとともに、消費者から安全・安心な農産物生産に対する信頼を高めるためのGAP認証取得支援体制や地域活性化のための農福連携の仕組みづくりの整備、スマート農業の普及拡大の検討を行います。</p>		

■湖南省文化芸術振興計画

作成年月	令和7年（2025）3月	計画期間	令和7年度（2025）～令和11年度（2029）
計画の目的等	国における文化芸術基本法第7条の2に基づく地方文化芸術推進基本計画として、国の「文化芸術推進基本計画」及び、「滋賀県文化振興基本方針」を踏まえながら、湖南省総合計画に基づき、文化施策の実現を図るための計画です。		
基本理念・基本方針等	<p>○基本理念 文化芸術の力で心豊かにつながるまち 湖南</p> <p>○基本目標 基本目標1 市民の誰もが文化芸術に親しむことができる場づくり 基本目標2 文化芸術を支え・育む人づくり 基本目標3 文化芸術を活かしたまちづくり</p>		
地域計画に 関連する 施策等	<p>上記基本目標は全て地域計画に関連します。各基本目標の達成に向けて挙げられた施策および主な取組の中で、地域計画に関連するものを以下に挙げます。</p> <p>基本目標1 市民の誰もが文化芸術に親しむことができる場づくり 施策（1）市民の誰もが文化芸術に親しめる場を提供する 主な取組① 鑑賞機会の確保・促進 ・多様で魅力ある鑑賞機会を提供する。/学校や地域等へのアウトリーチ事業を推進する。/市民参加型の文化芸術イベントを推進する。 主な取組② 市民参加の促進 ・市民参加型の文化芸術イベントを推進する。/文化施設等の貸館事業を推進する。</p> <p>基本目標2 文化芸術を支え・育む人づくり 施策（1）文化芸術をつなぎ支える人材を育成する 主な取組① 担い手や支え手の育成・支援 ・市民や文化芸術団体の主体的な活動を推進する。/市民参加型の文化芸術イベントを推進する。/文化施設等の貸館事業を推進する。 主な取組② 市民や団体の連携促進 ・市民や文化芸術団体のネットワーク機能を形成する（コーディネイト、データバンク、人材育成など）。/市民参加型の文化芸術イベントを推進する。 施策（2）子どもや若者の文化芸術活動を促進する 主な取組① 文化芸術に触れるきっかけづくり ・幼少期や学童期から参加できる文化芸術事業を充実する。/子どもや若者が文化芸術に触れる体験イベントを推進する。 主な取組② 表現する機会の充実 ・子どもや若者が発表し、交流する文化芸術イベントを推進する。 ・文化施設等の貸館事業を推進する。 主な取組③ 地域・学校等との連携促進 ・学校や地域等へのアウトリーチ事業を推進する。/地域の文化芸術団体等と連携し、地域に根ざした文化体験の場を充実させる。/学校教育における文化芸術活動を支援する。</p> <p>基本目標3 文化芸術を活かしたまちづくり 施策（1）文化芸術活動情報の収集と発信の充実 主な取組① 情報の収集と発信の強化 ・ホームページ、SNS の活用を強化する。/市内の文化芸術情報の収集・発信を強化する（本市にゆかりのある芸術家の紹介、イベント情報など）</p>		

■湖南省地域防災計画

作成年月	令和5（2023）年3月	計画期間	-
計画の目的等	災害対策基本法に基づき、湖南省防災会議が作成する計画であって、市、県、行政機関、公共機関等の防災関係機関が、その有する全機能を有効に発揮して、市の地域における災害に係る災害予防、災害応急対策および害復旧を実施することにより、市の地域ならびに住民の生命、身体および財産を災害から保護することを目的とした計画です。		
基本理念・基本方針等	<ul style="list-style-type: none"> ○防災ビジョン 住民・地域・行政が一体となった安心安全なまちづくり ○基本方針 <ol style="list-style-type: none"> 1 災害に強いまちづくり 2 地域の防災力の向上とそれを担う人づくり 3 災害に強い仕組みづくり 		
地域計画に関連する施策等	<p>文化財の災害予防対策及び文化財の保護対策として以下のことが挙げられています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文化財の災害予防対策 <ol style="list-style-type: none"> (1) 火災予防 <ul style="list-style-type: none"> ア 火気の使用制限、焚火、喫煙の制限、自動火災報知設備の設置 イ 漏電警報機の設置、消火栓（貯水槽を含む。）の設置、ドレンチャー、スプリンクラーの設置 ウ 防火壁、防火帯の設置、消防道路の敷設、収蔵庫、保存庫の建設 (2) 防雷対策 避雷針の設置 (3) その他の対策 <ul style="list-style-type: none"> 環境整備（危険木除去、排水設備、擁壁、換気、防湿）、薬剤処理（蟻害、虫害、鳥害の予防）、防護網阻止柵等の設置、収蔵庫の建設（金庫式を含む。）、施設への寄託保管、電気的安全度の定期検査励行、防災施設の定期的な保存、非常通報器の確認、免震装置の設置 2 現地指導 現地巡回視察等により防災上必要な勧告、助言、指導を行う。 3 保護思想の普及、訓練 <ul style="list-style-type: none"> (1) 文化財保護強調月間、文化財防火運動、文化財防火デー等の行事を通じて防火、防災意識の向上を図る。 (2) 消防機関は、文化財について防火査察および防火訓練または図上訓練の実施を随時行う。 (3) 文化財所有者は、文化財防火点検表等に基づく点検を行う。 ○文化財の保護対策 <ol style="list-style-type: none"> 1 文化財管理者に対し、被災状況の情報を速やかに収集し、状況に応じた応急対策を指導とともに、必要に応じて係員を現地に派遣する。 2 被災状況調査の実施を行う。 3 災害の著しい場合は、管理者と協議しながら移動可能な文化財を一時的に安全な場所に保管する。 4 文化財に破損等が生じた場合は、市教育委員会（教育施設班）は、管理者に被災状況の報告を届け出させるとともに、関係機関の指導のもとに復旧計画を策定する。 5 文化財の移設の措置を行う場合や破損が生じたときは、県や国の関係機関に対して速やかに報告を行う。 6 家屋等の倒壊により、家屋等が取り壊されるときに古文書等の未指定文化財が廃棄される恐れがあるので、未指定文化財の搬出および一時預りを行う。 		

■湖南省国民保護計画

作成年月	令和7年（2025）2月	計画期間	-
計画の目的等	国民保護法第35条に規定される法定計画で、国民の協力を得つつ、他の機関と連携協力し、自ら国民の保護のための措置（以下「国民保護措置」という。）を的確かつ迅速に実施し、その区域において関係機関が実施する国民保護措置を総合的に推進する計画です。		
基本理念・基本方針等	<ul style="list-style-type: none"> ○国民保護措置に関する基本方針 <ol style="list-style-type: none"> 1 基本的人権の尊重 2 国民の権利利益の迅速な救済 3 国民に対する情報提供 4 関係機関相互の連携協力の確保 5 国民の協力 6 高齢者、障がい者等への配慮および国際人道法的確な実施 7 指定公共機関および指定地方公共機関の自主性の尊重 8 国民保護措置に従事する者等の安全の確保 		

地域計画に 関連する 施策等	<p>文化財の保護について以下のことことが挙げられています。</p> <p>(1) 重要文化財等に関する命令または勧告の告知等 重要文化財等（重要文化財、重要有形民俗文化財または史跡名勝天然記念物をいう。）に関し、武力攻撃災害による被害を防止するために文化庁長官が行う命令および勧告は、県を通じ、所有者等に対して告知される。</p> <p>(2) 国宝等の被害を防止するための措置の施行 国宝等（国宝または特別史跡名勝天然記念物をいう。）に関し、所有者等が上記命令または勧告に従わないとき等においては、文化庁または県の職員が当該国宝等の責任者となり、所用の措置を講ずることとなる。</p> <p>(3) 県指定等文化財に関する勧告、指導および助言 県指定等文化財に関し、武力攻撃災害による被害を防止する必要がある場合は、県からその所有者等に対して、被害を防止するための勧告、指導または助言がなされる。</p> <p>(4) 市指定等文化財に関する勧告、指導および助言 市教育委員会は、武力攻撃災害による市指定等文化財の被害を防止するため、その所有者等に対し、勧告、指導または助言を行う。</p>
----------------------	---

（3）個別の文化財の計画

■国指定天然記念物 平松のウツクシマツ自生地 保存活用計画

作成年月	令和3年（2021）10月	計画期間	令和3年（2021）4月～令和13年（2031）3月末
計画の 目的等	現在まで保存されてきた天然記念物「平松のウツクシマツ自生地」の価値を将来へ継承していくため に策定した計画です。		
基本方針	<p>① 天然記念物「平松のウツクシマツ自生地」の本質的価値を損なわないよう、自生地の回復、維持を図り、自生しているウツクシマツを適切な状態で保全管理し、自生地と自生するウツクシマツを次世代へ継承していきます。</p> <p>② 天然記念物の本質的価値を構成する要素を適切に保全活用していくために、地域区分ごとの適切な保全・活用方法を具体化し、総合的な管理と活用を図るなど環境整備を図ります。</p> <p>③ ウツクシマツ自生地を活用した学校教育や生涯学習を通じて、天然記念物としての本質的価値を普及・啓発・情報発信し、市民の理解を深めます。</p> <p>また、地元住民や来訪者の集いの場、交流の場、憩いの場となるような公開活用を図ります。</p> <p>④ 地元住民、関連団体、市庁内関係部局、研究機関、有識者などとの協働・連携による継続的な管理運営体制を整備し、ウツクシマツ自生地の保全・活用・整備を一体的に進めます。</p>		
計画の 概要	上記の基本方針を踏まえ、これまでの取組を検証しながら、新たな課題にも対応できるよう、保全管理、活用、整備、運営体制の確立の施策を中心に、ウツクシマツ自生地の保全活用を進めていくこととしています。		

（4）滋賀県の関連計画

■滋賀県文化財保存活用大綱

作成年月	令和2年（2020）3月（令和3年（2021）3月改定）	計画期間	—
計画の 目的等	滋賀県の文化財を確実に次世代に継承していくため、文化財の保存と活用に関する種々の取組を適切に進めるうえで共通の基盤となる方針を示し、今後の総合的な施策を定めた計画です。		
基本理念・ 基本方針等	<p>○今後目指すべき保存・活用の方向性 文化財の保存と活用が循環する持続可能な社会の実現のために、滋賀県の豊かな歴史文化の特徴を活かしながら、多くの人の手で文化財が保存継承される姿を目指す。</p> <p>○今後目指すべき保存・活用の方向性を達成するための5つの柱</p> <p>(1) 文化財の調査、指定、保存修理の計画的、確実、着実な推進</p> <p>(2) みんなで文化財の保存継承を支え合う地域づくり・人づくり</p> <p>(3) 文化財の多種多様な活用推進</p> <p>(4) 文化財を保存・活用・発信できる施設の確保</p> <p>(5) 文化財の維持するための資源の確保</p>		
計画の 概要	上記の5つの柱のもと進める取組について、滋賀県が主体となって行う取組を5つ挙げ、その中で「みんなで文化財の保存継承を支え合う地域づくり・人づくり」を優先的なテーマとして施策を推進するとしています。また、県内の市町への支援方針や防災・防火・防犯・災害発生時の対応、文化財の保存・活用の推進体制を記載しています。		

2. 指定等文化財一覧

本市の令和8年（2026）8月1日現在の指定等文化財は次のとおりです。

番号	区別	文化財類型	種別	名称	指定年月日	地区
1	国指定	有形文化財	建造物	長寿寺本堂	明治31. 12. 28	石部南
2	国指定	有形文化財	建造物	常楽寺本堂	明治31. 12. 28	石部南
3	国指定	有形文化財	建造物	常楽寺三重塔	明治34. 3. 27	石部南
4	国指定	有形文化財	建造物	善水寺本堂	明治32. 4. 5	岩根
5	国指定	有形文化財	建造物	吉御子神社本殿	大正10. 4. 30	石部
6	国指定	有形文化財	建造物	長寿寺弁天堂	昭和27. 3. 29	石部南
7	国指定	有形文化財	建造物	白山神社拝殿	昭和34. 6. 27	石部南
8	国指定	有形文化財	建造物	多宝塔	昭和36. 3. 23	菩提寺
9	国指定	有形文化財	絵画	絹本着色十六羅漢像	明治30. 12. 28	石部南
10	国指定	有形文化財	絵画	絹本着色仏涅槃図	大正元. 9. 3	石部南
11	国指定	有形文化財	彫刻	木造吉彦命坐像（附 木造隨身坐像2躯）	明治42. 4. 5	石部
12	国指定	有形文化財	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	明治41. 4. 23	石部南
13	国指定	有形文化財	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	明治41. 4. 23	石部南
14	国指定	有形文化財	彫刻	木造积迦如来坐像	明治41. 4. 23	石部南
15	国指定	有形文化財	彫刻	木造积迦如来坐像	明治41. 4. 23	石部南
16	国指定	有形文化財	彫刻	木造二十八部衆立像	明治45. 2. 8	石部南
17	国指定	有形文化財	彫刻	木造千手觀音坐像	大正2. 4. 14	石部南
18	国指定	有形文化財	彫刻	木造十一面觀音立像	明治42. 4. 5	三雲
19	国指定	有形文化財	彫刻	木造十一面觀音立像	明治42. 4. 5	三雲
20	国指定	有形文化財	彫刻	木造薬師如来坐像	明治37. 2. 18	岩根
21	国指定	有形文化財	彫刻	木造梵天・帝釈天立像	明治37. 2. 18	岩根
22	国指定	有形文化財	彫刻	木造兜跋毘沙門天立像	明治37. 2. 18	岩根
23	国指定	有形文化財	彫刻	木造持国天・增長天立像	明治37. 2. 18	岩根
24	国指定	有形文化財	彫刻	木造四天王立像	明治37. 2. 18	岩根
25	国指定	有形文化財	彫刻	木造不動明王坐像	明治37. 2. 18	岩根
26	国指定	有形文化財	彫刻	木造僧形文殊坐像	明治37. 2. 18	岩根
27	国指定	有形文化財	彫刻	金銅誕生釈迦仏立像	明治37. 2. 18	岩根
28	国指定	有形文化財	彫刻	木造金剛二力士立像	明治41. 4. 23	岩根
29	国指定	有形文化財	彫刻	木造阿弥陀如来立像	明治42. 4. 5	菩提寺
30	国指定	有形文化財	彫刻	木造十一面觀音立像	明治41. 4. 23	岩根
31	国指定	有形文化財	彫刻	木造十一面觀音立像	明治41. 4. 23	岩根
32	国指定	有形文化財	彫刻	木造薬師如来坐像	明治41. 4. 23	岩根
33	国指定	有形文化財	彫刻	木造地蔵菩薩半跏像	明治43. 8. 29	岩根
34	国指定	有形文化財	彫刻	木造大日如来坐像	明治41. 4. 23	岩根
35	国指定	有形文化財	工芸品	錫杖	明治44. 4. 17	石部南
36	国指定	有形文化財	工芸品	石燈籠	昭和39. 1. 28	石部南
37	国指定	有形文化財	工芸品	金銅飯食器		
				銅飲食器（脚欠）	平成7. 6. 15	石部南
				金銅火舎		
38	国指定	有形文化財	書跡・典籍	紙本墨書常楽寺勧進状	大正元. 9. 3	石部南
39	国指定	記念物	遺跡	廃少菩提寺石多宝塔および石仏	大正15. 10. 20	菩提寺
40	国指定	記念物	動物、植物、地質鉱物	平松のウツクシマツ自生地	大正10. 3. 3	三雲
41	国登録	有形文化財	建造物	妙感寺本堂（觀音堂）	平成15. 3. 18	三雲
42	県指定	有形文化財	絵画	絹本着色觀經変相図	昭和53. 3. 17	石部南
43	県指定	有形文化財	絵画	絹本着色觀經変相図	昭和53. 3. 17	石部南
44	県指定	有形文化財	絵画	絹本着色聖觀音曼荼羅図	平成9. 3. 31	石部南
45	県指定	有形文化財	絵画	板絵著色三十六歌仙扁額	昭和36. 7. 19	石部南
46	県指定	有形文化財	彫刻	木造菩薩形立像	昭和60. 3. 29	石部南
47	県指定	有形文化財	彫刻	銅造阿弥陀如来立像	昭和32. 8. 26	岩根
48	県指定	有形文化財	彫刻	木造神像（四体）	昭和47. 4. 1	岩根
49	県指定	有形文化財	工芸品	黒漆磬架	平成25. 3. 19	石部南
50	県指定	有形文化財	工芸品	鰐口	昭和59. 3. 30	岩根
51	県指定	有形文化財	歴史資料	長寿寺制札	平成5. 3. 31	石部南
52	県指定	記念物	遺跡	三雲城跡	平成27. 12. 18	三雲
53	市指定	有形文化財	建造物	石造多宝塔	昭和49. 3. 30	石部南
54	市指定	有形文化財	建造物	石造宝篋印塔	昭和48. 10. 5	三雲
55	市指定	有形文化財	建造物	七重の石塔	昭和48. 10. 3	菩提寺
56	市指定	有形文化財	建造物	石造五輪塔	昭和48. 10. 5	岩根
57	市指定	有形文化財	建造物	石造宝塔	昭和48. 10. 10	岩根
58	市指定	有形文化財	建造物	石造宝塔	昭和48. 10. 7	岩根
59	市指定	有形文化財	建造物	石造宝篋印塔	昭和48. 10. 18	岩根
60	市指定	有形文化財	建造物	石造五輪塔	昭和52. 10. 4	岩根
61	市指定	有形文化財	建造物	川田神社社殿	昭和52. 10. 4	岩根
62	市指定	有形文化財	建造物	石造宝篋印塔	平成4. 1. 1	三雲
63	市指定	有形文化財	建造物	石造五輪塔	平成4. 1. 1	三雲
64	市指定	有形文化財	建造物	常夜燈	平成8. 8. 1	三雲
65	市指定	有形文化財	建造物	懸念寺本堂	平成22. 1. 1	三雲
66	市指定	有形文化財	絵画	奈良絵本	昭和49. 3. 30	石部
67	市指定	有形文化財	絵画	汽車ホテルの絵	昭和49. 3. 30	石部
68	市指定	有形文化財	絵画	紙本淨土曼荼羅	昭和49. 3. 30	石部南

番号	区別	文化財類型	種別	名称	指定年月日	地区
69	市指定	有形文化財	絵画	絹本着色両界曼陀羅	昭和52.10. 4	三雲
70	市指定	有形文化財	絵画	絹本着色十三仏画像	昭和52.10. 4	岩根
71	市指定	有形文化財	絵画	紙本着色山越阿弥陀如来画像	昭和52.10. 4	岩根
72	市指定	有形文化財	絵画	紙本着色少普提寺絵図	昭和52.10. 4	菩提寺
73	市指定	有形文化財	絵画	絹本着色涅槃図	平成 4. 1. 1	岩根
74	市指定	有形文化財	絵画	奥村志宇襖絵	平成14. 4. 1	三雲
75	市指定	有形文化財	彫刻	木造釈迦如来坐像	昭和49. 3. 30	石部南
76	市指定	有形文化財	彫刻	木造阿弥陀如来立像	昭和48.10. 4	三雲
77	市指定	有形文化財	彫刻	木造地蔵尊立像	昭和48.10. 1	三雲
78	市指定	有形文化財	彫刻	木造狛犬	昭和48.10. 1	岩根
79	市指定	有形文化財	彫刻	青銅釈迦誕生仏	昭和48.10.29	
80	市指定	有形文化財	彫刻	木造千手観音坐像	昭和52.10. 4	三雲
81	市指定	有形文化財	彫刻	磨崖地蔵菩薩	昭和52.10. 4	三雲
82	市指定	有形文化財	彫刻	石造不動明王尊	昭和52.10. 4	三雲
83	市指定	有形文化財	彫刻	木造地蔵菩薩半跏像	昭和52.10. 4	三雲
84	市指定	有形文化財	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	昭和52.10. 4	三雲
85	市指定	有形文化財	彫刻	磨崖不動明王尊	昭和52.10. 4	岩根
86	市指定	有形文化財	彫刻	磨崖不動明王尊	昭和52.10. 4	岩根
87	市指定	有形文化財	彫刻	石造地蔵菩薩立像	昭和52.10. 4	菩提寺
88	市指定	有形文化財	彫刻	木造阿弥陀如来立像	昭和52.10. 4	菩提寺
89	市指定	有形文化財	彫刻	木造微妙大師坐像	平成 4. 1. 1	三雲
90	市指定	有形文化財	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	平成 4. 1. 1	三雲
91	市指定	有形文化財	彫刻	石造一石六体地蔵菩薩	平成 4. 1. 1	三雲
92	市指定	有形文化財	彫刻	木造阿吽面	平成 4. 1. 1	岩根
93	市指定	有形文化財	彫刻	木造聖観音坐像	平成 4. 1. 1	岩根
94	市指定	有形文化財	彫刻	木造阿弥陀如来坐像	平成10. 4. 1	岩根
95	市指定	有形文化財	彫刻	木造十一面観音立像	平成10. 4. 1	三雲
96	市指定	有形文化財	彫刻	木造十一面観音立像	平成10. 4. 1	三雲
97	市指定	有形文化財	彫刻	木造阿弥陀如来立像	平成10. 4. 1	三雲
98	市指定	有形文化財	彫刻	木造十二神将像	平成14. 4. 1	岩根
99	市指定	有形文化財	工芸品	木造古面	昭和49. 3.30	石部南
100	市指定	有形文化財	工芸品	鰐口	昭和49. 3.30	石部
101	市指定	有形文化財	工芸品	石部焼花器（瑞雲龍絵染付）	昭和49. 3.30	石部
102	市指定	有形文化財	工芸品	石部焼花皿（富士唐草絵染付）	昭和49. 3.30	石部
103	市指定	有形文化財	工芸品	神輿	昭和49. 3.30	石部
104	市指定	有形文化財	工芸品	神輿	昭和49. 3.30	石部
105	市指定	有形文化財	工芸品	石燈籠	昭和48.10. 5	三雲
106	市指定	有形文化財	工芸品	石燈籠	昭和49. 2.26	三雲
107	市指定	有形文化財	工芸品	馬具、鏡	昭和54. 3. 5	下田
108	市指定	有形文化財	工芸品	青銅懸鈴	昭和54. 3. 5	下田
109	市指定	有形文化財	書跡・典籍	石部家清法名軸（紙本墨書）	昭和49. 3.30	石部
110	市指定	有形文化財	書跡・典籍	千歳集	昭和48.10. 3	三雲
111	市指定	有形文化財	書跡・典籍	紙本墨書巻物	昭和49. 2.25	岩根
112	市指定	有形文化財	書跡・典籍	紙本墨書教如上人等書状	昭和52.10. 4	菩提寺
113	市指定	有形文化財	書跡・典籍	顕如上人筆 度牒	昭和54. 3. 5	下田
114	市指定	有形文化財	古文書	小島本陣文書	昭和60. 4. 1	三雲
115	市認定	無形文化財	工芸技術	保持者 植西 恒夫（本藍染）	平成10. 4. 1	下田
116	市指定	記念物	動物、植物、地質鉱物	弘法杉	昭和52.10. 4	三雲
117	市指定	記念物	動物、植物、地質鉱物	モチの木	平成 4. 1. 1	三雲
118	市指定	記念物	動物、植物、地質鉱物	野洲川河原の足跡化石出土品	平成 4. 1. 1	三雲

3. 周知の埋蔵文化財包蔵地一覧

本市に所在する令和8年（2026）8月1日現在の周知の埋蔵文化財包蔵地は次のとおりです。

番号	名称	種別	時代	所在地
1	六反古墳群	古墳群	古墳	石部南
2	五軒茶屋遺跡	生産遺跡	近世（江戸）	石部
3	柿ヶ沢古墳群	古墳群	古墳	石部
4	金山遺跡	その他（鉱石採掘地）	その他	石部
5	石部城遺跡	城館跡	中世	石部
6	蓮城寺遺跡	社寺跡	その他	石部
7	宮の森古墳群	古墳群	古墳	石部
8	青木城遺跡	城館跡	中世	石部
9	長寿寺遺跡	社寺跡	その他	石部南
10	十王寺遺跡	社寺跡	その他	石部南
11	阿星寺遺跡	社寺跡	その他	石部南
12	常楽寺遺跡	社寺跡	その他	石部南
13	西教寺遺跡	社寺跡	その他	石部南
14	堂立遺跡	社寺跡	その他	石部南
15	下田城遺跡	城館跡	中世	下田
16	横田城遺跡	城館跡	中世	岩根
17	朝国館遺跡	城館跡	中世	岩根
18	観音寺遺跡	社寺跡	中世	岩根
19	朝国遺跡	その他墓跡	その他	岩根
20	岩根館遺跡	城館跡	中世	岩根
21	塚越古墳	古墳	古墳	岩根
22	大谷古墳群	古墳群	古墳	岩根
23	花園寺古墳	社寺跡	その他	岩根
24	正法寺古墳	社寺跡	中世	岩根
25	善水寺遺跡	社寺跡	中世	岩根
26	岩根城遺跡	城館跡	中世	岩根
27	不動寺遺跡	社寺跡	中世	岩根
28	丸保古墳群	古墳群	古墳	岩根
29	寒谷古墳群	古墳群	古墳	岩根
30	岡ノ山遺跡	城館跡	中世	三雲
31	塚山古墳	古墳	古墳	岩根
32	東正福寺城遺跡	城館跡・社寺跡	古代（奈良）・中世	岩根
33	岩瀬谷古墳群	古墳群	古墳	岩根
34	西正福寺城遺跡	城館跡	中世	岩根
35	青木館遺跡	城館跡	中世	菩提寺
36	谷城遺跡	城館跡	中世	菩提寺
37	童王山古墳群	古墳群	古墳	菩提寺
38	少菩提寺遺跡	社寺跡	中世	菩提寺
39	山の神古墳群	古墳群	古墳	菩提寺
40	菩提寺城遺跡	城館跡	中世	菩提寺
41	三雲城遺跡	城館跡	中世	三雲
42	真道寺遺跡	社寺跡	その他	三雲
43	園養山古墳群	古墳群	古墳	三雲
44	三雲塚古墳群	古墳群	古墳	三雲
45	勅使野古墳群	古墳群	古墳	三雲
46	妙感寺山古墳群	古墳群	古墳	三雲
47	園養寺遺跡	社寺跡	中世	三雲
48	三雲寺遺跡	社寺跡	中世	三雲
49	三雲城遺跡	城館跡	中世	三雲
50	夏見城遺跡	城館跡	中世	三雲
51	二子山古墳	古墳	古墳	三雲
52	狐塚古墳	古墳	古墳	三雲
53	了安寺遺跡	集落跡・社寺跡	古代～中世	三雲
54	光明寺遺跡	社寺跡	中世	三雲
55	針氏城遺跡	城館跡	中世	三雲
56	片山遺跡	社寺跡	その他	三雲
57	狐栗古墳群	古墳群	古墳	三雲
58	針城遺跡	城館跡	中世	三雲
59	井戸遺跡	集落跡	縄文～中世（室町）	三雲
60	高木陣屋遺跡	城館跡	中世	三雲
61	茶臼山古墳群	古墳群	古墳	三雲
62	南照寺遺跡	社寺跡	その他	三雲
63	平松城遺跡	城館跡	中世	三雲
64	尊光寺遺跡	集落跡・社寺跡	弥生～古代	三雲
65	城山城遺跡	城館跡	中世	三雲
66	円福寺遺跡	社寺跡	その他	三雲
67	丸岡城遺跡	城館跡	中世	三雲
68	八島寺遺跡	社寺跡	その他	三雲
69	東丸岡城遺跡	城館跡	中世	三雲
70	養林寺遺跡	社寺跡	中世	三雲
71	針古墳群	古墳群	古墳	三雲

4. 未指定文化財一覧

本計画の作成にあたり確認した未指定文化財は次のとおりです。

(1) 石部地区

番号	文化財類型	種別	名称
1	有形文化財	建造物	竹内家住宅洋館（旧淡海銀行石部支店）
2	有形文化財	建造物	竹内酒造（株）酒倉
3	有形文化財	建造物	西福寺本堂
4	有形文化財	建造物	淨現寺本堂
5	有形文化財	建造物	服部紹夫家
6	有形文化財	建造物	吉姫神社
7	有形文化財	建造物	川崎神社
8	有形文化財	建造物	真明寺
9	有形文化財	建造物	宝篋印塔
10	有形文化財	建造物	吉御子神社
11	有形文化財	建造物	善隆寺
12	有形文化財	彫刻	阿弥陀如来立像
13	有形文化財	彫刻	聖観音立像
14	有形文化財	工芸品	銅鈴
15	有形文化財	工芸品	狛犬（阿・吽）
16	有形文化財	書跡	蓮乗寺棟札
17	有形文化財	古文書	吉御子神社文書
18	有形文化財	古文書	吉姫神社文書
19	有形文化財	考古資料	鉄斧
20	有形文化財	考古資料	槍状鉄器
21	有形文化財	考古資料	愛宕社の屋根瓦
22	有形文化財	考古資料	瓦
23	有形文化財	歴史資料	淨瑠璃興行口上
24	有形文化財	歴史資料	芭蕉句碑
25	有形文化財	歴史資料	善隆寺墓地内最古の墓標
26	有形文化財	歴史資料	墓標
27	有形文化財	歴史資料	六字名号碑
28	有形文化財	歴史資料	石部町鹿塩山之細図
29	有形文化財	歴史資料	服部未石亭の鉱物・化石・岩石コレクション
30	有形文化財	歴史資料	旅籠 八幡屋資料群
31	有形文化財	歴史資料	遠藤亮規関係文書
32	有形文化財	歴史資料	鬼瓦
33	有形文化財	歴史資料	米屋仲間鑑札
34	有形文化財	歴史資料	草津柘植間汽車発着時刻及賃金表
35	有形文化財	歴史資料	預金通帳（甲賀銀行石部支店 小口当座預金受拂通帳）
36	有形文化財	歴史資料	貯蓄奨励法広告
37	有形文化財	歴史資料	衣料切符
38	有形文化財	歴史資料	琵琶湖新聞附録
39	民俗文化財	有形の民俗文化財	壳菓ちらし用版木
40	民俗文化財	有形の民俗文化財	手水石

番号	文化財類型	種別	名称
41	民俗文化財	無形の民俗文化財	西福寺尼講
42	民俗文化財	無形の民俗文化財	酒屋唄
43	民俗文化財	無形の民俗文化財	味噌搗き唄
44	民俗文化財	無形の民俗文化財	宿揚子守唄
45	民俗文化財	無形の民俗文化財	もり唄
46	民俗文化財	無形の民俗文化財	愛宕祭り
47	記念物	遺跡	石灰岩採石跡
48	記念物	遺跡	小島本陣（址）
49	記念物	遺跡	蓮乗寺遺跡
50	記念物	遺跡	問屋場跡
51	記念物	遺跡	常盤館跡
52	記念物	遺跡	石部郵便局舎跡
53	記念物	動物、植物、地質鉱物	灰山の鍾乳洞
54	記念物	動物、植物、地質鉱物	灰山のスカルン鉱物
55	その他の文化財	人物の功績に関するもの	安民米紀恩碑

(2) 石部南地区

番号	文化財類型	種別	名称
1	有形文化財	建造物	十王寺石積
2	有形文化財	建造物	長寿寺庫裡
3	有形文化財	建造物	常楽寺庫裡
4	有形文化財	建造物	常楽寺石橋と石積
5	有形文化財	建造物	竹内淳一邸
6	有形文化財	建造物	三聖神社
7	有形文化財	建造物	門柱
8	有形文化財	建造物	石燈籠
9	有形文化財	建造物	白山神社
10	有形文化財	建造物	八石教会再現建物
11	有形文化財	絵画	絹本着色釈迦如来及四天王像
12	有形文化財	絵画	長寿寺十二天（梵天）像（絵画）
13	有形文化財	絵画	人足と馬（東海道五十三次内）
14	有形文化財	絵画	華頂禪師画像
15	有形文化財	絵画	絹本着色地蔵曼荼羅図
16	有形文化財	絵画	絹本着色十王図
17	有形文化財	彫刻	地蔵菩薩石仏
18	有形文化財	彫刻	絹本着色十二天像
19	有形文化財	彫刻	絹本着色釈迦十六善神像
20	有形文化財	彫刻	木造持国天・多聞天立像
21	有形文化財	彫刻	木造 大黒天立像
22	有形文化財	彫刻	木造 聖徳太子立像
23	有形文化財	彫刻	石地蔵立像
24	有形文化財	彫刻	飛天の欄間
25	有形文化財	彫刻	神像（白山神社）
26	有形文化財	工芸品	近江下田焼
27	有形文化財	工芸品	長押の槍
28	有形文化財	工芸品	柄香炉
29	有形文化財	工芸品	金銅磬
30	有形文化財	典籍	細字法華経
31	有形文化財	古文書	佐々木導善書状（長寿寺文書）
32	有形文化財	古文書	平宗氏寄進状（長寿寺文書）
33	有形文化財	古文書	東寺村・西寺村文書
34	有形文化財	考古資料	土師器小皿
35	有形文化財	考古資料	黒色土器椀
36	有形文化財	考古資料	瓦器椀
37	有形文化財	考古資料	埴輪
38	有形文化財	考古資料	宮の森古墳の鉄器
39	有形文化財	歴史資料	竜王碑
40	有形文化財	歴史資料	江州甲賀郡東寺村田畠地改帳
41	有形文化財	歴史資料	宿帳と宿帳収納箱
42	有形文化財	歴史資料	商人衆定宿看板
43	有形文化財	歴史資料	浪花講定宿帳
44	有形文化財	歴史資料	国定教科書
45	有形文化財	歴史資料	東寺圃場整備記念碑

番号	文化財類型	種別	名称
46	有形文化財	歴史資料	戦死者の慰靈碑
47	有形文化財	歴史資料	八石教会関連石碑 明治戊子一件記念之碑
48	有形文化財	歴史資料	幽学の碑
49	有形文化財	歴史資料	丸山の墓地
50	有形文化財	歴史資料	道標（八石教会）
51	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標
52	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標
53	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標
54	民俗文化財	有形の民俗文化財	力石
55	民俗文化財	有形の民俗文化財	観請縄（勧請吊り）
56	民俗文化財	有形の民俗文化財	お精靈さんの提灯
57	民俗文化財	有形の民俗文化財	精米用水車の石臼
58	民俗文化財	有形の民俗文化財	もんどり
59	民俗文化財	有形の民俗文化財	五輪塔
60	民俗文化財	無形の民俗文化財	かしわのすきやき
61	民俗文化財	無形の民俗文化財	こけらすし
62	民俗文化財	無形の民俗文化財	いばらだんご
63	民俗文化財	無形の民俗文化財	墓だんご（8月7日墓そうじ）
64	民俗文化財	無形の民俗文化財	オハナシ（山の神）
65	民俗文化財	無形の民俗文化財	小豆がゆ
66	民俗文化財	無形の民俗文化財	不動講
67	民俗文化財	無形の民俗文化財	うどんぶるまい
68	民俗文化財	無形の民俗文化財	くるびもち
69	民俗文化財	無形の民俗文化財	お大師さんの命日
70	民俗文化財	無形の民俗文化財	ムシムシ
71	民俗文化財	無形の民俗文化財	東寺の山の神行事
72	民俗文化財	無形の民俗文化財	東寺の竜王講
73	民俗文化財	無形の民俗文化財	東寺のイモチ送り
74	民俗文化財	無形の民俗文化財	鬼走り（修正会）
75	民俗文化財	無形の民俗文化財	門松立て
76	民俗文化財	無形の民俗文化財	オオツゴモリ
77	民俗文化財	無形の民俗文化財	スクスク参り（仏餉会）
78	民俗文化財	無形の民俗文化財	オオフク茶
79	民俗文化財	無形の民俗文化財	正月元日の風習
80	民俗文化財	無形の民俗文化財	山の神の日
81	民俗文化財	無形の民俗文化財	鬼のメシサシ（節分）
82	民俗文化財	無形の民俗文化財	八十八のマスカケ
83	民俗文化財	無形の民俗文化財	イモチ送り（7月15日）
84	民俗文化財	無形の民俗文化財	愛宕まつり（7月24日）
85	民俗文化財	無形の民俗文化財	輪くぐり（7月31日）
86	民俗文化財	無形の民俗文化財	風籠り（7月31日）
87	民俗文化財	無形の民俗文化財	イモ名月（9月15日）
88	民俗文化財	無形の民俗文化財	秋まつり（12月16日）
89	民俗文化財	無形の民俗文化財	大師講（12月23日、24日）
90	民俗文化財	無形の民俗文化財	修正会（1月15日）

番号	文化財類型	種別	名称
91	民俗文化財	無形の民俗文化財	十人衆
92	民俗文化財	無形の民俗文化財	太鼓踊り
93	民俗文化財	無形の民俗文化財	草とり唄
94	民俗文化財	無形の民俗文化財	石搗き唄
95	民俗文化財	無形の民俗文化財	ちがいない節
96	民俗文化財	無形の民俗文化財	芽の輪
97	民俗文化財	無形の民俗文化財	愛宕祭り
98	民俗文化財	無形の民俗文化財	いもち送り
99	民俗文化財	無形の民俗文化財	重陽の節句
100	民俗文化財	無形の民俗文化財	干し柿
101	民俗文化財	無形の民俗文化財	お夏落し
102	民俗文化財	無形の民俗文化財	常楽寺尼講
103	記念物	遺跡	遠藤亮規の墓
104	記念物	遺跡	石部八石教会所跡
105	記念物	遺跡	経塚（如法塚）
106	記念物	遺跡	紫雲の滝
107	記念物	動物、植物、地質鉱物	西寺の金山
108	記念物	動物、植物、地質鉱物	なつめ
109	記念物	動物、植物、地質鉱物	茱萸（グミ）
110	記念物	動物、植物、地質鉱物	西条渋柿
111	記念物	動物、植物、地質鉱物	茶ぼさつ
112	記念物	動物、植物、地質鉱物	蕗の苔
113	記念物	動物、植物、地質鉱物	しじみ貝
114	その他の文化財	伝承	龍王の巨岩

(3) 三雲地区

番号	文化財類型	種別	名称
1	有形文化財	建造物	大沙川隧道（旧東海道の道路隧道）
2	有形文化財	建造物	由良谷川隧道（旧東海道の道路隧道）
3	有形文化財	建造物	JR西日本篠草津線 荒川開渠
4	有形文化財	建造物	JR西日本篠草津線 田仁川函渠
5	有形文化財	建造物	JR西日本篠草津線 三雲駅（旧国鉄三雲駅）
6	有形文化財	建造物	JR西日本篠草津線 湯川開渠
7	有形文化財	建造物	甲西ハッピーの倉庫（旧夏見村役場）
8	有形文化財	建造物	三雲小学校講堂
9	有形文化財	建造物	JR西日本篠草津線 由良谷川開渠
10	有形文化財	建造物	JR西日本篠草津線 開渠か
11	有形文化財	建造物	JR西日本篠草津線 開渠か
12	有形文化財	建造物	JR西日本篠草津線 家棟川函渠
13	有形文化財	建造物	淨休寺
14	有形文化財	建造物	代官門（陣屋城門）
15	有形文化財	建造物	園養寺
16	有形文化財	建造物	永照院
17	有形文化財	建造物	松尾神社
18	有形文化財	建造物	飯道神社
19	有形文化財	建造物	夏見神社
20	有形文化財	建造物	天満宮（天満神社）
21	有形文化財	建造物	立志神社
22	有形文化財	建造物	開山堂（堂宇）
23	有形文化財	建造物	道標
24	有形文化財	建造物	方丈
25	有形文化財	建造物	庫裡
26	有形文化財	建造物	塔婆
27	有形文化財	建造物	永照院山門
28	有形文化財	建造物	宝篋印塔
29	有形文化財	建造物	報恩寺
30	有形文化財	建造物	宝篋印塔
31	有形文化財	建造物	西教寺山門
32	有形文化財	建造物	上墓穂神社
33	有形文化財	建造物	一石双五輪塔碑
34	有形文化財	建造物	門柱
35	有形文化財	建造物	竜王山 観音寺
36	有形文化財	建造物	美松山 南照寺
37	有形文化財	建造物	八島寺地蔵堂
38	有形文化財	建造物	紫雲山 光林寺
39	有形文化財	建造物	養林寺
40	有形文化財	建造物	石造宝篋印塔
41	有形文化財	建造物	西往寺
42	有形文化財	建造物	妙感寺
43	有形文化財	建造物	常照寺
44	有形文化財	建造物	西照寺
45	有形文化財	建造物	南勝寺

番号	文化財類型	種別	名称
46	有形文化財	建造物	懸念寺
47	有形文化財	建造物	愛宕大社
48	有形文化財	建造物	五輪塔
49	有形文化財	建造物	天保義民の丘モニュメント
50	有形文化財	建造物	五輪塔
51	有形文化財	建造物	宝篋印塔
52	有形文化財	建造物	五輪塔
53	有形文化財	建造物	宝篋印塔
54	有形文化財	建造物	五輪塔
55	有形文化財	建造物	了安寺
56	有形文化財	建造物	盛福寺
57	有形文化財	建造物	吉見神社
58	有形文化財	建造物	上乘寺
59	有形文化財	絵画	歌仙画像額
60	有形文化財	絵画	古画
61	有形文化財	絵画	涅槃画
62	有形文化財	絵画	兜御影
63	有形文化財	絵画	殿中対面図
64	有形文化財	彫刻	無縁小仏群
65	有形文化財	彫刻	三雲水子地藏尊
66	有形文化財	彫刻	石仏
67	有形文化財	彫刻	日雲大明神（日雲宮址/伊勢両皇太神宮）
68	有形文化財	彫刻	不動明王像
69	有形文化財	彫刻	釈迦坐像
70	有形文化財	彫刻	牛の守り神
71	有形文化財	彫刻	狛犬
72	有形文化財	彫刻	木造狛犬
73	有形文化財	彫刻	木造猿
74	有形文化財	彫刻	額
75	有形文化財	彫刻	陶製狛犬
76	有形文化財	彫刻	寺号額
77	有形文化財	彫刻	阿弥陀如来像
78	有形文化財	彫刻	田川の不動
79	有形文化財	彫刻	大円宝鑑國師坐像
80	有形文化財	彫刻	扁額
81	有形文化財	彫刻	六体觀音石仏
82	有形文化財	彫刻	洋画の額
83	有形文化財	彫刻	親鸞聖人像
84	有形文化財	彫刻	木造阿弥陀如来像
85	有形文化財	彫刻	男神像
86	有形文化財	彫刻	木造授翁宗弼坐像
87	有形文化財	彫刻	木造 神像
88	有形文化財	彫刻	地藏
89	有形文化財	彫刻	石仏
90	有形文化財	彫刻	四方仏

番号	文化財類型	種別	名称
91	有形文化財	彫刻	一石六体仏
92	有形文化財	彫刻	小仏群
93	有形文化財	彫刻	小仏
94	有形文化財	彫刻	小仏群
95	有形文化財	彫刻	小仏群
96	有形文化財	彫刻	小仏
97	有形文化財	彫刻	小仏
98	有形文化財	彫刻	八島寺地藏尊
99	有形文化財	工芸品	古鏡
100	有形文化財	工芸品	地域の工芸品
101	有形文化財	工芸品	石灯籠
102	有形文化財	工芸品	釜
103	有形文化財	工芸品	鰐口
104	有形文化財	工芸品	鏡
105	有形文化財	工芸品	梵鐘
106	有形文化財	工芸品	喚鐘
107	有形文化財	工芸品	饒鉢
108	有形文化財	工芸品	半鐘
109	有形文化財	工芸品	半鐘
110	有形文化財	工芸品	双盤
111	有形文化財	工芸品	半鐘
112	有形文化財	工芸品	梵鐘
113	有形文化財	工芸品	釣鐘
114	有形文化財	工芸品	柱杖及払子
115	有形文化財	工芸品	奉両宮常夜燈
116	有形文化財	工芸品	かまど
117	有形文化財	工芸品	常夜灯
118	有形文化財	工芸品	鰐口
119	有形文化財	工芸品	鉦
120	有形文化財	工芸品	石碑
121	有形文化財	工芸品	常夜灯
122	有形文化財	工芸品	石灯籠
123	有形文化財	書跡	額面
124	有形文化財	書跡	矢筒の名号（九字名号）
125	有形文化財	書跡	江戸時代歌人国学者遺墨短冊
126	有形文化財	書跡	十字名号
127	有形文化財	書跡	扁額
128	有形文化財	書跡	軸
129	有形文化財	書跡	額
130	有形文化財	書跡	志字の俳句が書かれた懐紙
131	有形文化財	書跡	御染筆「清淨光」
132	有形文化財	古文書	三雲区有文書
133	有形文化財	古文書	上墓徳神社古文書
134	有形文化財	古文書	松尾神社古文書
135	有形文化財	古文書	飯道神社古文書

番号	文化財類型	種別	名称
136	有形文化財	古文書	懇念寺古屋敷に関する文書
137	有形文化財	古文書	年賀の文書
138	有形文化財	古文書	勅書
139	有形文化財	古文書	明治天皇勅書
140	有形文化財	古文書	三所倭歌
141	有形文化財	古文書	宮島家文書
142	有形文化財	考古資料	高杯
143	有形文化財	考古資料	土器
144	有形文化財	歴史資料	甲賀古土隊員使用の肩章、隊長章、はちまき
145	有形文化財	歴史資料	菊花御紋章縫唐櫃覆
146	有形文化財	歴史資料	砂防恩碑
147	有形文化財	歴史資料	造林恩碑
148	有形文化財	歴史資料	天保義民之碑
149	有形文化財	歴史資料	家棟川隧道の額石
150	有形文化財	歴史資料	亀淵先生落髪之境 句碑
151	有形文化財	歴史資料	夫婦句碑
152	有形文化財	歴史資料	三雲の鳥瞰図
153	有形文化財	歴史資料	英靈碑
154	有形文化財	歴史資料	名号碑
155	有形文化財	歴史資料	木札
156	有形文化財	歴史資料	石碑
157	有形文化財	歴史資料	定紋入りの石
158	有形文化財	歴史資料	緑の恩人の碑
159	有形文化財	歴史資料	植樹祭記念碑
160	有形文化財	歴史資料	金幣
161	有形文化財	歴史資料	柑子袋地区の古地名大地图
162	有形文化財	歴史資料	公儀御掲目の写し
163	有形文化財	歴史資料	高木家過去帖
164	有形文化財	歴史資料	芭蕉の句碑
165	有形文化財	歴史資料	額、磬、銅板納札
166	有形文化財	歴史資料	開基牌
167	有形文化財	歴史資料	石柱
168	有形文化財	歴史資料	門碑
169	有形文化財	歴史資料	六字名号碑
170	有形文化財	歴史資料	句碑
171	有形文化財	歴史資料	石碑
172	有形文化財	歴史資料	拓友碑
173	有形文化財	歴史資料	石碑
174	有形文化財	歴史資料	手水鉢の句
175	有形文化財	歴史資料	領地碑
176	有形文化財	歴史資料	領地碑
177	有形文化財	歴史資料	奉納額三十六俳仙
178	有形文化財	歴史資料	六字名号碑
179	有形文化財	歴史資料	題目碑
180	有形文化財	歴史資料	社碑

番号	文化財類型	種別	名称
181	有形文化財	歴史資料	歌碑
182	有形文化財	歴史資料	芭蕉の句碑
183	有形文化財	歴史資料	校歌碑
184	有形文化財	歴史資料	歌碑
185	有形文化財	歴史資料	花水歌碑
186	有形文化財	歴史資料	詩碑
187	有形文化財	歴史資料	校歌碑
188	有形文化財	歴史資料	巨岩歌碑
189	有形文化財	歴史資料	松溪の碑
190	有形文化財	歴史資料	詩碑
191	有形文化財	歴史資料	校歌碑
192	有形文化財	歴史資料	献木記念の歌碑
193	有形文化財	歴史資料	社碑
194	有形文化財	歴史資料	石碑
195	有形文化財	歴史資料	西光寺過去帳
196	有形文化財	歴史資料	顕彰碑
197	有形文化財	歴史資料	近藤修栄の位牌
198	有形文化財	歴史資料	石碑
199	有形文化財	歴史資料	案内石碑
200	有形文化財	歴史資料	無縁碑
201	有形文化財	歴史資料	行幸記念碑
202	有形文化財	歴史資料	記念石碑
203	有形文化財	歴史資料	六字名号碑
204	有形文化財	歴史資料	六字名号碑
205	有形文化財	歴史資料	六字名号碑
206	有形文化財	歴史資料	題目碑
207	有形文化財	歴史資料	六字名号碑
208	有形文化財	歴史資料	六字名号碑
209	有形文化財	歴史資料	六字名号碑
210	有形文化財	歴史資料	六字名号碑
211	有形文化財	歴史資料	六字名号碑
212	有形文化財	歴史資料	六字名号碑
213	有形文化財	歴史資料	六字名号碑
214	有形文化財	歴史資料	六字名号碑
215	有形文化財	歴史資料	名号碑
216	有形文化財	歴史資料	名号碑
217	有形文化財	歴史資料	夏見氏の墓碑
218	有形文化財	歴史資料	針氏一族の墓碑
219	有形文化財	歴史資料	名号碑
220	有形文化財	歴史資料	石碑
221	有形文化財	歴史資料	モニュメント
222	有形文化財	歴史資料	芭蕉句碑
223	有形文化財	歴史資料	芭蕉句碑
224	有形文化財	歴史資料	比翼句碑
225	有形文化財	歴史資料	芭蕉句碑

番号	文化財類型	種別	名称
226	有形文化財	歴史資料	夏見古地図
227	有形文化財	歴史資料	地域の古文書
228	有形文化財	歴史資料	顕彰碑
229	有形文化財	歴史資料	八島寺内の文化財
230	民俗文化財	有形の民俗文化財	烏帽子着
231	民俗文化財	有形の民俗文化財	題目石碑
232	民俗文化財	有形の民俗文化財	新街道碑（石塔）
233	民俗文化財	有形の民俗文化財	おしげ地蔵
234	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標
235	民俗文化財	有形の民俗文化財	小神輿
236	民俗文化財	有形の民俗文化財	古石
237	民俗文化財	有形の民俗文化財	妙感寺開山授翁宗弼墓塔
238	民俗文化財	有形の民俗文化財	願かけ地蔵
239	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標
240	民俗文化財	有形の民俗文化財	おせき地蔵（身代り地蔵）
241	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標
242	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標
243	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標
244	民俗文化財	有形の民俗文化財	子安地蔵尊
245	民俗文化財	有形の民俗文化財	石仏
246	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標
247	民俗文化財	有形の民俗文化財	地蔵
248	民俗文化財	有形の民俗文化財	三雲薬師
249	民俗文化財	有形の民俗文化財	手水鉢
250	民俗文化財	有形の民俗文化財	子安地蔵尊
251	民俗文化財	無形の民俗文化財	平松のボンノコヘンノコ（7月31日）
252	民俗文化財	無形の民俗文化財	神頭講
253	民俗文化財	無形の民俗文化財	平松数え唄
254	民俗文化財	無形の民俗文化財	三雲小唄
255	民俗文化財	無形の民俗文化財	子安地蔵の信仰
256	民俗文化財	無形の民俗文化財	中陰中
257	民俗文化財	無形の民俗文化財	白餅（8月7日）
258	民俗文化財	無形の民俗文化財	かり払い（小正月）
259	民俗文化財	無形の民俗文化財	サナブリ、サナボリ（田植え終わり）
260	民俗文化財	無形の民俗文化財	流れごもり（9月）
261	民俗文化財	無形の民俗文化財	ぼた餅かぐら（10月）
262	民俗文化財	無形の民俗文化財	花祭り
263	民俗文化財	無形の民俗文化財	風ごもり
264	民俗文化財	無形の民俗文化財	八島寺（八島寺）地蔵尊祭礼
265	記念物	遺跡	旧横田橋橋脚跡
266	記念物	遺跡	明治天皇聖蹟（明治天皇御駐輦跡）
267	記念物	遺跡	平松陣屋跡
268	記念物	遺跡	宮崎城跡
269	記念物	遺跡	高木伊勢守一族の墓
270	記念物	遺跡	奥村亜溪・志宇の墓

番号	文化財類型	種別	名称
271	記念物	遺跡	石引き山の古墳
272	記念物	遺跡	日雲宮址
273	記念物	遺跡	茶城山遺跡
274	記念物	遺跡	閑照寺遺跡
275	記念物	遺跡	万里小路藤房卿遺跡
276	記念物	遺跡	藤本熊吉の墓
277	記念物	遺跡	石仏・石塔
278	記念物	遺跡	墓碑
279	記念物	遺跡	三雲氏の墓碑
280	記念物	遺跡	陪塚古墳（丁字古墳か）
281	記念物	遺跡	黒橋跡
282	記念物	名勝地	不動の滝
283	記念物	名勝地	瓢箪池
284	記念物	名勝地	石庭
285	記念物	名勝地	岩石園
286	記念物	動物、植物、地質鉱物	コビワコカタバリタニシ
287	記念物	動物、植物、地質鉱物	ザクロ石
288	記念物	動物、植物、地質鉱物	妙感寺の古生層
289	記念物	動物、植物、地質鉱物	オオバラモミ、シキシマサワグルミ（植物化石）
290	記念物	動物、植物、地質鉱物	金明水
291	記念物	動物、植物、地質鉱物	八丈岩（夫婦岩）
292	その他の文化財	伝承	五郎左衛門岩の話（創作民話）
293	その他の文化財	伝承	五郎左衛門岩の話その2（創作民話）
294	その他の文化財	伝承	身代わり綿音の話
295	その他の文化財	伝承	放生池の話
296	その他の文化財	伝承	夜泣き地蔵の話
297	その他の文化財	伝承	蛇の宮の話
298	その他の文化財	方言	針の方言
299	その他の文化財	人物の功績に関するもの	八田四郎治君遺績碑

(4) 菩提寺地区

番号	文化財類型	種別	名称
1	有形文化財	建造物	磨崖の五輪塔
2	有形文化財	建造物	和田神社
3	有形文化財	建造物	西應寺
4	有形文化財	建造物	阿弥陀院
5	有形文化財	建造物	正念寺
6	有形文化財	建造物	斎神社
7	有形文化財	建造物	石橋
8	有形文化財	建造物	法華塔
9	有形文化財	建造物	石灯籠
10	有形文化財	建造物	龍王神社（龍神社）
11	有形文化財	建造物	鎮守神社
12	有形文化財	建造物	稻荷神社
13	有形文化財	建造物	石造鳥居
14	有形文化財	建造物	庫裡
15	有形文化財	建造物	太鼓堂茶所
16	有形文化財	建造物	菩提禪寺
17	有形文化財	建造物	八王子神社（摶社に愛宕社、宇賀魂社）
18	有形文化財	絵画	良弁の絵図
19	有形文化財	彫刻	磨崖の地蔵尊
20	有形文化財	彫刻	石仏群、小仏群
21	有形文化財	彫刻	石仏
22	有形文化財	彫刻	石造地蔵菩薩立像
23	有形文化財	彫刻	旧墓地の阿弥陀仏
24	有形文化財	彫刻	親鸞聖人修行像
25	有形文化財	彫刻	阿弥陀如來立像
26	有形文化財	工芸品	石造燈籠
27	有形文化財	工芸品	旗
28	有形文化財	工芸品	太刀
29	有形文化財	工芸品	灯籠の火袋
30	有形文化財	工芸品	梵鐘
31	有形文化財	工芸品	梵鐘
32	有形文化財	工芸品	太鼓 正徳の銘
33	有形文化財	工芸品	鰐口
34	有形文化財	工芸品	灯籠
35	有形文化財	工芸品	梵鐘
36	有形文化財	工芸品	石灯籠
37	有形文化財	書跡	六字、九字名号軸
38	有形文化財	書跡	山号額
39	有形文化財	書跡	伊地知鉄翁の短冊、軸
40	有形文化財	古文書	第六世頓世あて本願寺教如書簡など 7通
41	有形文化財	古文書	夢望庵所蔵文書
42	有形文化財	歴史資料	婦人開墾田の碑
43	有形文化財	歴史資料	桜井梅室の句碑、三好赤甫の筆
44	有形文化財	歴史資料	菩提寺由緒書
45	有形文化財	歴史資料	江戸期歌人俳人遺墨

番号	文化財類型	種別	名称
46	有形文化財	歴史資料	実成師華道遺徳碑
47	有形文化財	歴史資料	系図菩提寺由緒書
48	有形文化財	歴史資料	芭蕉、高桑闡更、近藤精果の句碑
49	有形文化財	歴史資料	顕彰碑
50	有形文化財	歴史資料	菩提寺砂防の碑
51	有形文化財	歴史資料	婦人会開墾記念碑
52	有形文化財	歴史資料	石碑
53	有形文化財	歴史資料	斎神社の古文書（由緒書）
54	有形文化財	歴史資料	名号碑
55	有形文化財	歴史資料	名号碑
56	有形文化財	歴史資料	自作石庭の石秋の句碑
57	有形文化財	歴史資料	岩根小からの分離独立の詩碑
58	有形文化財	歴史資料	校歌碑
59	有形文化財	歴史資料	石碑
60	有形文化財	歴史資料	圃場整備竣工 記念之碑
61	有形文化財	歴史資料	牛之宮跡と刻まれた石碑
62	有形文化財	歴史資料	元標の基石
63	有形文化財	歴史資料	護国之英靈の碑
64	有形文化財	歴史資料	六字名号碑
65	有形文化財	歴史資料	社碑
66	有形文化財	歴史資料	青木氏の過去帳
67	有形文化財	歴史資料	青木氏の位牌
68	有形文化財	歴史資料	石碑
69	有形文化財	歴史資料	石碑
70	有形文化財	歴史資料	龍池佐市・龍池藤右衛門の墓
71	有形文化財	歴史資料	芭蕉句碑
72	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標
73	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標
74	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標
75	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標
76	民俗文化財	有形の民俗文化財	化け灯籠の道標
77	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標の常夜灯
78	民俗文化財	有形の民俗文化財	手水鉢
79	民俗文化財	有形の民俗文化財	石の地蔵尊
80	民俗文化財	無形の民俗文化財	菩提寺の童王祭り
81	民俗文化財	無形の民俗文化財	雨乞い神事
82	民俗文化財	無形の民俗文化財	地蔵盆
83	民俗文化財	無形の民俗文化財	さんやれ祭り
84	記念物	遺跡	寺屋敷古墳
85	記念物	遺跡	鉄翁の墓
86	記念物	遺跡	真野主計の墓碑
87	記念物	遺跡	内藤加賀守の墓
88	記念物	遺跡	青木一族の墓
89	記念物	遺跡	古墳（寺屋敷古墳か）
90	記念物	遺跡	寺屋敷古墳群1~3

番号	文化財類型	種別	名称
91	記念物	遺跡	笛子塚古墳
92	記念物	遺跡	青木孫九郎屋敷跡
93	記念物	動物、植物、地質鉱物	野洲花崗岩の輝水鉛鉱
94	記念物	動物、植物、地質鉱物	孤岩
95	記念物	動物、植物、地質鉱物	鼻白岩
96	記念物	動物、植物、地質鉱物	仏足跡岩
97	記念物	動物、植物、地質鉱物	波岩
98	記念物	動物、植物、地質鉱物	良弁岩
99	記念物	動物、植物、地質鉱物	筈の石
100	記念物	動物、植物、地質鉱物	手洗いの石
101	記念物	動物、植物、地質鉱物	薬師湯
102	その他の文化財	人物の功績に関するもの	砂防竣工記念碑
103	その他の文化財	人物の功績に関するもの	井上嘉吉氏の顕彰碑
104	その他の文化財	人物の功績に関するもの	枝垂桜

(5) 岩根地区

番号	文化財類型	種別	名称
1	有形文化財	建造物	岩根小学校給食センター（旧岩根村役場）
2	有形文化財	建造物	洪水量点標
3	有形文化財	建造物	洪水量点標
4	有形文化財	建造物	農協岩根支所（旧甲賀銀行か）
5	有形文化財	建造物	正福寺本堂
6	有形文化財	建造物	高倉神社拝殿
7	有形文化財	建造物	藤谷永久家
8	有形文化財	建造物	加茂神社
9	有形文化財	建造物	五輪の石塔
10	有形文化財	建造物	宝篋印塔
11	有形文化財	建造物	石造大鳥居
12	有形文化財	建造物	石塔
13	有形文化財	建造物	川田神社
14	有形文化財	建造物	多宝塔
15	有形文化財	建造物	太鼓橋
16	有形文化財	建造物	真願寺
17	有形文化財	建造物	高徳神社本殿
18	有形文化財	建造物	校門の石柱
19	有形文化財	建造物	旧三上藩陣屋の表門
20	有形文化財	建造物	貴船神社
21	有形文化財	建造物	善水寺鐘楼
22	有形文化財	建造物	善水寺行者堂
23	有形文化財	建造物	善水寺観音堂
24	有形文化財	建造物	善水寺大師堂
25	有形文化財	建造物	善水寺六所權現社
26	有形文化財	建造物	常永寺六角堂
27	有形文化財	建造物	不動寺
28	有形文化財	建造物	常永寺
29	有形文化財	建造物	北条時頼の宝篋印塔
30	有形文化財	建造物	鍛冶音商店跡
31	有形文化財	建造物	五輪塔
32	有形文化財	建造物	五輪塔
33	有形文化財	建造物	石鳥居
34	有形文化財	建造物	岩瀬神社
35	有形文化財	建造物	正栄寺
36	有形文化財	建造物	正法寺
37	有形文化財	絵画	涅槃図絹本
38	有形文化財	絵画	仁龍の軸
39	有形文化財	彫刻	二宮金次郎像
40	有形文化財	彫刻	薬師如来
41	有形文化財	彫刻	弁財天
42	有形文化財	彫刻	釈迦三尊
43	有形文化財	彫刻	十一面千手観音像
44	有形文化財	彫刻	毘沙門天像
45	有形文化財	彫刻	不動明王像

番号	文化財類型	種別	名称
46	有形文化財	彫刻	磨崖仏阿弥陀如来像
47	有形文化財	彫刻	一石六体地藏尊
48	有形文化財	彫刻	石仏
49	有形文化財	彫刻	弥陀三尊石仏
50	有形文化財	彫刻	不動明王磨崖仏
51	有形文化財	彫刻	木造釈迦如来坐像
52	有形文化財	彫刻	石仏
53	有形文化財	彫刻	釈迦三尊の石仏
54	有形文化財	彫刻	石仏
55	有形文化財	彫刻	磨崖仏
56	有形文化財	彫刻	阿弥陀如来磨崖仏
57	有形文化財	彫刻	磨崖仏
58	有形文化財	彫刻	一石六体仏
59	有形文化財	彫刻	石仏
60	有形文化財	彫刻	小仏群
61	有形文化財	彫刻	小仏群
62	有形文化財	彫刻	小仏群
63	有形文化財	彫刻	小仏群
64	有形文化財	彫刻	石仏
65	有形文化財	彫刻	釈迦立像
66	有形文化財	彫刻	役行者像
67	有形文化財	彫刻	黄金仏
68	有形文化財	彫刻	聖徳太子像
69	有形文化財	彫刻	新平氏の宮田から出た黄金仏
70	有形文化財	工芸品	梵鐘
71	有形文化財	工芸品	鐘
72	有形文化財	工芸品	半鐘
73	有形文化財	工芸品	石灯籠
74	有形文化財	工芸品	道しるべ灯籠
75	有形文化財	工芸品	カマド
76	有形文化財	工芸品	奉灯
77	有形文化財	工芸品	神灯ろう
78	有形文化財	工芸品	石灯ろう
79	有形文化財	工芸品	春日灯ろう
80	有形文化財	工芸品	石灯籠の道標
81	有形文化財	工芸品	常夜灯
82	有形文化財	工芸品	常夜灯
83	有形文化財	工芸品	石灯籠
84	有形文化財	工芸品	石灯籠
85	有形文化財	書跡	六字名号
86	有形文化財	書跡	名体不離名号
87	有形文化財	書跡	棟札
88	有形文化財	古文書	川田神社古文書
89	有形文化財	古文書	貴船神社寄進状
90	有形文化財	古文書	貴船神社文書

番号	文化財類型	種別	名称
91	有形文化財	古文書	新嘗祭文書
92	有形文化財	古文書	山中家文書
93	有形文化財	古文書	浅野家文書
94	有形文化財	古文書	諏訪講文書
95	有形文化財	考古資料	仁王門跡の礎石
96	有形文化財	歴史資料	明治33年樹岩井の係る文章
97	有形文化財	歴史資料	朝國岩根井水路標柱
98	有形文化財	歴史資料	雨乞祭の碑
99	有形文化財	歴史資料	忠魂碑
100	有形文化財	歴史資料	正福寺由縁記
101	有形文化財	歴史資料	前泉州守実相院殿の位牌
102	有形文化財	歴史資料	徳川將軍綱吉の実母の位牌
103	有形文化財	歴史資料	歌碑
104	有形文化財	歴史資料	岩根小学校校歌の碑
105	有形文化財	歴史資料	芭蕉句碑
106	有形文化財	歴史資料	石碑
107	有形文化財	歴史資料	六字名号碑
108	有形文化財	歴史資料	元標の石
109	有形文化財	歴史資料	殉難三五郎の碑
110	有形文化財	歴史資料	佐々木家の名号石
111	有形文化財	歴史資料	義民祢八の一軸
112	有形文化財	歴史資料	御詠歌碑
113	有形文化財	歴史資料	全城の歌碑
114	有形文化財	歴史資料	校歌碑
115	有形文化財	歴史資料	岩根小からの分離独立の詩碑
116	有形文化財	歴史資料	詩碑
117	有形文化財	歴史資料	玄亀窟真岡の句碑
118	有形文化財	歴史資料	真岡「ひざ枕」の歌碑
119	有形文化財	歴史資料	社碑
120	有形文化財	歴史資料	社碑
121	有形文化財	歴史資料	手紙
122	有形文化財	歴史資料	社碑
123	有形文化財	歴史資料	毛髪の軸
124	有形文化財	歴史資料	六字名号碑
125	有形文化財	歴史資料	庚申塚
126	有形文化財	歴史資料	開拓道路記念の碑
127	有形文化財	歴史資料	復旧記念の石碑
128	有形文化財	歴史資料	竣工記念碑
129	有形文化財	歴史資料	元標の石柱
130	有形文化財	歴史資料	元標の基石
131	有形文化財	歴史資料	弔魂碑
132	有形文化財	歴史資料	弔魂碑
133	有形文化財	歴史資料	忠靈碑
134	有形文化財	歴史資料	忠魂碑
135	有形文化財	歴史資料	英靈碑

番号	文化財類型	種別	名称
136	有形文化財	歴史資料	三界萬靈の碑
137	有形文化財	歴史資料	六字名号碑
138	有形文化財	歴史資料	六字名号碑
139	有形文化財	歴史資料	六字名号碑及び地蔵尊
140	有形文化財	歴史資料	六字名号碑
141	有形文化財	歴史資料	納経碑
142	有形文化財	歴史資料	不動寺寺伝
143	有形文化財	歴史資料	常永寺過去帳
144	有形文化財	歴史資料	うし神碑
145	有形文化財	歴史資料	雨乞いの碑
146	有形文化財	歴史資料	習字の手習い教本
147	民俗文化財	有形の民俗文化財	子安地蔵
148	民俗文化財	有形の民俗文化財	はなかけ地蔵（道しるべ地蔵さん）
149	民俗文化財	有形の民俗文化財	おこり石仏
150	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標
151	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標
152	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標
153	民俗文化財	有形の民俗文化財	手水鉢
154	民俗文化財	有形の民俗文化財	手水鉢
155	民俗文化財	有形の民俗文化財	お賽銭箱
156	民俗文化財	有形の民俗文化財	手水鉢
157	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標
158	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標
159	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標
160	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標
161	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標
162	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標
163	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標
164	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標
165	民俗文化財	有形の民俗文化財	手水鉢
166	民俗文化財	有形の民俗文化財	地蔵
167	民俗文化財	有形の民俗文化財	地蔵
168	民俗文化財	有形の民俗文化財	地蔵
169	民俗文化財	有形の民俗文化財	地蔵
170	民俗文化財	有形の民俗文化財	地蔵
171	民俗文化財	有形の民俗文化財	みちしるべ地蔵
172	民俗文化財	有形の民俗文化財	みちしるべ地蔵
173	民俗文化財	有形の民俗文化財	地蔵堂横石仏（砂かけ地蔵）
174	民俗文化財	無形の民俗文化財	金毘羅祭りの子ども相撲
175	民俗文化財	無形の民俗文化財	嫁講（血盆講）
176	民俗文化財	無形の民俗文化財	寒の水
177	民俗文化財	無形の民俗文化財	おぢばがえり
178	民俗文化財	無形の民俗文化財	へそ冷やし
179	民俗文化財	無形の民俗文化財	かまどみせ
180	民俗文化財	無形の民俗文化財	足入れ婚

番号	文化財類型	種別	名称
181	民俗文化財	無形の民俗文化財	両墓制
182	民俗文化財	無形の民俗文化財	芋漬し
183	民俗文化財	無形の民俗文化財	カキナマス 柿臍
184	民俗文化財	無形の民俗文化財	花祭りの唄
185	民俗文化財	無形の民俗文化財	山登りの唄
186	民俗文化財	無形の民俗文化財	義経
187	民俗文化財	無形の民俗文化財	いちりとランラン
188	民俗文化財	無形の民俗文化財	加藤清正
189	民俗文化財	無形の民俗文化財	手まりつきの唄
190	民俗文化財	無形の民俗文化財	不如帰
191	民俗文化財	無形の民俗文化財	東郷大将の唄
192	民俗文化財	無形の民俗文化財	ひとめふため
193	民俗文化財	無形の民俗文化財	郵便屋さん
194	民俗文化財	無形の民俗文化財	子守唄
195	民俗文化財	無形の民俗文化財	雨乞いの唄
196	民俗文化財	無形の民俗文化財	観請縄（勧請吊り）
197	記念物	遺跡	常福寺跡
198	記念物	遺跡	永巣寺跡
199	記念物	遺跡	谷口春斎の墓
200	記念物	遺跡	岩根古墳群
201	記念物	遺跡	塚のこし
202	記念物	遺跡	岩根十二坊路
203	記念物	遺跡	正福寺遺跡
204	記念物	遺跡	谷口春斎の墓
205	記念物	遺跡	清寿寺跡
206	記念物	遺跡	岩根氏一族の墓
207	記念物	遺跡	南三五郎の墓
208	記念物	遺跡	南三五郎の墓
209	記念物	遺跡	藤谷弥八義民の墓
210	記念物	遺跡	古墳
211	記念物	名勝地	百伝池（岩根池）
212	記念物	動物、植物、地質観物	ペグマタイト
213	記念物	動物、植物、地質観物	岩根山
214	記念物	動物、植物、地質観物	樹岩
215	記念物	動物、植物、地質観物	お迎えの松（夜明けの松）
216	記念物	動物、植物、地質観物	鏡岩
217	記念物	動物、植物、地質観物	サイコロ岩
218	記念物	動物、植物、地質観物	三本線の大きな石
219	記念物	動物、植物、地質観物	一本松
220	記念物	動物、植物、地質観物	高師小僧
221	その他の文化財	伝承	かみなり岩（雷鳴岩）
222	その他の文化財	方言	岩根東の方言
223	その他の文化財	人物の功績に関するもの	砂防記恩之碑
224	その他の文化財	人物の功績に関するもの	園善作氏の顕彰碑

(6) 水戸地区

番号	文化財類型	種別	名称
1	有形文化財	建造物	茶釜橋親柱（旧茶釜橋）
2	有形文化財	歴史資料	校歌碑
3	有形文化財	歴史資料	石碑
4	有形文化財	歴史資料	六字名号碑
5	有形文化財	歴史資料	六字名号碑
6	有形文化財	歴史資料	動物の碑
7	民俗文化財	有形の民俗文化財	にごり池の弁天さん
8	民俗文化財	有形の民俗文化財	地蔵
9	民俗文化財	有形の民俗文化財	地蔵
10	民俗文化財	無形の民俗文化財	団地祭り
11	民俗文化財	無形の民俗文化財	地蔵盆
12	記念物	遺跡	にごり池

(7) 下田地区

番号	文化財類型	種別	名称
1	有形文化財	建造物	日枝太鼓橋
2	有形文化財	建造物	朝日橋
3	有形文化財	建造物	下田公民館
4	有形文化財	建造物	町役場下田出張所（旧下田小学校）
5	有形文化財	建造物	東橋
6	有形文化財	建造物	太鼓橋
7	有形文化財	建造物	鳥居
8	有形文化財	建造物	日枝神社
9	有形文化財	建造物	ゑびす橋の石柱
10	有形文化財	彫刻	記念碑
11	有形文化財	彫刻	小仏群
12	有形文化財	工芸品	釣鐘
13	有形文化財	書跡	棟札文
14	有形文化財	書跡	額面
15	有形文化財	書跡	広幡胤定の和歌その他扁額
16	有形文化財	古文書	伊達政宗の書簡
17	有形文化財	歴史資料	顕頃碑
18	有形文化財	歴史資料	学校林の碑
19	有形文化財	歴史資料	下田村野外運動場の碑
20	有形文化財	歴史資料	谷口亀鏡翁顕彰碑
21	有形文化財	歴史資料	忠魂碑
22	有形文化財	歴史資料	御眞影奉安庫の碑
23	有形文化財	歴史資料	芭蕉句碑
24	有形文化財	歴史資料	墓石群
25	有形文化財	歴史資料	校歌碑
26	有形文化財	歴史資料	日枝神社句碑
27	有形文化財	歴史資料	丹頂園の句碑
28	有形文化財	歴史資料	神饌献穀田の記念碑
29	有形文化財	歴史資料	石碑
30	有形文化財	歴史資料	六字名号碑
31	有形文化財	歴史資料	門柱石
32	有形文化財	歴史資料	芭蕉句碑
33	有形文化財	歴史資料	校歌碑
34	有形文化財	歴史資料	石碑
35	有形文化財	歴史資料	校歌の彫刻
36	民俗文化財	有形の民俗文化財	下田焼登釜
37	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標
38	民俗文化財	無形の民俗文化財	雑煮
39	民俗文化財	無形の民俗文化財	かご破り
40	民俗文化財	無形の民俗文化財	うさぎ汁
41	民俗文化財	無形の民俗文化財	イリコ
42	民俗文化財	無形の民俗文化財	フナヤキ
43	民俗文化財	無形の民俗文化財	ジョウセン
44	民俗文化財	無形の民俗文化財	いもあめ
45	民俗文化財	無形の民俗文化財	両墓制

番号	文化財類型	種別	名称
46	民俗文化財	無形の民俗文化財	おひねり
47	民俗文化財	無形の民俗文化財	御田植踊り/日枝神社大祭（5月1日）
48	民俗文化財	無形の民俗文化財	相撲大会
49	民俗文化財	無形の民俗文化財	本藍染
50	民俗文化財	無形の民俗文化財	最中種
51	民俗文化財	無形の民俗文化財	同年会
52	民俗文化財	無形の民俗文化財	姉婿さん
53	民俗文化財	無形の民俗文化財	財産分け
54	民俗文化財	無形の民俗文化財	バッシ 末っ子の嫁入り（方言劇）
55	民俗文化財	無形の民俗文化財	地謡歌
56	民俗文化財	無形の民俗文化財	草取歌
57	民俗文化財	無形の民俗文化財	傘縫い歌
58	民俗文化財	無形の民俗文化財	白謡歌（叙り歌）
59	民俗文化財	無形の民俗文化財	お目出度節（宴会歌）
60	民俗文化財	無形の民俗文化財	ショガイナ節（盆踊り歌）
61	民俗文化財	無形の民俗文化財	たいろくねんね/わらべ歌
62	民俗文化財	無形の民俗文化財	手まりつき唄
63	民俗文化財	無形の民俗文化財	縄跳び唄
64	民俗文化財	無形の民俗文化財	下田の竹皮細工
65	その他の文化財	方言	下田弁

（8）複数地域

番号	文化財類型	種別	名称
1	有形文化財	建造物	中郡橋
2	有形文化財	建造物	石部頭首工
3	有形文化財	彫刻	等身大の地蔵尊
4	有形文化財	歴史資料	弔魂碑
5	有形文化財	歴史資料	徳本上人名号碑
6	民俗文化財	無形の民俗文化財	おこない
7	民俗文化財	無形の民俗文化財	山の神謡
8	民俗文化財	無形の民俗文化財	若水むかえ（正月）
9	民俗文化財	無形の民俗文化財	草刈り歌
10	民俗文化財	無形の民俗文化財	神送り（10月）
11	民俗文化財	無形の民俗文化財	大根のとしとり（10月）
12	民俗文化財	無形の民俗文化財	石部いさみ踊り
13	民俗文化財	無形の民俗文化財	石部小唄
14	民俗文化財	無形の民俗文化財	豆講
15	記念物	遺跡	東海道
16	その他の文化財	伝承	甲西の民話
17	その他の文化財	伝承	石部の伝承

（9）市所有

番号	文化財類型	種別	名称
1	有形文化財	絵画	安藤広重 画「石部宿」
2	有形文化財	絵画	歌川広重 画「東海道五十三次 石部」
3	有形文化財	絵画	歌川國芳 画「東海道五十三對」
4	有形文化財	絵画	初代廣重・三代豊國 画「双筆 五十三次」
5	有形文化財	歴史資料	江戸甲賀郡石部村御検地帳
6	有形文化財	歴史資料	失人名寄帳
7	有形文化財	歴史資料	石部植田名寄帳
8	有形文化財	歴史資料	石部町は
9	民俗文化財	有形の民俗文化財	神風講社行李

（10）所在を特定できない文化財

番号	文化財類型	種別	名称
1	有形文化財	彫刻	木造地蔵菩薩坐像
2	有形文化財	典籍	絵入百足再来記 上下巻
3	有形文化財	歴史資料	六字名号碑
4	民俗文化財	有形の民俗文化財	田川の合宿茶所の石標
5	有形文化財	絵画	天帝掛軸
6	記念物	遺跡	石部遺跡
7	記念物	遺跡	若宮八幡宮跡
8	記念物	動物、植物、地質鉱物	カラスビシヤク（7月/半夏）

5. 参考文献一覧

(1) 国による文化財調査報告書

書籍名等	発行者	発行年
湖南地方の文化財	文化庁	昭和51年 (1976)

(2) 滋賀県による文化財調査報告書 (第4章表11、12でも掲載した報告書も含む)

書籍名等	発行者	発行年
滋賀県史蹟名勝天然紀念物概要	滋賀県史蹟名勝天然紀念物調査會	大正11年 (1922) (昭和11年 (1936)改)
國寶常樂寺本堂及塔婆維持修理工事報告書	滋賀県國寶修理常樂寺境内出張所	昭和16年 (1941)
重要文化財長寿寺弁天堂修理工事報告書	滋賀県教育委員会事務局社会教育課	昭和32年 (1957)
重要文化財白山神社拝殿修理工事報告書	滋賀県教育委員会事務局社会教育課	昭和37年 (1962)
滋賀県文化財調査概要第6集 甲賀郡甲西町狐栗古墳群調査概要	滋賀県教育委員会	昭和43年 (1968)
国宝善水寺本堂修理工事報告書	滋賀県教育委員会	昭和51年 (1976)
県立甲西高校建設に伴う井戸遺跡発掘調査報告書	滋賀県教育委員会 ・(財)滋賀県文化財保護協会	昭和58年 (1983)
滋賀県百科事典刊行会編『滋賀県百科事典』	大和書房	昭和59年 (1984)
滋賀県中世城郭分布調査2 甲賀の城	滋賀県教育委員会、 (財)滋賀総合研究所	昭和59年 (1984)
滋賀県中世城郭分布調査3 旧野洲・栗田郡の城	滋賀県教育委員会、 (財)滋賀総合研究所	昭和60年 (1985)
滋賀県中世城郭分布調査4 旧蒲生・神崎郡の城	滋賀県教育委員会、 (財)滋賀総合研究所	昭和61年 (1986)
滋賀県の近世社寺建築 近世社寺建築緊急調査報告書	滋賀県教育委員会	昭和61年 (1986)
滋賀県中世城郭分布調査5	滋賀県教育委員会	昭和62年 (1987)
滋賀県中世城郭分布調査8	滋賀県教育委員会	平成3年 (1991)
滋賀県の祭礼行事 滋賀県祭礼行事実態調査報告書	滋賀県教育委員会	平成7年 (1995)
滋賀県伝統食文化調査 資料編	滋賀県教育委員会	平成10年 (1998)
滋賀県の近世民家 滋賀県近世民家調査報告書	滋賀県教育委員会	平成10年 (1998)
滋賀県の近代化遺産 —滋賀県近代化遺産(建造物等)総合調査報告書—	滋賀県教育委員会	平成12年 (2000)
緊急地域雇用特別交付金事業に伴う出土文化財管理業務報告書	滋賀県教育委員会、 (財)滋賀県文化財保護協会	平成14年 (2002)
滋賀県の自然神信仰	滋賀県教育委員会	平成19年 (2007)
古琵琶湖層群委託調査	滋賀県教育委員会	平成19年 (2007)
県営かんがい排水事業(県営農業用水再編対策事業)関連遺跡発掘調査報告書19 了安寺遺跡 湖南市夏見	滋賀県教育委員会 ・(財)滋賀県文化財保護協会	平成19年 (2007)
ほ場整備関係(経営体育成基盤整備)遺跡発掘調査報告書34-1 了安寺遺跡・尊光寺遺跡 湖南市夏見・平松	滋賀県教育委員会 ・(財)滋賀県文化財保護協会	平成19年 (2007)
ほ場整備関係(経営体育成基盤整備)遺跡発掘調査報告書37-3 井戸遺跡	滋賀県教育委員会 ・(財)滋賀県文化財保護協会	平成22年 (2010)
ほ場整備関係(経営体育成基盤整備)遺跡発掘調査報告書38-2 針氏城遺跡・井戸遺跡その1・その2	滋賀県教育委員会 ・(財)滋賀県文化財保護協会	平成23年 (2011)

書籍名等	発行者	発行年
ほ場整備関係(経営体育成基盤整備)遺跡発掘調査報告書38-3 夏見城遺跡 湖南市夏見	滋賀県教育委員会 ・(財)滋賀県文化財保護協会	平成23年 (2011)
琵琶湖と水が織りなす文化的景観所在確認報告書	滋賀県教育委員会	平成23年 (2011)
大砂川補助通常砂防工事に伴う発掘調査報告書 岩瀬谷古墳群	滋賀県教育委員会 ・(財)滋賀県文化財保護協会	平成24年 (2012)
ほ場整備関係(経営体育成基盤整備)遺跡発掘調査報告書39-1 針氏城遺跡2	滋賀県教育委員会 ・(財)滋賀県文化財保護協会	平成24年 (2012)
滋賀県内遺跡発掘調査報告書	滋賀県教育委員会	平成29年 (2017)

(3) 湖南市による文化財調査報告書 (第4章表12でも掲載した報告書も含む)

書籍名等	発行者	発行年
井戸遺跡(第2次)発掘調査報告書	甲西町教育委員会 ・(財)滋賀県文化財保護協会	昭和61年 (1986)
井戸遺跡(第4次)発掘調査報告書	甲西町教育委員会	昭和62年 (1987)
甲西町教育委員会編『甲西の遺跡』	甲西町教育委員会	昭和63年 (1988)
町内遺跡 I	甲西町教育委員会	昭和63年 (1988)
丸保古墳群発掘調査報告書	甲西町教育委員会	平成元年 (1989)
甲西町内遺跡詳細分布調査報告書	甲西町教育委員会	平成2年 (1990)
足跡化石現地保存ボーリング調査委託事業報告書	甲西町	平成3年 (1991)
甲西町朝国の野洲川河床足跡化石調査報告	甲西町教育委員会	平成10年 (1998)
宮島英夫家文書調査報告書	甲西町教育委員会	平成12年 (2000)
三雲区有文書目録	湖南市教育委員会	平成23年 (2011)

(4) 大学等研究機関による文化財調査報告書 (第4章表12でも掲載した報告書も含む)

書籍名等	発行者	発行年
琵琶湖博物館開設準備室研究調査報告第3号 古琵琶湖層群の足跡化石	(仮称)琵琶湖博物館開設準備室	平成7年 (1995)
石部・善隆寺墓地の調査	滋賀県立大学人間文化学部地域文化学科市川研究室	平成22年 (2010)
琵琶湖博物館研究調査報告第26号 記録しておきたい滋賀県の地形・地質	滋賀県立琵琶湖博物館	平成23年 (2011)

(5) その他機関による文化財調査報告書 (第4章表12でも掲載した報告書も含む)

書籍名等	発行者	発行年
滋賀県指定無形文化財調査報告書	滋賀県無形文化財保存会	昭和44年 (1969)
林修平「野洲川中流域の群集墳一横穴式石室の分布と測量調査報告書一」『紀要』32号	(公財)滋賀県文化財保護協会	令和元年 (2019)

(6) 滋賀県発行の刊行物

書籍名等	発行者	発行年
近江の名宝	滋賀県教育委員会	昭和56年 (1981)
近江を築いた人びと 上巻・下巻	滋賀県教育委員会事務局文化財振興課	平成4年 (1992)

書籍名等	発行者	発行年
滋賀県文化財学習シート 史跡名勝天然記念物編	滋賀県教育委員会文化財保護課	平成16年 (2004)
滋賀県文化財学習シート 遺跡編上	滋賀県教育委員会文化財保護課	平成17年 (2005)
近江城郭探訪 合戦の舞台を歩く	滋賀県教育委員会	平成18年 (2006)
文化財を活用した健康増進ウォーキングガイドブック	滋賀県教育委員会文化財保護課	令和元年 (2019)
近江の城	滋賀県文化財保護課	令和4年 (2022)
滋賀県の伝統的工芸品	滋賀県商工観光労働部モノづくり振興課	令和5年 (2023)

(7) 湖南市発行の刊行物

書籍名等	発行者	発行年
甲賀郡志 上巻・下巻	甲賀郡教育會	昭和元年 (1926)
石部町史	石部町	昭和34年 (1959)
甲西町誌	甲西町	昭和49年 (1974)
甲西町の文化財 ふるさとの文化	甲西町教育委員会	昭和54年 (1979)
甲西路をいく	甲西町教育委員会	昭和55年 (1980)
甲西の民話(ふるさと近江伝承文化叢書)	甲西町教育委員会	昭和55年 (1980)
石部の伝承(ふるさと近江伝承文化叢書)	石部町教育委員会	昭和55年 (1980)
うつくし松	甲西町教育委員会	昭和56年 (1981)
甲西の石造美術	甲西町文化財審議会	昭和60年 (1985)
石部の民謡	石部町教育委員会	昭和60年 (1985)
石部町のあゆみ	石部町教育委員会	昭和60年 (1985)
わがまちの文化財	甲西町広報委員会	昭和62年 (1987)
遺跡の発掘	甲西町教育委員会	昭和63年 (1988)
新修石部町史 通史編	石部町	平成元年 (1989)
新修石部町史 史料編	石部町	平成2年 (1990)
石部町の文学 近世以降の文化と文学	石部町	平成3年 (1991)
改訂 甲西町の文化財	甲西町教育委員会	平成4年 (1992)
郷土の顔づくりシリーズNo.1～4	甲西町教育委員会	平成4年 (1992)
甲西町の文学碑	甲西町教育委員会	平成5年 (1993)
石造物を科学する	甲西町教育委員会	平成9年 (1997)
石部町の文化財(建造物編一)	石部町教育委員会	平成9年 (1997)
石部町の文化財(彫刻編)	石部町教育委員会	平成10年 (1998)
ふるさとのいしぶみ	甲西町	平成10年 (1998)
石部町の文化財(絵画・工芸・書跡他)	石部町教育委員会	平成11年 (1999)

書籍名等	発行者	発行年
石部町の文化財(町指定編)	石部町教育委員会	平成12年 (2000)
石部町の100年史	石部町役場企画財政課	平成15年 (2003)
伝えたい故郷の話～心の教育・郷土資料集～	湖南市教育委員会	平成26年 (2014)
国指定天然記念物 平松のウツクシマツ自生地保存活用計画	湖南市	令和3年 (2021)
広報こなんNo.231	湖南市秘書広報課	令和5年 (2023)
甲西町文化財マップ	甲西町教育委員会	

(8) 博物館発行の刊行物

書籍名等	発行者	発行年
滋賀県指定文化財 美術工芸品	滋賀県立琵琶湖文化館	昭和62年 (1987)
近江天保一揆とその時代	野洲市歴史民俗博物館	平成17年 (2005)
近江の観音像と西国三十三所巡礼	滋賀県立安土城考古博物館	平成23年 (2011)
特別展 琵琶湖をめぐる近江路の神と仏 名宝展	三井文庫三井記念美術館	平成24年 (2012)
近江の考古学黎明期 近江風土記の丘開設50周年キックオフ企画 第59回企画展	滋賀県安土城考古博物館	令和元年 (2019)

(9) その他機関など発行の発行物

書籍名等	発行者	発行年
近江のざらし行	サンライズ印刷出版部	平成元年 (1989)
近江商人 東北の末裔たち	近江商人末裔会	平成3年 (1991)
平松区史	平松区史編纂委員会	平成3年 (1991)
滋賀ハイキングガイド	しがぎん健康友の会・しがぎんみずうみクラブ	平成4年 (1992)
図説 近江の街道	郷土出版社	平成6年 (1994)
続・滋賀ハイキングガイド	しがぎん健康友の会・しがぎんみずうみクラブ	平成6年 (1994)
淡海の芭蕉句碑 上・下	サンライズ印刷出版部	平成6年 (1994)
近江 石のほとけたち	瀬川 欣一	平成6年 (1994)
近江の城-城が語る湖国の戦国史-	サンライズ出版	平成9年 (1997)
近江歴史回廊 近江中山道	淡海文化を育てる会	平成10年 (1998)
まつりものがたり	サンライズ出版	平成10年 (1998)
近江観音の道	淡海文化を育てる会	平成11年 (1999)
石になった足跡 へこみの正体をあばく	サンライズ出版	平成12年 (2000)
近江東海道ガイドブック	近江東海道400年記念事業実行委員会	平成13年 (2001)
しもだ六百年	下田連合区	平成15年 (2003)

書籍名等	発行者	発行年
近江の松	サンライズ出版	平成17年 (2005)
近江の商人屋敷と旧街道	サンライズ出版	平成17年 (2005)
近江戦国の道	淡海文化を育てる会	平成18年 (2006)
ぶらり近江の観音めぐり	小学館	平成18年 (2006)
西国四十九薬師巡礼	朱鷺書房	平成18年 (2006)
近江の山城 ベスト50を歩く	サンライズ出版	平成18年 (2006)
近江の石造遺品(下)	サンライズ出版	平成18年 (2006)
岩根東区誌ももづてのさと	岩根東区誌編纂委員会	平成18年 (2006)
西寺の昔と今	不明	平成19年 (2007)
近江から日本史を読み直す	講談社	平成19年 (2007)
東海道を歩く	吉川弘文館	平成19年 (2007)
妙感寺史	中外日報社事務局	平成21年 (2009)
懸念寺の歴史	懸念寺住職 大澤一夫	平成22年 (2010)
日本の近代土木遺産－現存する重要な土木構造物2000選－	社団法入土木学会	平成22年 (2010)
人生の歩み	サンライズ出版	平成22年 (2010)
三雲区 歴史・史跡・石塔・文化財	三雲区	平成23年 (2011)
近江植物風土記	サンライズ出版	平成23年 (2011)
びわ湖百八靈場公式ガイドブック	淡交社	平成23年 (2011)
神仏います近江 特別展	神仏います近江実行委員会	平成23年 (2011)
湖国と文化135号	びわ湖芸術文化財団	平成23年 (2011)
鈴木儀平の菩提寺歴史散歩	儀平塾	平成23年 (2011)
広報しもだ第58号	下田連合区広報委員会	平成23年 (2011)
広報はり第115号	八太昭夫	平成23年 (2011)
石部南学区まちづくり協議会広報第19号	石部南学区まちづくり協議会	平成24年 (2012)
じいちゃん・ばあちゃんにきく 菩提寺の昔ばなし	儀平塾	平成25年 (2013)
供養をかたちに 歴史的石造物を訪ねて	石文社	平成26年 (2014)
水戸物語～湖南市工業団地に新しく誕生したまち～	水戸青少年育成学区民会議	平成26年 (2014)
湖南に生きる 輝き続ける女性たち	こなん女性史の会	平成27年 (2015)
東海道石部宿ポケットガイドブック	石部学区まちづくり協議会	平成28年 (2016)
北山台自治会四十年のあゆみ	北山台自治会四十年誌編集委員会	平成28年 (2016)
紫香楽宮と甲賀の神仏	Miho Museum	令和元年 (2019)

書籍名等	発行者	発行年
4コマ漫画で読む 湖南市の史跡と伝説	サンライズ出版	令和3年 (2021)
滋賀県の町なみ 地域の歴史と生活の器を知る	びわこ学院大学出版専門委員会	令和3年 (2021)
菩提寺の歴史	菩提寺学区まちづくり塾	
紫香楽宮発掘物語	紫香楽宮ササユリ保存会	
東海道検定問題集	東海道検定委員会	